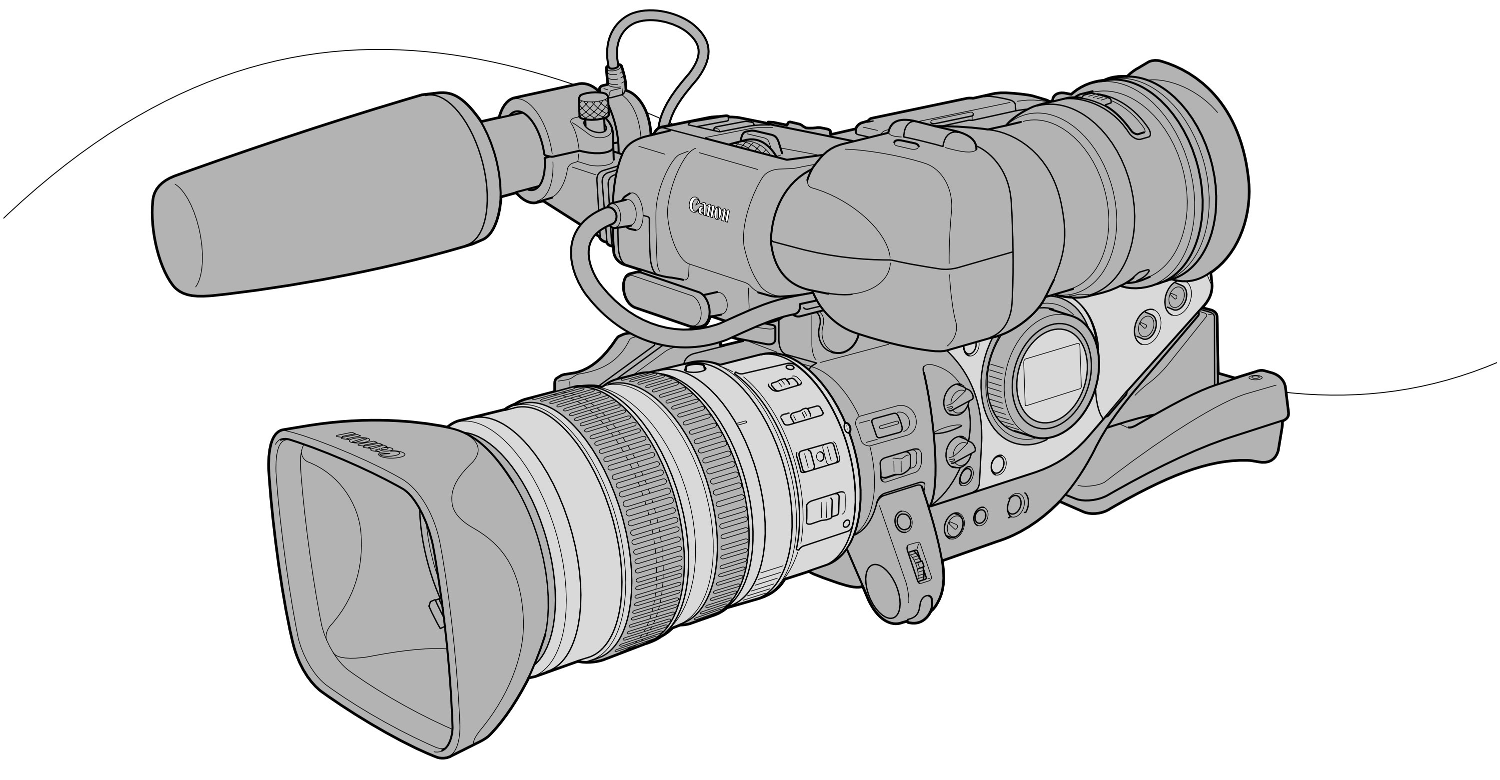
PUB. DIJ-184

Canon

DIGITAL VIDEO CAMERA

XL2



Mini DV Digital Video Cassette

使用説明書

はじめに
準備編
撮影編
再生編
編集編
その他

もくじ

はじめに

準備編

撮影編

はじめに

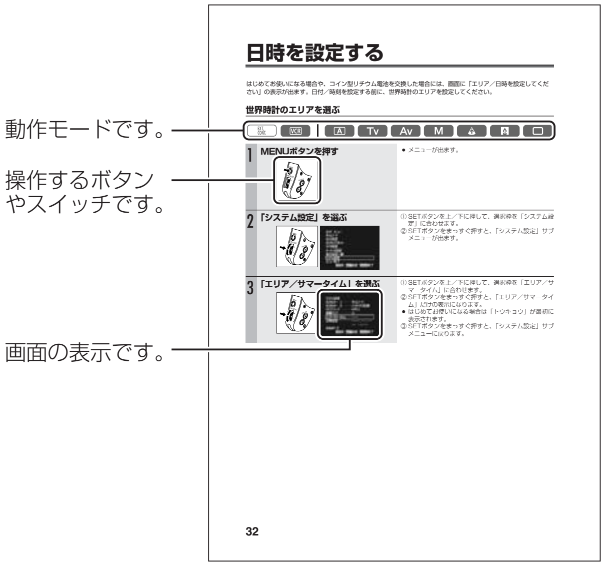
本書の使いかた

このたびは、キヤノンXL2をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。ご使用の前にこの「使用説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになった後は、大切に保管してください。

本書の構成は、次のとおりです。

本書の記載について

- ：操作するうえで、守っていただきたいことです。
- ：基本操作に加えて、知っておいていただきたいことです。
- （📖○○）：（　）内の数字は参照ページです。
- ：表示の点滅を示しています。

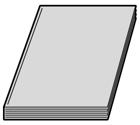
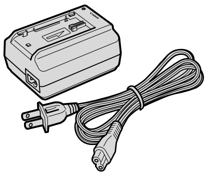
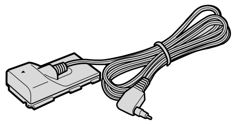
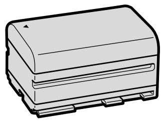
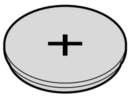
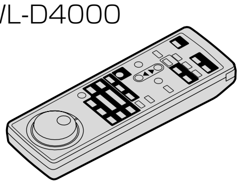
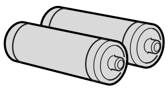
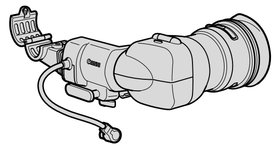
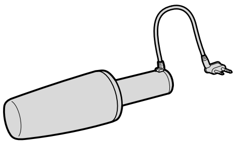
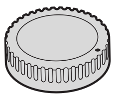
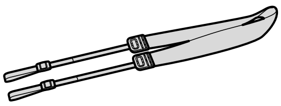
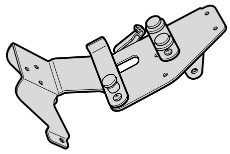
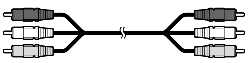
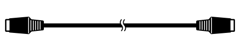


- 文中の「画面」は、ファインダーの画面を表しています。
- 本書では、入力端子は「CH1、CH2、CH3、CH4」と、録音するチャンネルは「チャンネル」と表記しています。
- **本書では、別売の5.4-108mm L ISズームレンズを20X L ISレンズと表記しています。またイラストは20X L ISレンズ装着時になっています。**
- 作例写真は、スチルカメラで撮影したものを使用しています。
- 動作モードによっては、使用できない機能があります。本書では、次のように表示しています。

A：使用できます。　A：使用できません。

付属品をお確かめください

本機をお使いになる前に、付属品をお確かめください。

XL2使用説明書 	コンパクトパワーアダプター CA-920 	電源カプラー DC-920 	バッテリーパック BP-930 
コイン型リチウム電池 CR-2025 	リモコン （ワイヤレスコントローラー） WL-D4000 	リモコン用単4電池 2本 	ファインダーユニット 
マイク 	マウントキャップ （本体装着） 	ショルダーストラップ SS-1000 	アダプターホルダー ユニット 
ステレオビデオケーブル STV-150  	S-ビデオケーブル S-150 		

はじめに

必ずお読みください

ためし撮り

必ず事前にためし撮りをし、正常に録画・録音されていることを確認してください。

記録内容の補償はできません。

万一、ビデオカメラやテープなどの不具合により記録や再生されなかった場合、記録内容の補償については、ご容赦ください。

著作権について

あなたがビデオで録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

長時間録画モードについて

長時間録画（LP）モードは、標準（SP）モードの1.5倍の録画ができる機能です。長時間録画モードでの録画／再生は、テープの特性や使用環境に影響されやすく、再生時、画面にモザイク状のノイズが発生したり、音声が途切れたりする場合があります。大切な撮影にはSPモードをお使いください。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報処理装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。本書に従って正しい取り扱いをしてください。

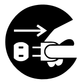
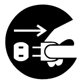
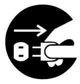
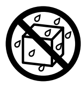
本機をDV端子付きのパソコンと接続するときは、別売のDVケーブルCV-150F/CV-250Fをお使いください。

安全上のご注意

ご使用の前に必ず「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

絵表示について：

この使用説明書および製品への表示では、製品を正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告 (火災 感電 破裂)	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、火災、感電、破裂などによって、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。必ずお守りください。
煙が出ている、へんな臭いがするなどの異常が発生した場合、すぐに、電源プラグをコンセントから抜くか、バッテリーパックをはずしてください。 そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。 煙が出なくなるのを確認してから、ご購入になった販売店またはキヤノンサービスセンターに修理を依頼してください。 お客様による修理は危険ですからおやめください。	 プラグをコンセントから抜く
本機器を落としたり、外装を破損した場合は、電源プラグをコンセントから抜くか、バッテリーパックをはずしてください。 ご購入になった販売店またはキヤノンサービスセンターに修理を依頼してください。 そのまま使用した場合、火災、感電の原因となります。	 プラグをコンセントから抜く
本機器内部に水、飲料水、海水などの液体が入ったり、濡らしたりしないようにご注意ください。または異物が入った場合は、すぐに、電源プラグをコンセントから抜くか、バッテリーパックをはずしてください。 そのまま使用した場合、火災、感電の原因となります。ご購入になった販売店またはキヤノンサービスセンターにご連絡ください。 特にお子様のいるご家庭では、ご注意ください。	 プラグをコンセントから抜く
風呂場、シャワー室など湿度の高い所に置いたり、使用したりしないでください。 水などが入ると、火災、感電、やけどの原因となります。	 風呂場、シャワー室での使用禁止
バッテリーパック内部に水、飲料水、海水などの液体が入ったり、濡らしたりしないようにご注意ください。 そのまま使用した場合、火災、感電、やけどの原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺、湿度の高い場所などでの使用は、特にご注意ください。	 水濡れ禁止
雷が鳴り出したら、アンテナ線や電源プラグに触れないでください。 感電の原因となります。	 接触禁止

安全上のご注意…つづき

⚠警告 火災 感電 破裂	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、火災、感電、破裂などによって、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。必ずお守りください。
本機器を海外旅行者用の電子式変圧器や航空機、船舶、DC／ACコンバーターなどの電源に接続しないでください。また、表示された電源電圧や周波数以外では使用しないでください。 火災、感電、けがの原因となります。	禁止
海外で使用する場合は、その国の電圧、コンセントの形状をお調べください。 火災、感電の原因となります。	強制
海外で、変換プラグアダプターをご使用の場合、電源プラグの刃を、根元まで入れてください。 根元まで入れない場合、感電の原因となります。	強制
電源プラグを定期的に抜き、その周辺およびコンセントに溜まったほこりや汚れを、乾いた布で拭き取ってください。 ほこり、湿気、油煙の多いところで、電源プラグを長期間差したままにすると、その周辺に溜まったほこりが湿気を吸って絶縁不良となり、火災の原因になります。	強制
電源コードを傷つけないでください。 **・加工したり、傷つけたりしないでください。** **・無理に曲げたり、引っ張ったり、重いものを載せたりしないでください。** **・熱器具に近づけたり、加熱したりしないでください。** 電源コードが傷ついたり（芯線の露出、断線等）して、火災、感電の原因となります。コードが傷ついた場合、ご購入になった販売店またはキヤノンサービスセンターにご依頼ください。	禁止
本機器の外装をはずさないでください。 内部に高電圧の部分がありますので、感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は、ご購入になった販売店またはキヤノンサービスセンターにご依頼ください。	分解禁止
本機器を分解、改造しないでください。 発熱、火災、感電、けがの原因となります。	分解禁止
強い衝撃や振動を与えたり、投げつけないでください。 破損により、火災、やけど、けがの原因となります。特に、液晶画面は、ガラス製のため、画面に強い衝撃を与えると、割れてけがの原因となります。	禁止

⚠ 警告 ⚠火災 ⚠感電 ⚠破裂	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、火災、感電、破裂などによって、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。必ずお守りください。
指定された充電器を使用してください。 DCプラグの形状が同じでも、電圧や極性が異なる場合があるので、それ以外のものを使用すると、発熱や、変形して、火災、感電の原因となります。	強制
バッテリーパックは、指定された機器にご使用ください。 それ以外のものに使用すると、バッテリーパックの液漏れ、発熱、破裂の原因となります。	強制
バッテリーパックを、金属製のネックレス、キーホルダー、ヘアピンなどと一緒に、携帯や保管をしないでください。 バッテリーパックなどの「+」と「−」の端子がショートされ、高熱や液漏れにより、やけど、けがの原因となります。 持ち運びや保存のときは、必ず付属のショート防止用端子カバーを取り付けてください。	禁止
本機器の内部や端子部に金属類を入れたり、ショートさせないでください。 火災、感電、けがの原因となります。	禁止
バッテリーパック、乾電池、コイン型リチウム電池などを、電子レンジ、オーブンなどで加熱したり、火の中へ投げ入れたりしないでください。 バッテリーパックの破裂により、やけど、けがの原因となります。	禁止
バッテリーパックから液漏れした時、皮膚や衣服につけたり、目に入れたり、火気に近づけたりしないでください。 皮膚の障害、失明、発火の原因となります。	禁止
バッテリーパックを電源コンセントや自動車のシガーライターソケットなどに直接接続しないでください。 バッテリーパックの液漏れ、発熱、破裂により火災、やけど、けがの原因となります。	禁止
コイン型リチウム電池をお子様の手の届かないところへ置いてください。 万一、飲み込んだ場合、電池の金属ケースが壊れて、電池の液で胃、腸が損傷する恐れがありますので、ただちに医師と相談してください。	強制
お子様が使用のときには、保護者が正しい使用方法を充分に教えてください。また、使用中にもご注意ください。 感電、けがの原因となります。	強制

⚠警告 火災 感電 破裂	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、火災、感電、破裂などによって、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。必ずお守りください。
乳幼児の手の届かないところで、使用、保管してください。 感電、けがの原因となります。	強制
自動車などの運転中に、運転者は本機器を操作しないでください。 交通事故の原因となります。	禁止
撮影しているときは、周囲の状況にご注意ください。 けがや交通事故の原因となります。	強制
本機器をぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。 落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。	禁止
ビデオカセットの挿入口などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込まないでください。 そのまま使用した場合、火災、感電の原因となります。	禁止
本機器を、ストーブなどの熱器具に近づけないでください。 外装が変形したり、コードの被覆が溶けて、火災、感電の原因となることがあります。	禁止
直射日光下や発熱体のそばなど、60℃以上の高温の場所で使用や放置しないでください。 バッテリーパックの液漏れ、発熱、破裂により、火災、やけど、けがの原因となることがあります。	禁止
コンパクトパワーアダプター、バッテリーパック、ビデオカメラなどを使用中に、温度の高くなる部分に長時間触れないでください。 長時間皮膚が触れたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。	強制
ファインダーユニットを、太陽の光の下に放置しないでください。 太陽の光が焦点を結び、火災の原因となります。	禁止

⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容です。必ずお守りください。
テーブルクロス、じゅうたん、ふとん、クッションなどをかけたまま使用しないでください。 内部に熱がこもり火災の原因となることがあります。	禁止
指定されたバッテリーパックを使用してください。 それ以外のものを使用すると、バッテリーパックの破裂、液漏れにより、火災、けがや周囲を汚す原因となることがあります。	強制
濡れた手で、電源プラグを抜き差ししないでください。 感電の原因となることがあります。	ぬれ手禁止
電源プラグをコンセントから抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。 電源コードを引っ張ると、コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。	強制
使用しないときは、安全のために、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。	プラグをコンセントから抜く
テレビは前面が重いので、アンテナコードやＡＶコードなどを接続するとき、転倒防止の処置をとってください。 テレビが転倒し、けがの原因となることがあります。	強制
コード類は正しく配置してください。 電源コード、電源カプラー、AVケーブルなどに足を引っ掛けたりして、転倒したり、ものが落ちたりして、けがの原因となることがあります。	強制
バッテリーパック、ショルダーストラップ、グリップベルトなどを確実に取り付けてください。 緩んで脱落すると、けがの原因となることがあります。	強制
湿気、油煙、ほこりなどの多い場所に保管しないでください。 火災、感電の原因となることがあります。	禁止

安全上のご注意…つづき

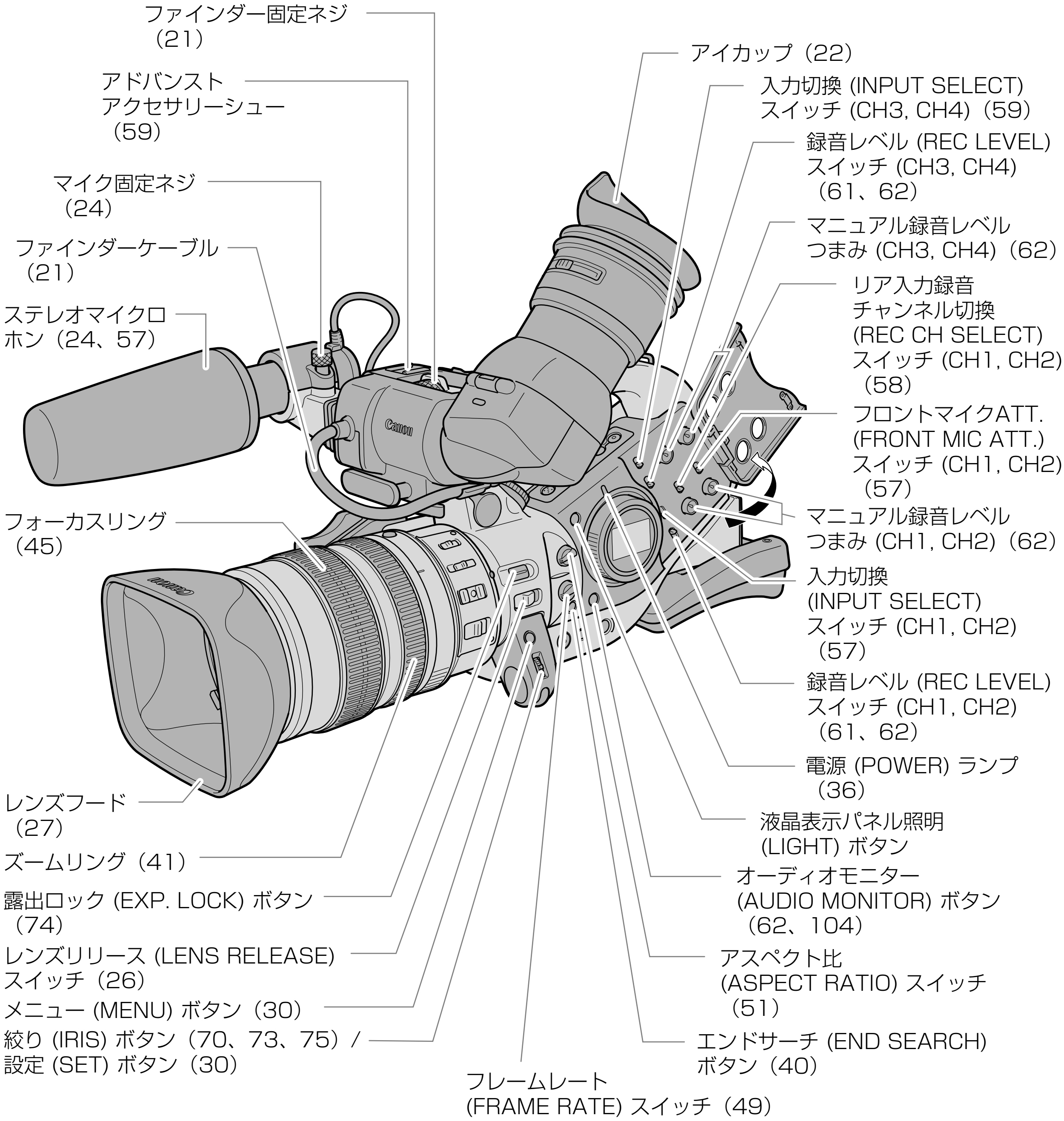
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容です。必ずお守りください。
お子様がビデオカセットの挿入口から、手を入れないようにご注意ください。 けがの原因となることがあります。	 指をはさまれないよう注意
飛行機内で使用する場合は、乗務員の指示に従ってください。 機器から出る電磁波により、飛行機の計器に影響を与える恐れがあります。	 強制
コイン型リチウム電池を金属のピンセットなどでつかまないでください。 発熱により、やけどの原因となることがあります。	 強制

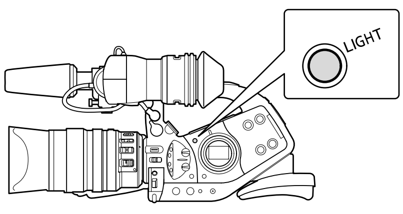
いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

各部の名称

使い方の説明は(　)内のページにあります。

本　体

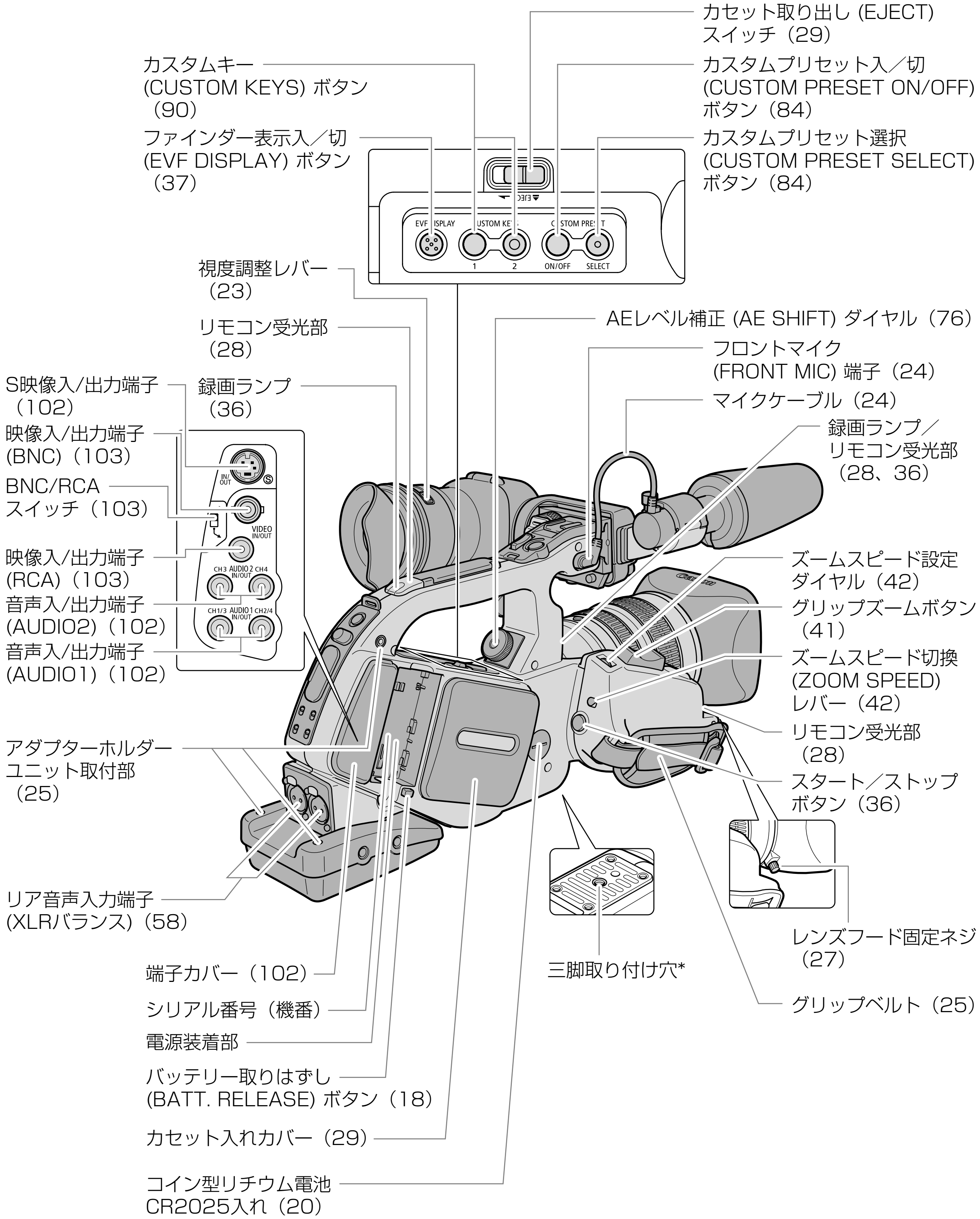




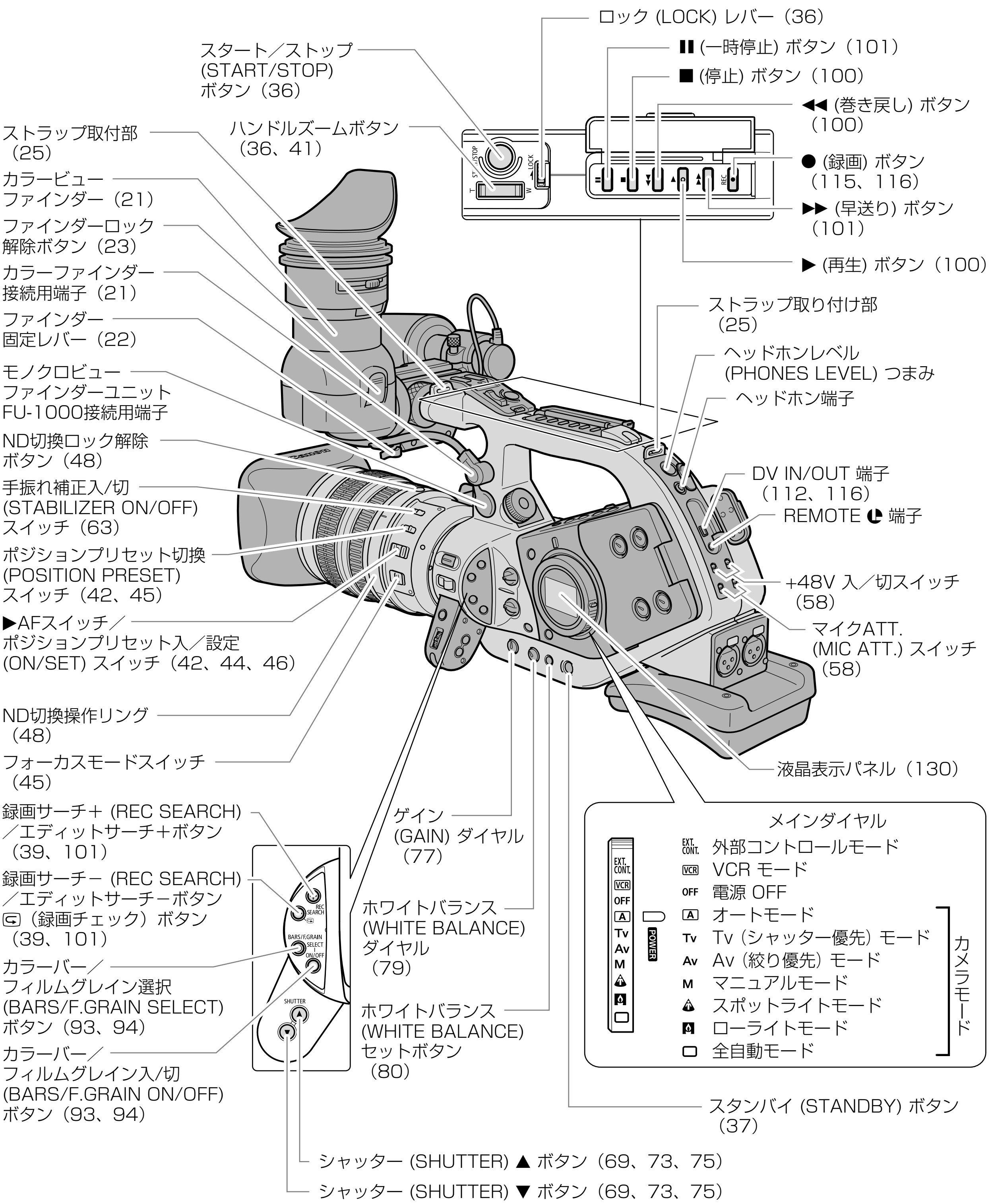
液晶表示パネル照明（LIGHT）ボタン

液晶表示パネルのバックライトの入／切を行います。
押すと、約10秒間バックライトが点灯します。
3秒以上押し続けると、ボタンを再度押すまでバックライトは点灯します。

各部の名称…つづき



＊三脚は、必ず取り付けネジの長さが5.5mm未満のものをご使用ください。ネジ長が5.5mm以上の三脚を使用すると、本体を破損することがあります。



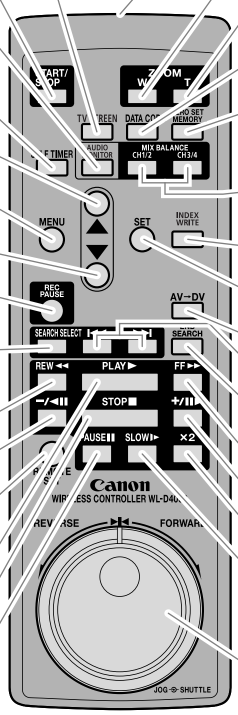
マークについて

は、LANC [Local Application Control Bus System （ローカル・アプリケーション・コントロール・バス・システム）]リモート端子のマークです。LANCリモート端子とは、ビデオ機器を接続し、テープ走行などをコントロールできるようにした端子です。

- マークが表示されている機器と接続してください。
- LANCリモート端子で接続した周辺機器の操作ボタンの中には、動作しないもの、本機の動作と異なるものがあります。
- マークが表示されていない機器と接続した場合の動作については保証致しかねます。

各部の名称…つづき

リモコン　WL-D4000（📖 28）

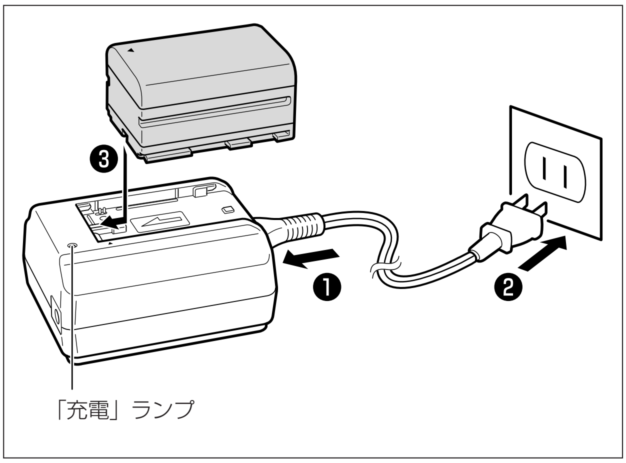


電源を準備する

バッテリーパックは、充電してから使います。

バッテリーパックを充電する

バッテリーパックを使うときは、ショート防止用端子カバーを取りはずします（□ 136）。
バッテリーパックを充電するときは、電源カプラーをコンパクトパワーアダプターからはずしてください。



❶ コンパクトパワーアダプターに電源コードを差し込む

❷ 電源プラグをコンセントに差し込む

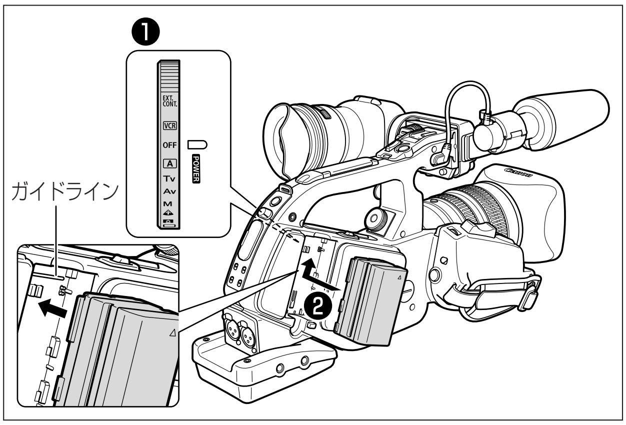
❸ バッテリーパックの先端を▼に合わせて、押し付けながら、カチッと音のするまで、スライドさせる
充電ランプが点滅し、充電が始まります。
充電が終わると、充電ランプが点灯します。

❹ スライドさせてバッテリーパックを取りはずす

❺ 電源プラグをコンセントから抜く

❻ 電源コードをコンパクトパワーアダプターから抜く

バッテリーパックを取り付ける



❶ メインダイヤルを「OFF」にする

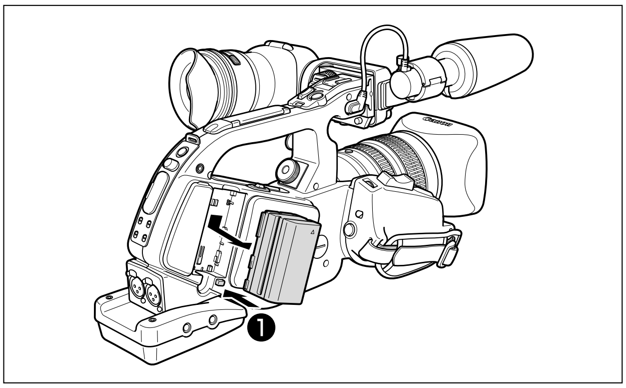
❷ バッテリーパックの先端を電源装着部のガイドに合わせて、押し付けながら、カチッと音のするまで、スライドさせる

次のページへ

準備編

電源を準備する…つづき

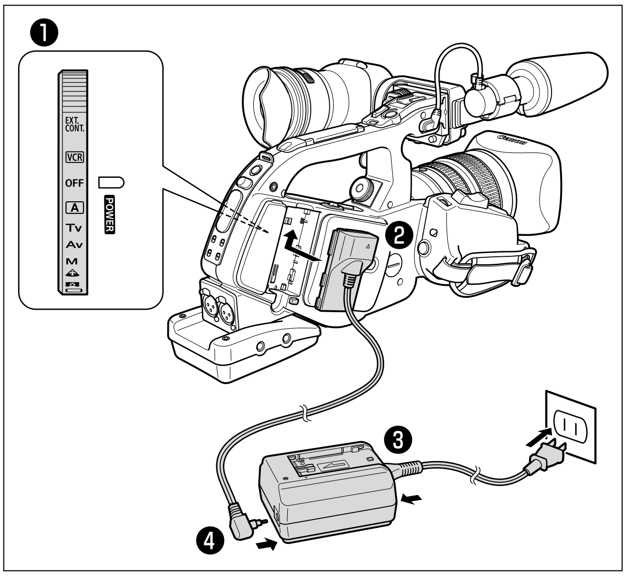
バッテリーパックを取りはずす



❶ BATT. RELEASEボタンを押しながら、バッテリーパックをスライドさせてはずす

家庭用コンセントにつないで使う

本機を家庭用コンセントにつなぐと、バッテリーパックの残量を気にせずに使用できます。



❶ メインダイヤルを「OFF」にする

❷ 電源カプラーの先端を電源装着部のガイドに合わせて、押し付けながら、カチッと音のするまで、スライドさせる

電源カプラーをはずすときは、BATT. RELEASEボタンを押しながら、スライドさせてはずします。

❸ コンパクトパワーアダプターに電源コードを差し込み、電源プラグをコンセントに差し込む

❹ 電源カプラーをコンパクトパワーアダプターに接続する

- バッテリーパックを充電するときは、電源カプラ―をコンパクトパワーアダプターからはずしてください。
- コンパクトパワーアダプターを抜き差しするときは、必ずビデオカメラの電源を切ってください。
- テレビの近くでコンパクトパワーアダプターを使用すると、テレビ放送の画面にノイズが出ることがあります。コンパクトパワーアダプターをテレビやアンテナケーブルから離してください。
- コンパクトパワーアダプターに指定された製品以外を接続しないでください。

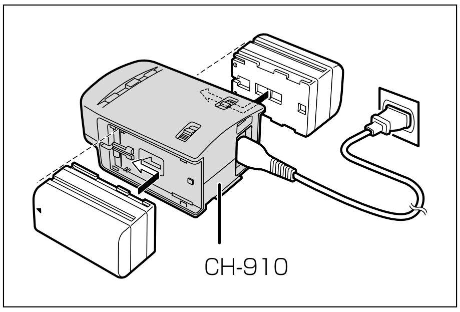
❍ コンパクトパワーアダプター、バッテリーパックに異常があるときは、充電ランプが消灯になり、充電を中止します。
❍ ランプの点滅／点灯が充電した目安の量（残量）を示します。
0～50%　　：約1秒間隔で1回ずつ点滅
50%～75%：約1秒間隔で2回ずつ点滅
75%以上　：約1秒間隔で3回ずつ点滅
100%　　 ：点灯
❍ バッテリーパックの充電時間とフル充電したバッテリーパックの使用時間は、次のとおりです。

バッテリーパック			BP-930	BP-945
コンパクトパワーアダプターCA-920での充電時間			約145分	約220分
連続撮影時間	20X L ISレンズ装着時	付属のカラーファインダー使用時	約155分	約230分
		別売のモノクロファインダーユニットFU-1000使用時	約120分	約185分
	16Xマニュアルレンズ装着時	付属のカラーファインダー使用時	約185分	約280分
		別売のモノクロファインダーユニットFU-1000使用時	約135分	約205分
実撮影時間*	20X L ISレンズ装着時	付属のカラーファインダー使用時	約90分	約135分
		別売のモノクロファインダーユニットFU-1000使用時	約65分	約100分
	16Xマニュアルレンズ装着時	付属のカラーファインダー使用時	約105分	約160分
		別売のモノクロファインダーユニットFU-1000使用時	約75分	約115分
再生時間			約235分	約360分

* 実撮影時間は、撮影、撮影一時停止、電源の入／切、ズームなどの操作をくり返したときの撮影時間の目安です。実際には、これよりも短くなることがあります。

❍ 10℃～30℃の範囲で充電することをおすすめします。0℃未満、40℃以上では、充電ランプが消灯になり、充電を中止します。
❍ 充電時間は周囲の温度や充電状態によって異なります。
❍ 低温下で使用したときには、使用時間は短くなります。
❍ 別売のデュアルバッテリーチャージャー/ホルダーCH-910では2個のバッテリーパックを連続充電できます。また、充電したバッテリーパックを装着（2個まで）することにより、本機への給電ができ、しかも本機の電源を入れたままバッテリーパックを交換できます。

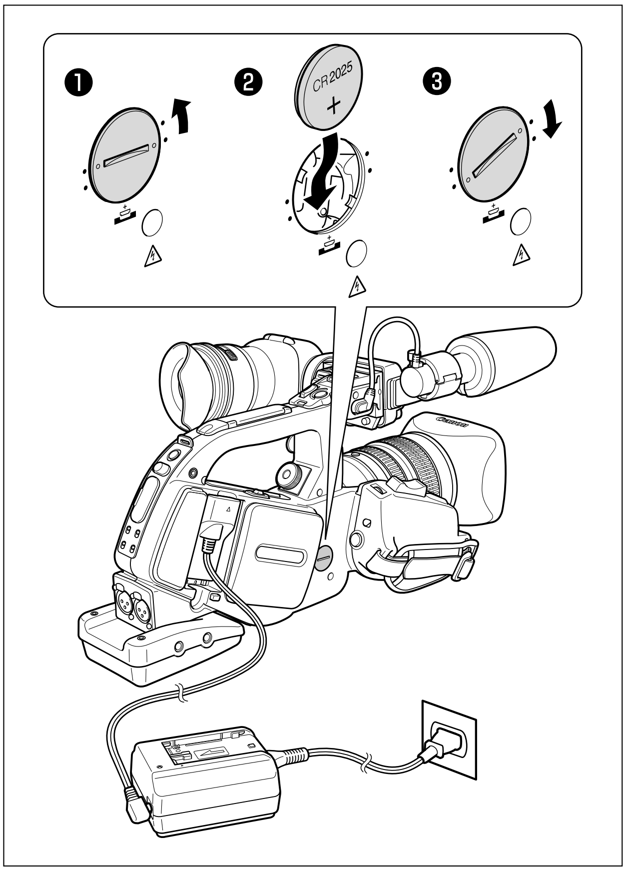
バッテリーパック	充電時間
BP-930	約240分
BP-945	約280分



❍ **バッテリーパックは、予定撮影時間の2～3倍分をご用意ください。**
ビデオカメラの消費電力は、ズームなどの操作によって変化します。そのためバッテリーパックの実際の使用時間は、表記の時間より短くなります。撮影時には、予定撮影時間の2～3倍のバッテリーパックを用意することをおすすめします。

コイン型リチウム電池を入れる

世界時計のエリアや日付、時刻（📖 32）などを記憶するには、コイン型リチウム電池が必要です。お使いになる前に付属のコイン型リチウム電池を入れてください。
電池を交換するときは、コイン型リチウム電池CR2025をお求めください。

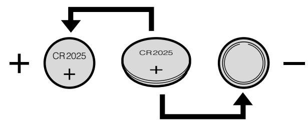


❶ 電池カバーを取りはずす

- 硬貨などを電池カバーの凹みに合わせて、上に回します。
- 電池を交換するときは、日付などのデータを保持するため、コンパクトパワーアダプターなどの電源を取り付けておくことをおすすめします。

❷ 電池を入れる

電池の＋側を外にして、スライドさせて電池入れに入れます。



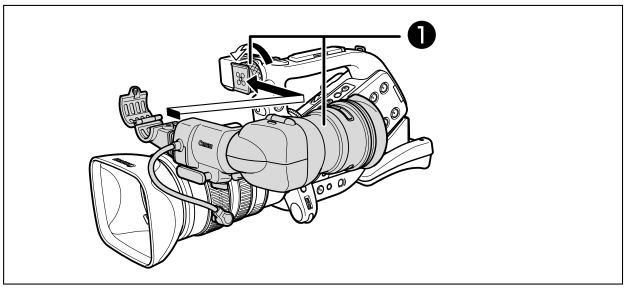
❸ 電池カバーを取り付ける

電池カバーの突起と本体の突起（下の方）の位置を合わせて、硬貨などを使って、カチッと音のするまで下に回します。

コイン型リチウム電池の交換時期
コイン型リチウム電池は約1年使用できます。電池が入っていなかったり、電池の容量が低下すると、「 」が画面で赤く点滅し、電池の交換時期を知らせます。

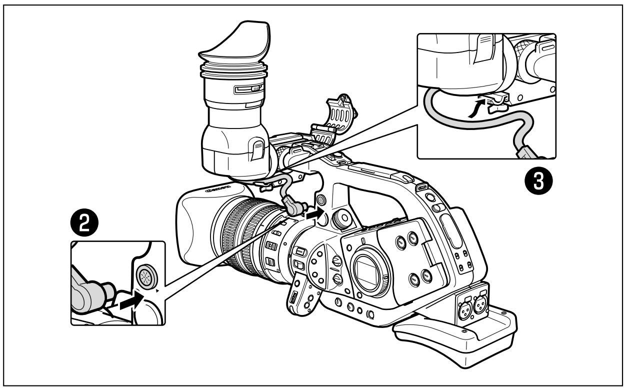
カメラの準備

ファインダーを取り付ける／取りはずす



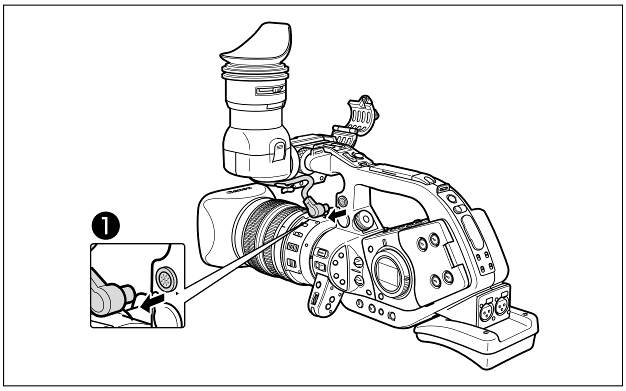
取り付ける

❶ ファインダー取り付け部にスライドさせて取り付け、固定ネジを回して固定する



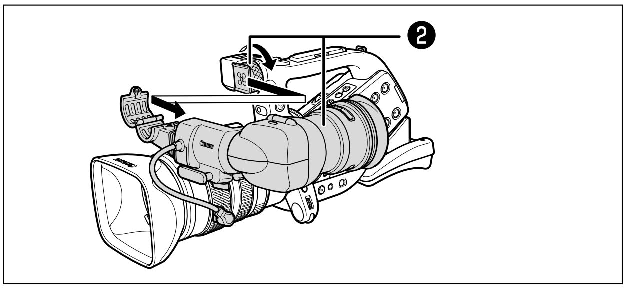
❷ ファインダーケーブルをカラーファインダー接続用端子（📖 15）に接続する

❸ ファインダーケーブルをケーブルクランプに固定する



取りはずす

❶ ファインダーケーブルをはずす



❷ 固定ネジを回してゆるめファインダー部をスライドさせてはずす

次のページへ

準備編

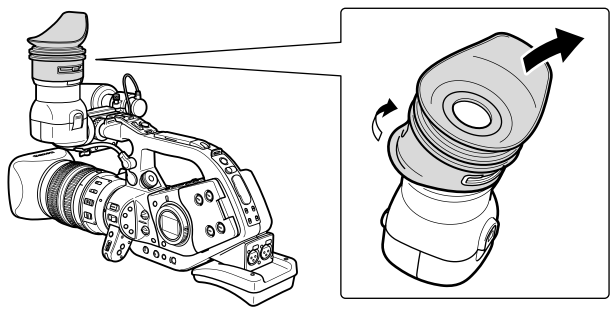
カメラの準備…つづき

アイカップを取りはずす／取り付ける

ファインダーは目の位置や使う目（右目、左目）に合わせて、位置が調整できます。
左目を使う場合は、アイカップを逆向きに取り付けることができます。

取りはずす

側面を持って、アイカップをはずす

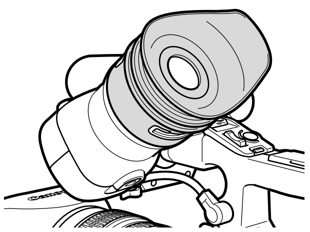


取り付ける

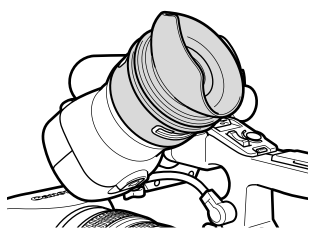
視度調整レバーの位置と切り欠き部を合わせて、奥までアイカップをはめ、固定する

使う目に合わせ（右目／左目）取り付けられます。

右目用



左目用

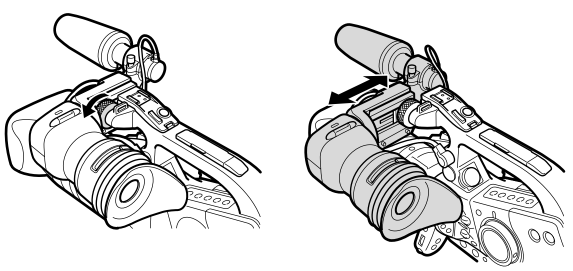


ファインダーの位置を調整する

ファインダーユニットは、前後左右にスライドできますので、右目／左目の最適なファインダー位置を設定できます。
位置を決めたら、固定ねじ／固定レバーでファインダーユニットを固定します。

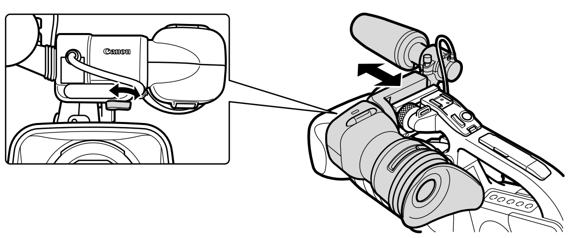
左右の調整

固定ねじをゆるめ、左右にスライドさせる



前後の調整

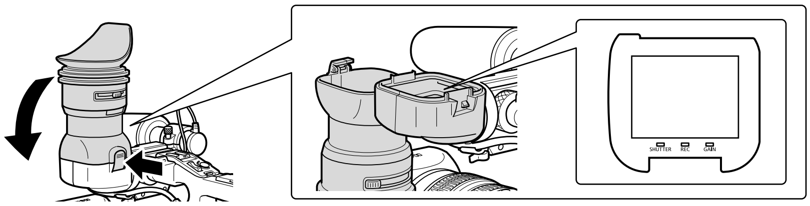
固定レバーをゆるめ、前後にスライドさせる



ファインダーを液晶画面として使う

接眼アダプターを跳ね上げると、ファインダーを液晶画面として使用できます。

ロック解除ボタンを押して、接眼アダプターを跳ね上げる。

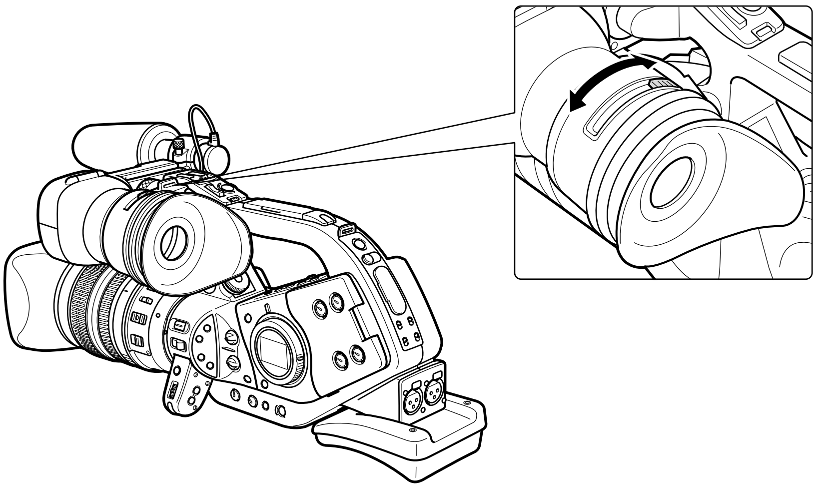


液晶画面として使用しないときは、液晶画面保護のため、接眼アダプターを閉じておいてください。

接眼アダプターを跳ね上げると、液晶画面は少し明るくなります。

ファインダーの視度を調整する

電源を入れ、ファインダーの表示がはっきり見えるようにレバーを動かして調整する。



直射日光がファインダー内に入らないようにしてください。レンズが光を集めるために、ファインダー内の液晶部が損傷することがあります。特にストラップや三脚を使用しているときや持ち運ぶときはご注意ください。このような場合はファインダーの角度を変えて直射日光が入らないようにしてください。

次のページへ

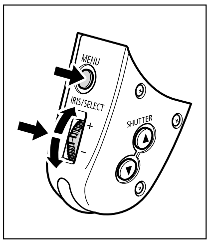
カメラの準備…つづき

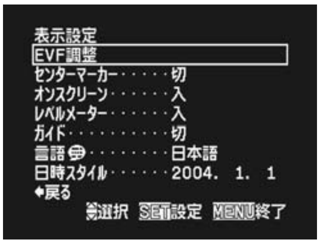
ファインダーを調整する



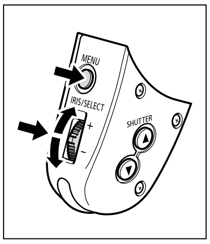
ファインダーの明るさ、コントラスト、カラー、シャープネスは標準に調整されていますが、必要に応じて調整できます。
ファインダーの明るさ、コントラスト、カラー、シャープネスの各調整と撮影する画面とは関係がありません。

明るさ	＋側にすると明るくなり、－側にすると暗くなる。
コントラスト	＋側にすると高くなり、－側にすると低くなる。
カラー	＋側にすると色が濃くなり、－側にすると薄くなる。
シャープネス	＋側にするとシャープになり、－側にするとソフトになる。





❶ MENUボタンを押す
❷「表示設定」➤「EVF調整」を選ぶ
- SETボタンを上／下に押して「EVF調整」を選び、まっすぐ押して設定します。



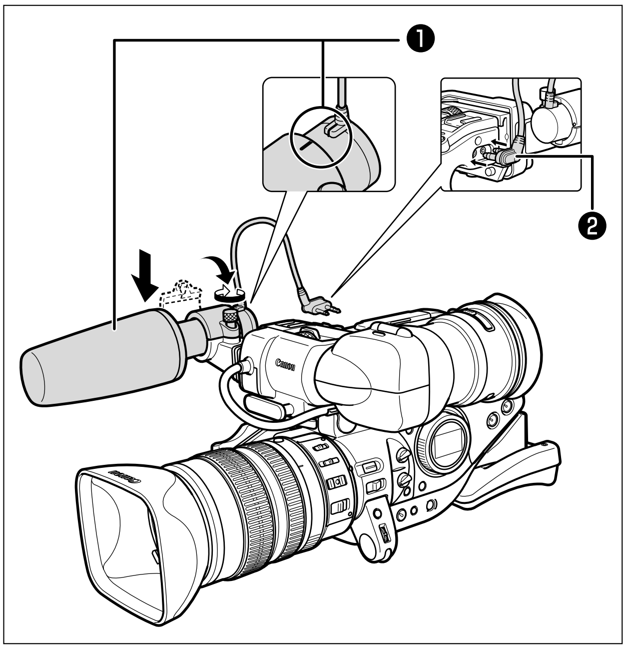


❸「明るさ」、「コントラスト」、「カラー」、「シャープネス」から調整する項目を選ぶ
- SETボタンを上／下に押して項目を選び、まっすぐ押して設定します。

❹ SETボタンを上／下に押して調整する
❺ SETボタンをまっすぐ押すと、調整項目を選ぶ画面に戻ります。
❻ MENUボタンを押す

マイクの取り付け

マイク固定ネジをゆるめ、マイク固定部を開いておきます。



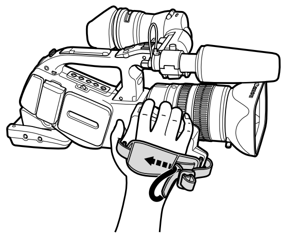
❶ 指標を合わせ、固定する

❷ マイクケーブルをFRONT MIC端子に接続する
- 付属のマイク以外をお使いになる場合には、ハンドル上部のアドバンストアクセサリーシューに取り付けてください。

グリップベルトの調節

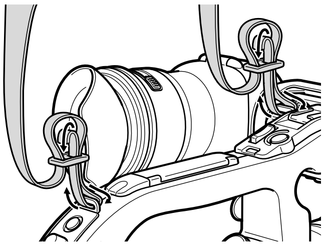
親指がスタート／ストップボタンに、人さし指と中指がズームボタンに、ちょうど合うようにベルトの長さを調節します。

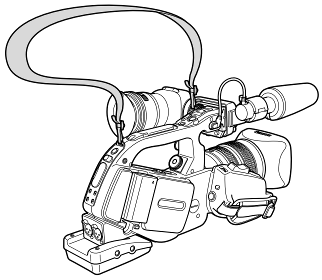
- 落下したりしないように、机などの安定した所で調節してください。



ストラップの付けかた

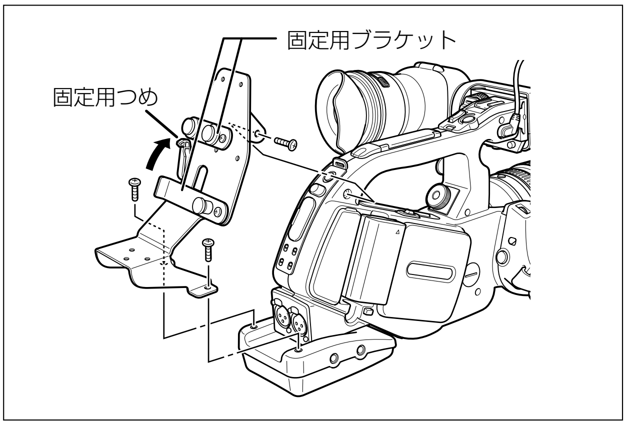
- 落下したりしないように、机などの安定した所で調節してください。





アダプターホルダーユニットを取り付ける

アダプターホルダーユニットを使うと、市販のワイヤレスマイクレシーバー、別売のデュアルバッテリーチャージャー／ホルダーCH-910が取り付けられます。



❶ ホルダーアダプターユニットを3箇所でねじを締めて固定する

❷ 取り付けるレシーバーに合わせて固定用ブラケットの位置を選ぶ

- 固定用ブラケットを利用して、デュアルバッテリーチャージャー／ホルダーCH-910を取り付ける場合は、ブラケットにある固定用のつめでCH-910をしっかり固定してください。CH-910をはずすときは、つめを矢印方向に押し下げてください。

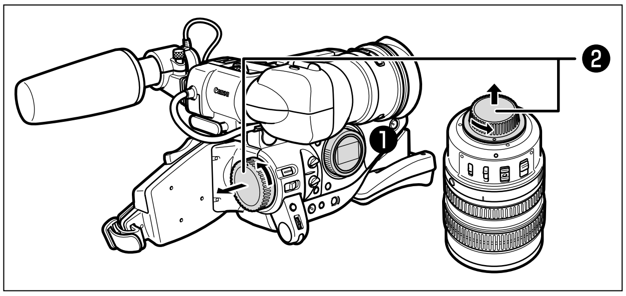
次のページへ

準備編

レンズの準備

XLマウントレンズを取り付ける／取りはずす

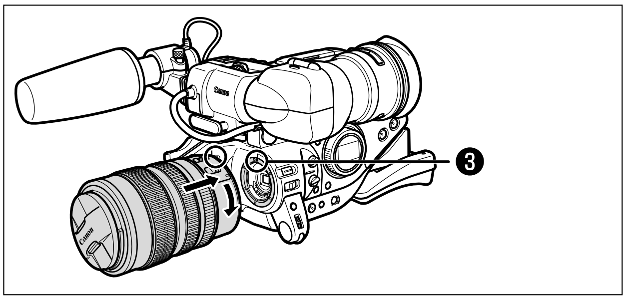
●取り付けるレンズの使用説明書もあわせてご覧ください。



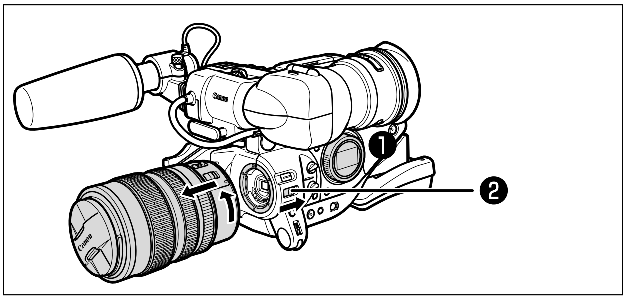
取り付ける

❶ メインダイヤルを「OFF」にする

❷ ビデオカメラ本体のマウントキャップとレンズのダストキャップを取りはずす



❸ ビデオカメラとレンズの赤い指標を合わせ、レンズをはめ込み、時計方向にカチッと音がするまで回して取り付ける

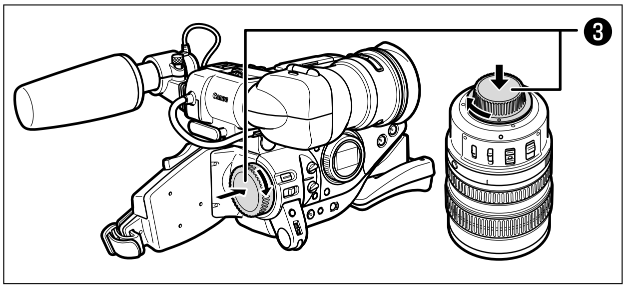


取りはずす

❶ メインダイヤルを「OFF」にする

❷ LENS RELEASEスイッチをスライドさせながらレンズを反時計方向に回し、ビデオカメラとレンズの赤い指標を合わせ取りはずす

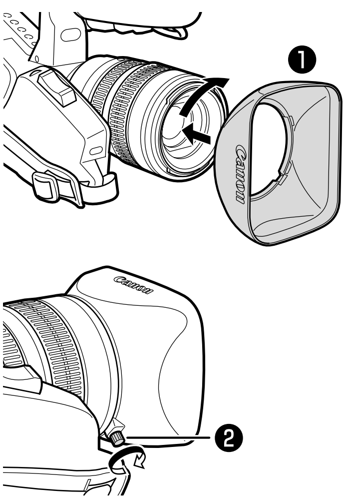




❸ ビデオカメラ本体にマウントキャップを、レンズにダストキャップを取り付ける

❍ レンズの取り付け／取りはずしなどは、ビデオカメラやレンズを落とさないようにして行ってください。
❍ レンズの取り付け、交換などは直射日光や強い照明を避けて行ってください。
❍ XLマウントはVLマウントと互換性はありません。
❍ レンズを取り付けずにビデオカメラの電源を入れると、ファインダーに「LENS」表示が点滅します。
❍ レンズを取りはずしたときに、レンズ、本体のマウント部およびその内部に手で触れたり、汚れたりしないようにしてください。汚れたときなどは、柔らかい乾いた布で乾拭きしてください（クリーニングを行うときは必ずビデオカメラの電源を切ってください）。

レンズフードを取り付ける



❶ レンズ先端部にフードをはめ込み、Canonの文字が上にくるように時計方向に回す
- フードの先端を軽く持って取り付けてください。強く握ると変形して、取り付け／取りはずしにくくなります。

❷ 固定ネジでフードを固定する

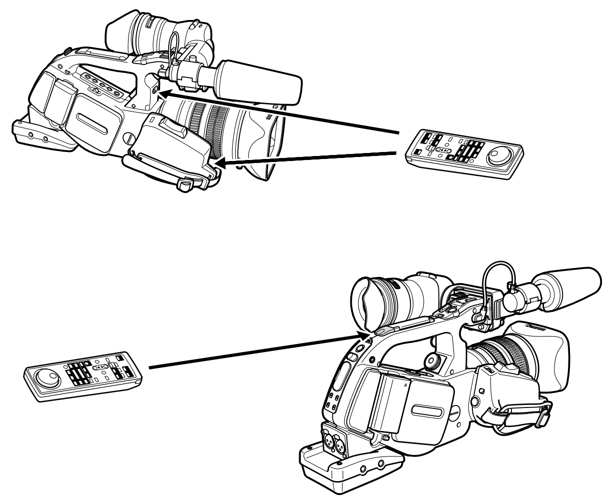

レンズフードはまっすぐ、斜めにならないように取り付けてください。


撮影時はレンズフードを取り付けてください。ゴーストやフレアなどに効果的です。

準備編

リモコンを使う

リモコンの操作のしかた

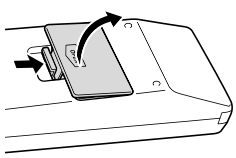


リモコン受光部に向けて、リモコンのボタンを押す

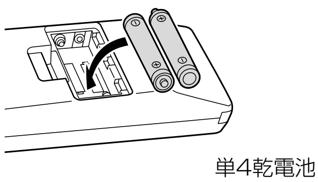
本機のリモコン受光部は前後に3箇所あります。

電池の入れかた

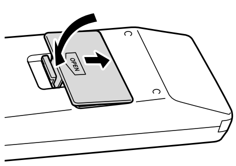
リモコンは、2本の単4乾電池で動作します。



❶ 電池カバーを押しながら取りはずす



❷ ⊕、⊖を表示に合わせて正しく入れる



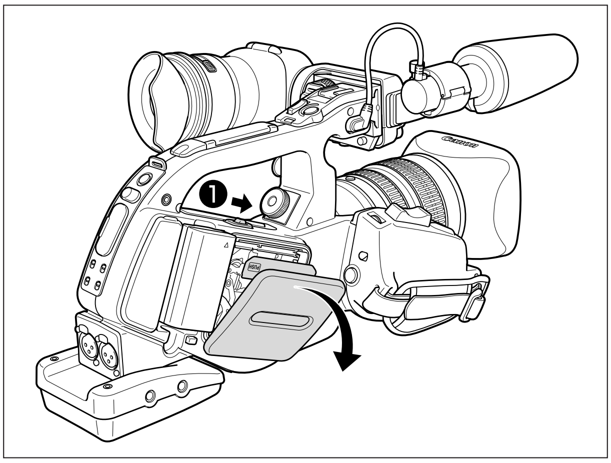
❸ 電池カバーを取り付ける

- ❍ 本機には2種類のリモコンコードがあります。リモコンで操作できないときは、必ず本体のリモコンコードを確認してください。電池を交換すると、リモコンコードは「設定1」に戻ります（🕮 111）。
- ❍ リモコンのボタンを押しても動作しなくなったり、本体に近づかないと動作しなくなったときは、電池を交換してください。2本とも、新しい電池をお使いください。
- ❍ リモコンの受光部に直射日光や照明などの強い光が当たっていると、正常に動作しないことがあります。

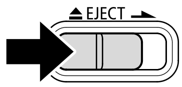
カセットを入れる／出す

ビデオカセットはMini DVマークの付いたものをお使いください。

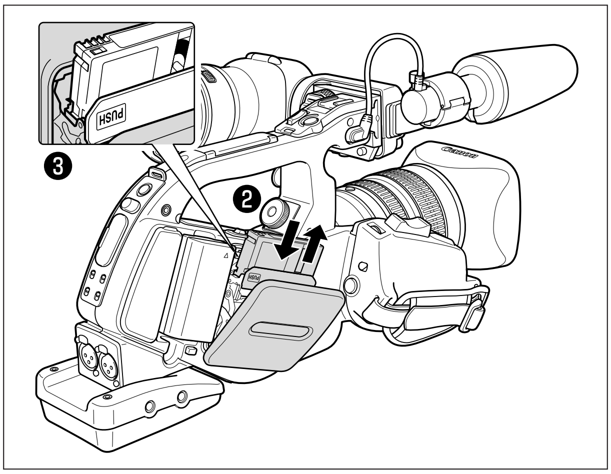
カセットを入れる／出す



❶ EJECTスイッチをスライドさせる



- カセット入れカバーが開き、カセット入れが自動的に開く。

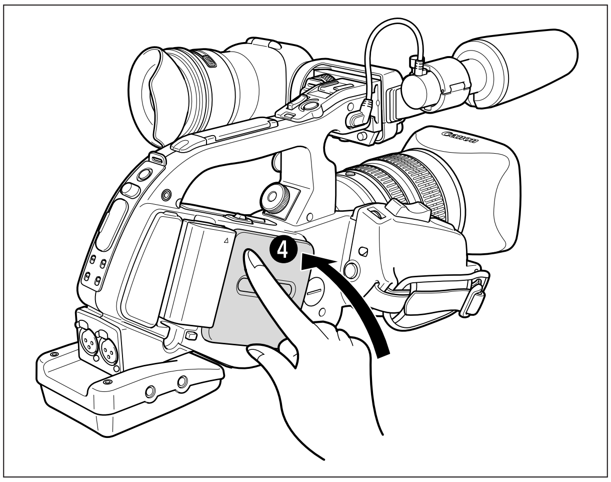


❷ カセットを入れる／出す

- カセットの透明な窓を外側に向けて、誤消去防止ツマミのある面を上にして入れる。
- カセットを出すときは、カセット入れからまっすぐに引き抜く。

❸ PUSH を押し、カセット入れを閉じる

- カセット入れが自動的に収納される。



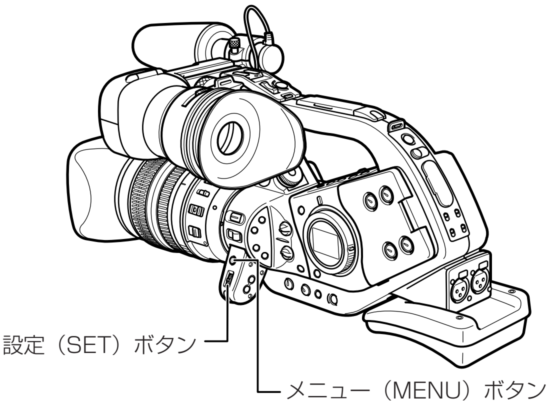
❹ カセット入れが完全に収納されたら、カセット入れカバーを閉じる

❍ カセット入れが自動的に動いている間は、無理に押したり、動きを妨げたり、カセット入れカバーを閉じたりしないでください。故障の原因となります。
❍ カセット入れカバーを閉めるときは、指をはさまないようにご注意ください。

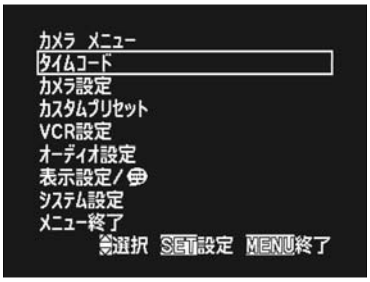
バッテリーパックなどの電源を取り付けていると、メインダイヤルが「OFF」でも、カセットの出し入れはできます。操作が終わると自動的に電源が切れます。

ご購入時の設定を変える（メニュー）

本機のさまざまな機能について、ご購入時の設定をメニューから変更できます。
メニュー項目は、メニュー一覧（🕮 122～128）をご覧ください。



メニュー画面下部の緑でマークされている表示は、本体上のボタンを表しています。



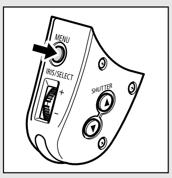
▲▼選択	SETボタンを上／下に押して、設定内容を選択します。
SET 設定	SETボタンをまっすぐ押して、設定します。
SET 戻り	SETボタンをまっすぐ押して、前のメニューに戻ります。
MENU 終了	MENUボタンを押して、メニューを終了します。

本体のSETボタンと、リモコンの▲、▼、設定ボタンは、同じ操作になります。

本体	リモコン
SETボタンを上に押す	▲ボタンを押す
SETボタンを下に押す	▼ボタンを押す
SETボタンをまっすぐ押す	設定ボタンを押す

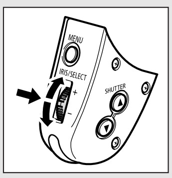
ここでは、カメラモードのときに、本体で操作する場合で説明しています。
例：「ハンドルズームスピード」を「L」に設定する

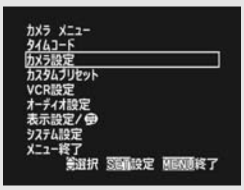
1 MENUボタンを押す



● メインメニューが出ます。

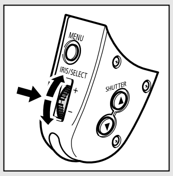
2 項目を選ぶ

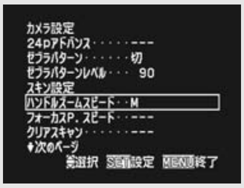




① SETボタンを上／下に押して、選択枠を設定する項目に合わせます。
② SETボタンをまっすぐ押すと、選んだ項目のサブメニューが出ます。

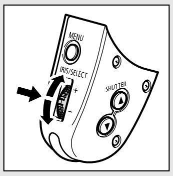
3 機能を選ぶ

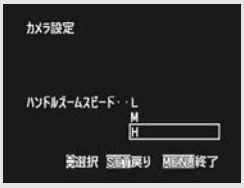




① SETボタンを上／下に押して、選択枠を設定する機能に合わせます。
② SETボタンをまっすぐ押すと、選んだ機能だけの表示になります。

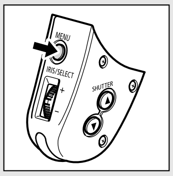
4 設定内容を選び、設定する





① SETボタンを上／下に押して、選択枠を設定する設定内容に合わせます。
② SETボタンをまっすぐ押すと、サブメニューに戻ります。

5 MENUボタンを押す



● メニューが消えます。

❍ 他の機能の設定内容などにより設定できない項目は、紫色で表示されます。
❍ MENUボタンを押すと、メニューはいつでも終了します。

準備編

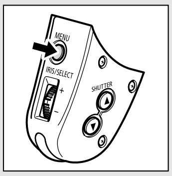
日時を設定する

はじめてお使いになる場合や、コイン型リチウム電池を交換した場合には、画面に「エリア／日時を設定してください」の表示が出ます。日付／時刻を設定する前に、世界時計のエリアを設定してください。

世界時計のエリアを選ぶ

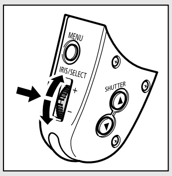
EXT. CONT.　VCR　|　A　Tv　Av　M

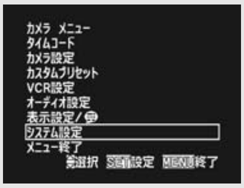
1 MENUボタンを押す



● メニューが出ます。

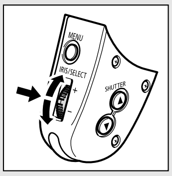
2 「システム設定」を選ぶ

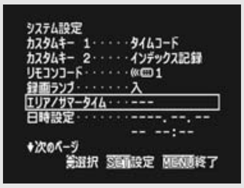




① SETボタンを上／下に押して、選択枠を「システム設定」に合わせます。
② SETボタンをまっすぐ押すと、「システム設定」サブメニューが出ます。

3 「エリア／サマータイム」を選ぶ



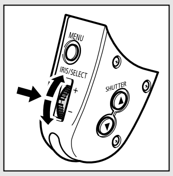


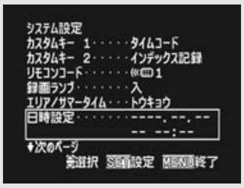
① SETボタンを上／下に押して、選択枠を「エリア／サマータイム」に合わせます。
② SETボタンをまっすぐ押すと、「エリア／サマータイム」だけの表示になります。
● はじめてお使いになる場合は「トウキョウ」が最初に表示されます。
③ SETボタンをまっすぐ押すと、「システム設定」サブメニューに戻ります。

日付／時刻を設定する

EXT. CONT.　VCR　|　A　Tv　Av　M

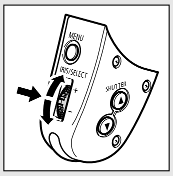
4 「日時設定」を選ぶ

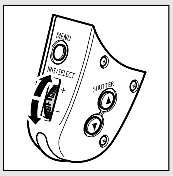


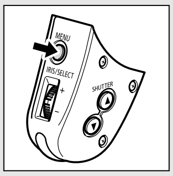


① SETボタンを上／下に押して、選択枠を「日時設定」に合わせます。
② SETボタンをまっすぐ押すと、「日時設定」だけの表示になります。

5 日付と時刻を設定する









例：2004年10月1日午前9時20分に設定する
① SETボタンをまっすぐ押して、項目を選びます。選んだ項目が点滅します。
押すたびに、年→月→日→時→分と項目が変わります。
② SETボタンを上／下に押して、数字を選びます。

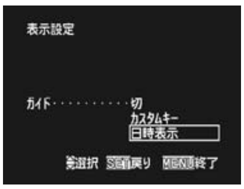
①と②の操作をくり返して設定します。

③ 時報に合わせて、MENUボタンを押します。内蔵時計が動き始めます。

撮影時に日時を表示する

本機では、撮影中に現在の日時を画面の左下に表示できます。

EXT. CONT.　VCR　|　A　Tv　Av　M



① MENUボタンを押す
②「表示設定」➤「ガイド」➤「日時表示」を順に選ぶ
　・ SETボタンを上／下に押して項目を選び、まっすぐ押して設定します。
③ MENUボタンを押す

次のページへ

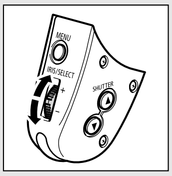
日時を設定する…つづき

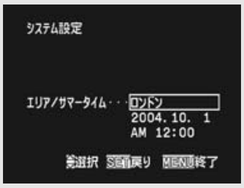
旅行先のエリアを選ぶ

本機の世界時計機能では、主要都市を含む世界24ケ所の標準時間を表示できます。海外へ旅行したときに「エリア」の設定を旅行先に変えるだけで、日時は現地時間に変わります。

32ページの操作3-②のあと

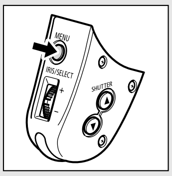
1 エリアを選ぶ





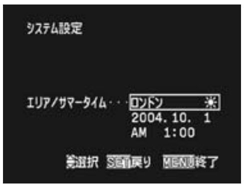
- SETボタンを上／下に押します。
- 押すたびに都市名が変わり、その都市の日付／時刻になります。

2 MENUボタンを押す



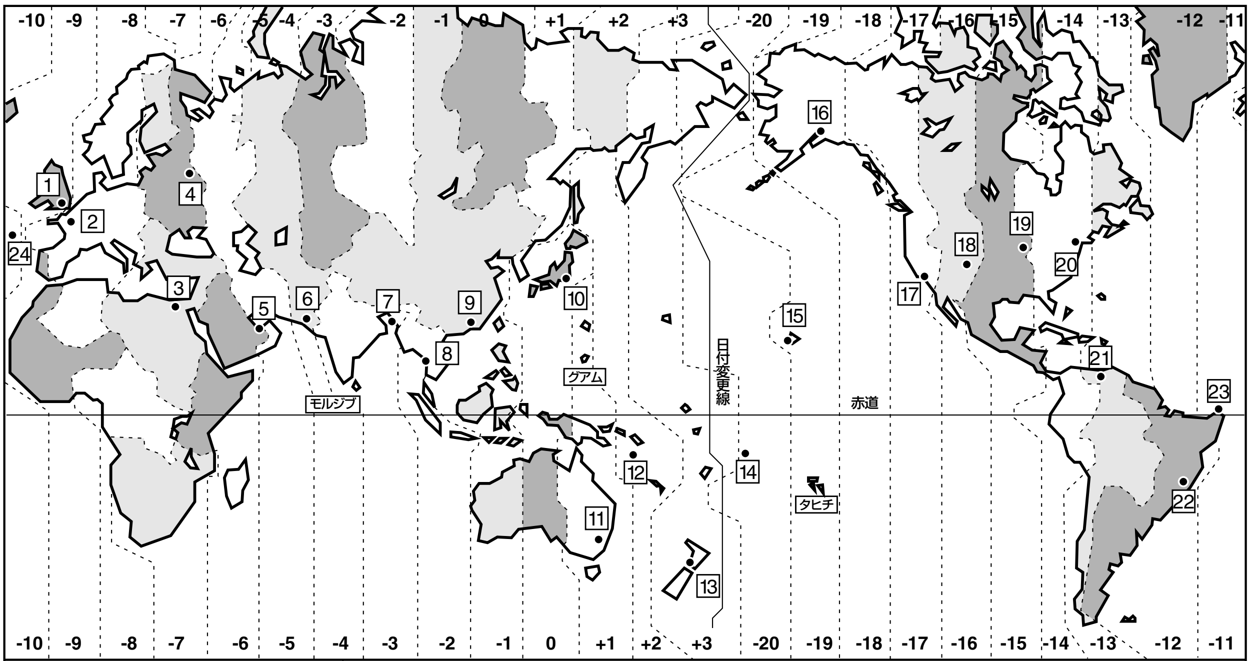
- メニューが消えます。

夏時間を設定するときは



都市名の右に ☀ マークの付くものを選んでください。

世界時計の都市と代表国



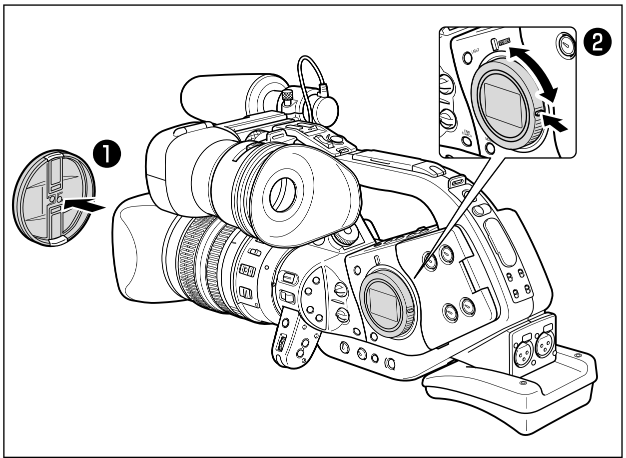
都市番号と都市名と日本との時差			代表国/代表地域
1	ロンドン	グリニッチ標準時 -9	イギリス（GMT：グリニッチ標準時）、ポルトガル
2	パリ	-8	イタリア、オランダ、スイス、スウェーデン、スペイン、ドイツ、中央ヨーロッパ標準時（CET）
3	カイロ	-7	エジプト、ギリシャ、トルコ
4	モスクワ	-6	イラク、ケニア、サウジアラビア、ロシア（モスクワ）
5	ドバイ	-5	アラブ首長国連邦
6	カラチ	-4	パキスタン、モルジブ
7	ダッカ	-3	インド、バングラデシュ
8	バンコク	-2	カンボジア、タイ、ベトナム、ジャカルタ
9	ホンコン	-1	オーストラリア西部（パース）、シンガポール、台湾、中国、フィリピン、ボルネオ島、バリ島
10	トウキョウ	日本標準時 (JST)	日本、韓国
11	シドニー	+1	オーストラリア東部（シドニー、ゴールドコースト）、グアム、サイパン
12	ソロモン	+2	ニューカレドニア
13	ウェリントン	+3	ニュージーランド、フィジー
14	サモア	-20	西サモア
15	ホノルル	-19	タヒチ、ハワイ/米国ハワイ標準時（HST）
16	アンカレジ	-18	アンカレジ/米国アラスカ標準時（AST）
17	ロサンゼルス	-17	サンフランシスコ、ロサンゼルス/米国太平洋標準時（PST）、カナダ西海岸
18	デンバー	-16	デンバー/米国山地標準時（MST）
19	シカゴ	-15	シカゴ、ダラス/米国中部標準時（CST）、メキシコ
20	ニューヨーク	-14	ニューヨーク、ワシントン/米国東部標準時（EST）、モントリオール/カナダ東海岸、ペルー
21	カラカス	-13	チリ、ベネズエラ
22	リオ	-12	アルゼンチン、ブラジル
23	フェルナンド	-11	フェルナンドデノロニヤ島（ブラジル）
24	アゾレス	-10	アゾレス諸島（ポルトガル）

撮影する

> 撮影する前に
> 必ず事前にためし撮りをし、正常に録画・録音されていることを確認してください。大切な撮影の前には、市販の乾式のクリーニングカセットを使って、ビデオヘッドをきれいにしてください。



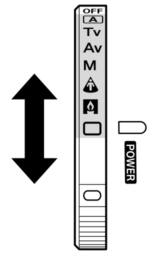
・「音声の記録」については、56ページをご覧ください。

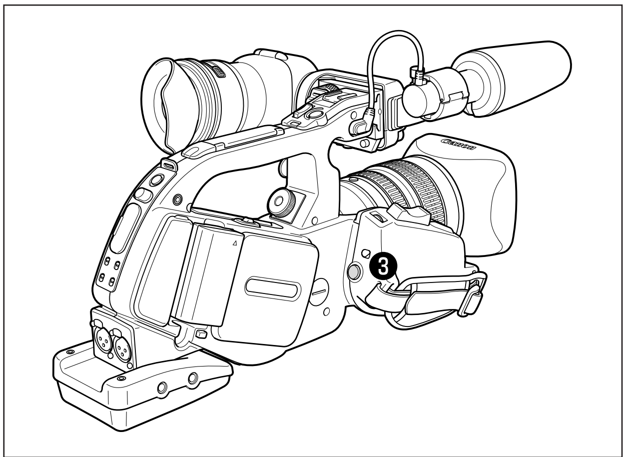


❶ レンズキャップをはずす

❷ ボタンを押しながらメインダイヤルをカメラモードにする

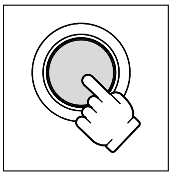
- 電源ランプが点灯する。
- 撮影一時停止になる。





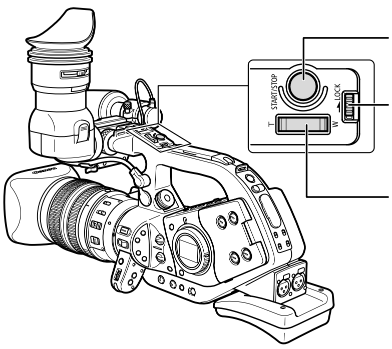
❸ スタート／ストップボタンを押す

- 撮影が始まる。
- 録画ランプが点滅し、ファインダーのRECランプが点灯します。

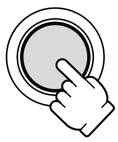


ローアングル撮影

本機にはローアングル撮影用に、ハンドル上部にスタート／ストップボタン、ハンドルズームボタンがあります。
ロック（LOCK）レバーを右にスライドさせると、この2つのボタンは無効になりますので誤操作を防止できます。



撮影をちょっと止めるとき（一時停止）



スタート／ストップボタンを押す

撮影が終わったら

❶ **メインダイヤルを「OFF」にする**

❷ **レンズキャップをはめる**

❸ **カセットを取り出す**

❹ **（ファインダーが消灯したのを確認して）バッテリーパックを取りはずす**

● **STANDBY（スタンバイ）ボタン**
撮影一時停止またはVCRストップ時に1秒以上押すとパワーセーブモードになり（ファインダーに「パワースタンバイします」の表示が出ます）、電源が切れます。もう一度押すと電源が入ります。
メインダイヤルと異なり、露出ロックの入／切、カラーバー／フィルムグレインの選択、入／切はそのまま保持されます。

● **5分タイマー**
通常、撮影一時停止が約5分間続くと、テープとヘッドの保護のために電源が切れます。
本機では、この「5分タイマー」について、カメラメニューの「VCR設定」サブメニューで、電源を切るか（シャットオフ）、レコーダー部だけを停止させるか（VCRストップ）が選択できます。
「VCRストップ」では、カメラ部は電源が入っていますので、絞り、シャッタースピードなどのカメラ部の設定をそのまま続けて行えます。
この状態から撮影をするときは、スタート/ストップボタンを押してください。録画一時停止にするときは、カスタムキーの「VCRストップ」ボタンを押してください（🕮91）。
「シャットオフ」を選んでいて電源が切れた場合は、STANDBYボタンを押すか、メインダイヤルを一度「OFF」にしてからカメラモードに戻し、電源を入れなおしてください。

● **VCRストップ**
カメラメニューの「カスタムキー設定」サブメニューで、CUSTOM KEYS1または2を「VCRストップ」に設定することで、カメラ部に電源を入れたまま、レコーダー部だけを任意に停止させることができます（🕮91）。
「VCRストップ」ボタンを押すことで、5分タイマーに制限されずに、カメラ部の設定などを行えます。
撮影するときは、「VCRストップ」ボタンをもう一度押して、撮影一時停止にしてください。

● **EVF DISPLAY（ファインダー表示）ボタン**
撮影時のファインダー表示はEVF DISPLAYボタンを押すたびに下記のように変わります。

↓
通常の表示
↓
オーディオレベルメーター、センターマーカー、撮影モード、EXPロック、NDフィルター、カスタムプリセット、シャッター、絞り、AEレベル、ゲイン、ホワイトバランス、スキンディテール、警告表示、日時＊
↓
日時＊
↓
表示なし
（最初に戻る）

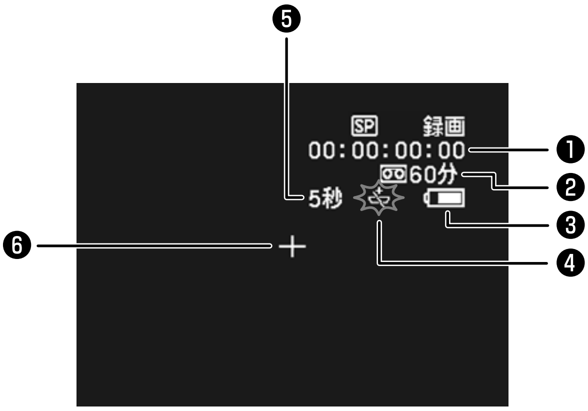
＊カメラメニューの「表示設定」サブメニューの「ガイド」を「日時表示」に設定すると日時も表示します。

- メインダイヤル、STANDBYボタンで電源を切ると通常の表示に戻ります。
- 接続したテレビなど出る表示も同じになります（オンスクリーン機能）。

❍ カセットを入れた直後は、テープカウンターが完全に止まってから、撮影を始めてください。
❍ 長時間使用しないときは、メインダイヤルを必ず「OFF」にしてください。
❍ カセットを取り出さなければ、電源を切っても、次の場面をきれいにつないで撮影できます。

次のページへ

撮影中のファインダー表示



①タイムコード（撮影時間表示）

タイムコードは、ドロップフレームとノンドロップフレームが選択できます。（□ 52）

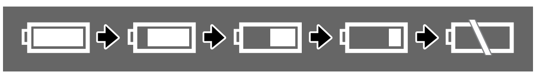
②テープ残量と“END”の点灯

テープ残量を「分」単位で表示します。
撮影中／再生中にテープが終端になると「END」が点灯し、停止状態になります。

- 撮影時間が15秒以下のときは残量表示が出ないことがあります。
- テープの残量表示は、テープの種類によっては、正しく表示されないことがあります。

③バッテリーパックの残量表示

バッテリーパックの残量の目安を表示します。



- バッテリーパックが消耗すると「」が赤く点滅します。充電したバッテリーパックと交換してください。
- 消耗したバッテリーパックを装着すると、電源が入らなかったり、「」が出ずに切れたりすることがあります。
- 残量と表示内容はビデオカメラ、バッテリーパックの状態により必ずしも一致しません。

④“”の点滅

コイン型リチウム電池が取り付けられていなかったり、電池の容量が低下すると、「」が点滅します。新しいコイン型リチウム電池CR2025と交換してください。（□ 20）

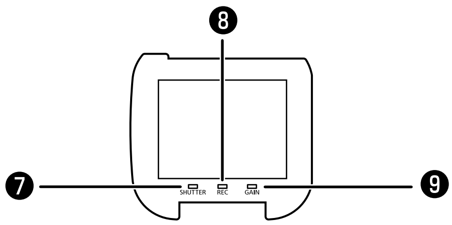
⑤お知らせタイマー

撮影を始めてから約10秒間、撮影時間を表示します。

- 1つの場面の撮影時間が短いと、落ち着きのない画面になりがちです。お知らせタイマーを見ながら、撮影することをおすすめします。

⑥センターマーカー

画面の中央に出ますので、フレーミングの目安にできます。（□ 124）



⑦SHUTTERランプ

下記のシャッタースピード以外のときに点灯します。

フレームレート	シャッタースピード
60i	1/60秒
30p	1/30秒
24p	1/48秒

⑧RECランプ

撮影中に点灯します。テープの録画可能時間が5分以下になると、点滅し、テープ終端になると消灯します。

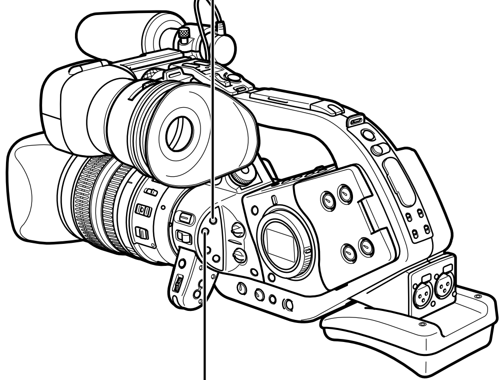
- テープの残量表示が出ないときは、RECランプは点滅しません。

⑨GAINランプ

AGC（オートゲインコントロール）が+3dB以上または-3dBになると点灯します。

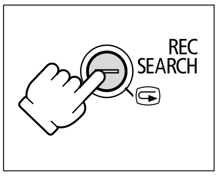
テープに撮影した画像を確認する（録画チェック／録画サーチ）

録画チェック	最後に撮影した場面を、画面で確認できます。
録画サーチ	撮影した場面を再生して、撮り直しや続けて撮影したい場面を探せます。





録画チェック

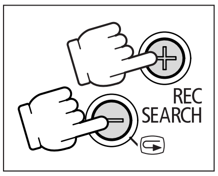


撮影一時停止中

録画チェックボタンをポンと押す

撮影した最後の場面（約3秒間）が再生され、撮影一時停止に戻ります。

録画サーチ



撮影一時停止中

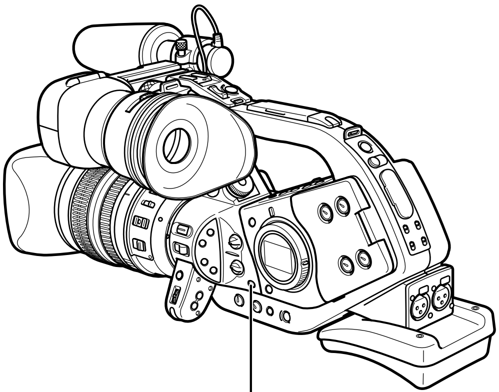
録画サーチ＋／ーボタンを押し続ける

押し続けている間、再生されます。ボタンを離すと、その場面で撮影一時停止になります。

撮影編

テープに撮影した最後の場面を探す（エンドサーチ）

最後に撮影した場面から続けて撮影したいときに使います。



エンドサーチ（END SEARCH）
ボタン



1 エンドサーチボタンを押す





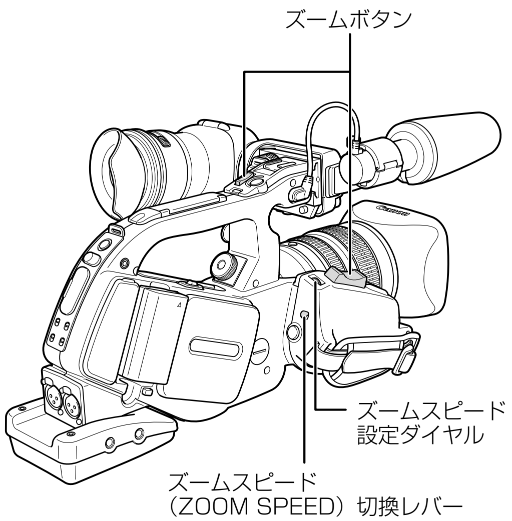
- 「エンドサーチ」の表示が出ます。
- テープが早送り／巻戻しされ、最後に撮影した場面が数秒間再生された後に停止します。
- エンドサーチ中にもう一度ボタンを押すと、中止します。

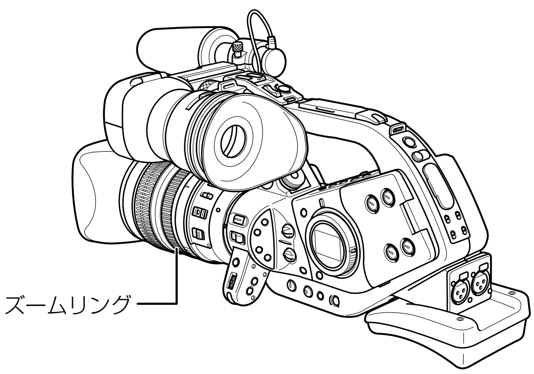
❍ 一度テープを取り出すと、エンドサーチは使用できません。
❍ テープの途中に未記録部分があると、エンドサーチが正しく働かないことがあります。

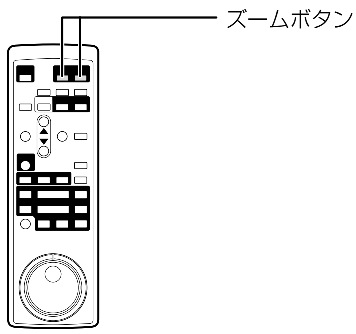
ズームを使う

本機では、グリップ部、ハンドル部の2箇所にズームボタンがあり、さらに、レンズのズームリング、リモコンのズームボタンでも操作できます。



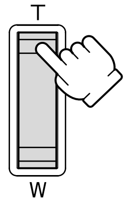




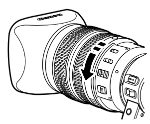


ズームインするとき

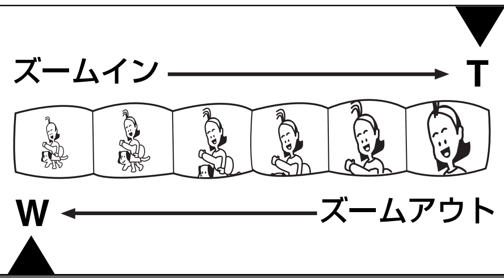
ズームボタンを **押す**（本体）



ズームリングを **回す**（レンズ）

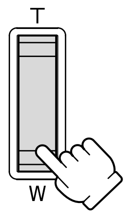


● Tはtelephoto（テレフォト）（望遠）の頭文字で、画面の一部を大きく拡大できます。

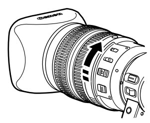


ズームアウトするとき

ズームボタンを **押す**（本体）



ズームリングを **回す**（レンズ）



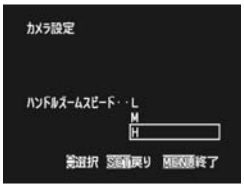
● Wはwide（ワイド）（広角）の頭文字で、広い範囲が撮影できます。

次のページへ

ズームを使う…つづき

ズームスピードについて

- グリップ部のズームボタンはZOOM SPEED切換レバーがVARIABLEのときは、ズームスピードはズームレバーの押しかたで変化します。軽く押すと低速ズームになり、押し込むと高速ズームになります。CONSTANTでは、その上のダイヤルをFAST→方向に回すと高速ズーム（ズーム表示の右の数字が大きくなる）に、逆方向に回すと低速ズーム（ズーム表示の右の数字が小さくなる）になります。
  20X L ISレンズの場合のズームスピード（ワイド端〜テレ端まで）
  VARIABLE：〜約10秒
  CONSTANT：表示1の場合：約60秒
  　　　　　表示16の場合：約3.5秒
  （ズームスピードはレンズによって異なります。）
- ハンドル部のズームボタンはL（低速）、M（中速）、H（高速）が選択できます。



① MENUボタンを押す
②「カメラ設定」➤「ハンドルズームスピード」➤設定内容を順に選ぶ
　・ SETボタンを上／下に押して項目を選び、まっすぐ押して設定します。
③ MENUボタンを押す

- レンズのズームリングはゆっくり回すと低速ズームに、早く回すと高速ズームになります。
- リモコンのズームボタンではズームスピードは一定です。

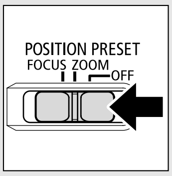
ズームプリセット（ズームプリセット機能を搭載したレンズ使用時）

プリセットしたズーム位置に戻ります。

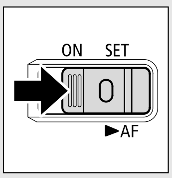
ズーム位置をプリセットする

EXT. CONT.　VCR　|　A　Tv　Av　M

1 **POSITION PRESETスイッチを「ZOOM」にする**



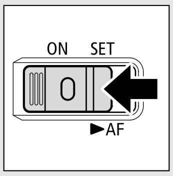
2 **ON/SETスイッチを「SET」にする**



- 「SET」にしたときのズーム位置がプリセットされ、ズーム表示のプリセットした位置の表示が黄色くなります。

プリセットしたズーム位置に戻る

1 ON/SETスイッチを「ON」にする



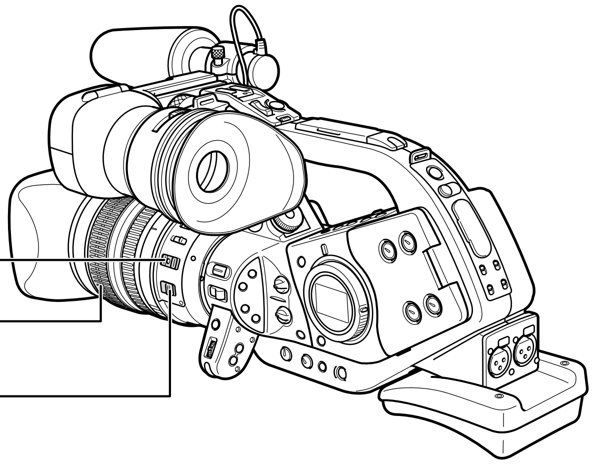
● ズームがプリセットした位置に戻ります。

❍ ズームプリセット設定後に、エクステンダーXL 1.6Xを取り付けたり、ズーム倍率の異なるレンズを取り付けると、ズームプリセットはリセットされます。
❍ ZOOM SPEED切換レバーをCONSTANTにして設定したズームスピードで、プリセットしたズーム位置に戻ります。

撮影編

フォーカス

本機のピント合わせには、自動でピントを合わせるオートフォーカスとマニュアルでピントを合わせるマニュアルフォーカスの2種類があります。





オートフォーカス（オートフォーカス機能を搭載したレンズ使用時）

本機のオートフォーカスには、通常のオートフォーカスとプッシュAFの2種類があります。

❶ 通常のオートフォーカス

レンズのフォーカスモードスイッチがAFのときに機能します。
TTL方式のオートフォーカスで2cm（ワイドの端、レンズ先端から）〜∞（無限遠）までの被写体に自動的にピントを合わせます。
ファインダーの中央部にある被写体にピントが合います。

❷ プッシュAF

マニュアルフォーカスで、FOCUS PRESETスイッチがOFFのときに、▶AFスイッチを▶AF側にしている間だけ、オートフォーカスが動作します。

❍ 晴れた日の屋外など、明るいシーンを撮影するときは、絞りが絞り込み、小絞りによるボケが生じます。このボケは、T側よりW側の方が被写体が小さく撮影されるため目立ちます。
NDフィルターが内蔵されているレンズを使用するときは、カメラの警告指示に従って、NDフィルターを入／切してください。

❍ □（全自動）モードでは、マニュアルフォーカスは選択できません。フォーカスモードスイッチを「M」にしても、オートフォーカスになります。
❍ Avモードで、被写界深度を考慮すると、より効果的に撮影できます。背景を大きくぼかして被写体を引き立たせたいときには絞り値を小さく設定します。
被写体とその前後、または近くのものから遠くのものまでピントを合わせたいときには、絞り値を大きく（F8〜F11など）設定します。
❍ フレームレートを30pまたは24pに設定していると、60iよりもフォーカスが合うまで若干時間がかかります。
❍ 暗い室内などで撮影するときは、絞りが開き、ピントの合う範囲が非常に狭くなります。このため、特に奥行きのある被写体を撮影すると、全体にボケたような画像に見えることがあります。
❍ オートではピントの合いにくい被写体
- 輝いたり、強い光が反射している
- 白い壁など、明暗の差がない
- 動きが速い
- 水滴や汚れのついたガラス越し
- 夜景

マニュアルフォーカス

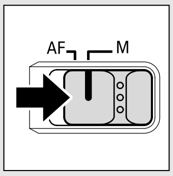
まれにオートフォーカスではピントの合いにくい場合がありますので、そのときにはマニュアルフォーカスでピントを合わせてください。

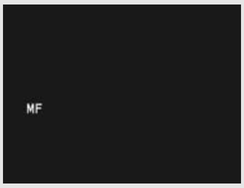
- オートフォーカス中でも、フォーカスリングを回すと、操作している間だけマニュアルフォーカスになります。操作をやめるとオートフォーカスに戻ります。ガラス越しに撮影するときなどに便利です。

操作のしかた



1 オートフォーカス機能のあるレンズでは、レンズのフォーカスモードスイッチをMにする



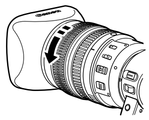


- MF 表示が出る。

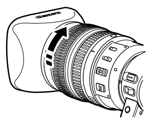
2 ズームを操作してT端にする

3 フォーカスリングを回してピントを合わせる

無限遠方向にピントを合わせる
下に回す



近距離方向にピントを合わせる
上に回す



4 ズームを操作して被写体を撮りたい大きさにする

- T端でピントを合わせておくと、そのままズーム全域でピントの合った撮影ができます。
- マニュアルフォーカス時に電源を入れた状態で放置するとピントがぼける場合があります。これはレンズおよびカメラ内部の温度上昇によりピント面がわずかですが移動するためです。撮影を開始する前に再度ピントを確認してください。

次のページへ

フォーカス…つづき

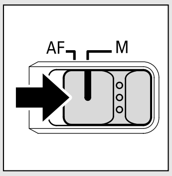
フォーカスプリセット（フォーカスプリセット機能を搭載したレンズ使用時）

プリセットしたフォーカスに位置に、フォーカスを合わせます。フォーカスを合わせるスピードはメニューで選択できます。

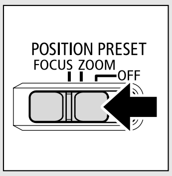
フォーカス位置をプリセットする



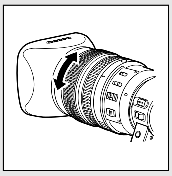
1 **フォーカスモードスイッチを「M」にする**



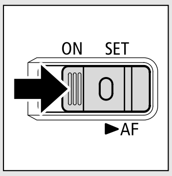
2 **POSITION PRESETスイッチを「FOCUS」にする**



3 **フォーカスリングを操作して、フォーカスを合わせる**

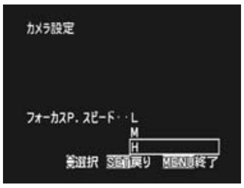


4 **ON/SETスイッチを「SET」にする**



- 「SET」にしたときのフォーカス位置がプリセットされ、「MF」表示と設定されているフォーカスP.プリセットスピードが表示されます。

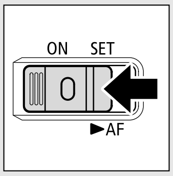
フォーカスプリセットのスピードを選ぶ



① MENUボタンを押す
②「カメラ設定」➤「フォーカスP.スピード」➤設定内容を順に選ぶ
・ SETボタンを上／下に押して項目を選び、まっすぐ押して設定します。
③ MENUボタンを押す

プリセットしたフォーカス位置に戻る

1 ON/SETスイッチを「ON」にする



- フォーカスがプリセットした位置に合って固定されます。

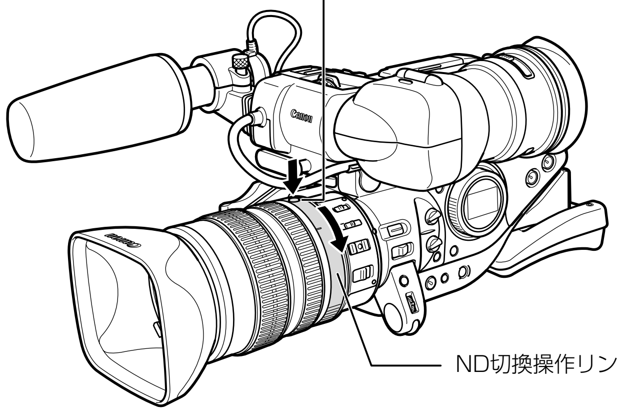


レンズをはずすか、電源を切ると、プリセット値はリセットされ、プリセット設定はOFFになります。

撮影編

NDフィルターを使う（NDフィルター内蔵レンズ使用時）

晴れた日の屋外など、明るいシーンを撮影するときに、絞りが絞り込み小絞りによるボケ*が生じます。
このようなとき、NDフィルターを使用すると、このボケを防ぐことができます。
NDフィルターが内蔵されているレンズを使用するときは以下の警告表示に従って、NDフィルターを入／切してください。



20X L ISレンズの場合は、ND切換ロック解除ボタンを押しながら、ND切換操作リングを回します。
撮影モードが □（全自動）と Ⓐ（オート）のときはNDフィルター警告表示が出ます。

表示	表示内容	操作
表示なし	内蔵NDフィルターが入っていない	―――
ND点灯	内蔵NDフィルターが入っている	―――
"ND ON" 点滅	内蔵NDフィルターが必要	レンズ内蔵のNDフィルターを使用する
ND "ON" 点滅	内蔵NDフィルターが入／切のレンズの場合：外付けのNDフィルターが必要 内蔵NDフィルターの濃度を選択できるレンズの場合：より濃いNDフィルターまたは外付けのNDフィルターが必要	より濃い内蔵フィルターを使うか、 レンズにNDフィルターを装着する※
ND "OFF" 点滅	内蔵NDフィルターは不要	レンズ内蔵のNDフィルターを使用しない

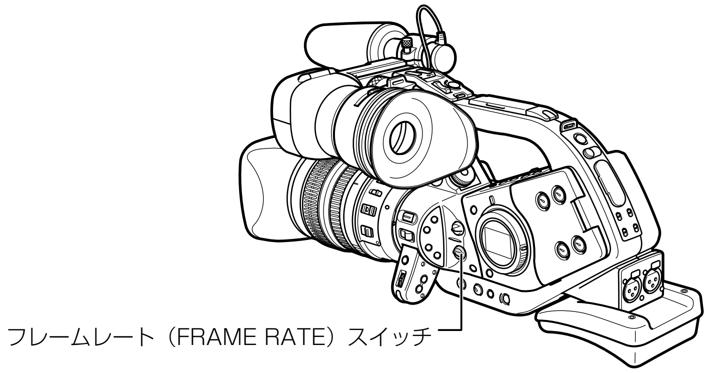
※ 外付けNDフィルターがない場合には Tvモードでシャッタースピードを速めに設定するか、Avモードで絞りを閉じてください。

* 小絞りによるボケとは
屋外などの明るい場所で撮影すると、光の量を調整するために絞りが閉じてゆき絞り径が極端に小さくなったときに、ボケが生じることがあり、この現象を小絞り回折、または小絞りによるボケと呼びます（使用するレンズの種類によりボケが発生する絞り径は異なります）。
● NDフィルターを入れたり、シャッターを高速にして光の量を減らすと絞りが開き、ボケを防ぐことができます。

❍ NDフィルターを入／切すると絞りの設定が変わります。必要に応じてAvモードで絞りを調整してください（□ 70）。
❍ シーンによってはNDフィルターを入／切するとわずかに発色が変化する場合があります。このような場合はホワイトバランスをセットして撮影すると効果的です（□ 78）。

フレームレートを選択する

本機では、60i、30p、24p 2:3、24p 2:3:3:2の4種類からフレームレートを選択できます。



EXT. CONT. | VCR | A | Tv | Av | M

60iモード

60フィールドインターレースで記録します。
通常のテレビ信号と同じです。

30pモード

30コマ/秒のプログレッシブモードで記録します。30コマ/秒の映像を60フィールドインターレース信号に変換し出力します。

30p（撮影）	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
↓ 60i（記録）	a a	b b	c c	d d	e e	f f	g g	h h	i i	j j

24pモード

24pではフィルムカメラと同じ24コマ/秒のプログレッシブモードで録画するため、映画のような映像表現になります。

24p 2:3モード

24コマ/秒の映像信号を「2:3プルダウン」方式で60フィールドインターレース信号に変換して出力します。
24p編集する際、フレームの抽出で一部映像の伸張・圧縮が必要になります。
テレビでの再生に適しています。

24p（撮影）	A	B	C	D	E	F	G	H
↓ 60i（記録）	a a	b b b	c c	d d d	e e	f f f	g g	h h h

24p 2:3:3:2モード

24コマ/秒の映像信号を「2:3:3:2プルダウン」方式で60フィールドインターレース信号に変換して出力します。
3:3で接する部分の映像（右図bc、fg）を捨てるだけで、24pの編集が可能なため、画質劣化のない編集が可能で、編集に適しています。

24p（撮影）	A	B	C	D	E	F	G	H
↓ 60i（記録）	a a	b b b	c c c	d d	e e	f f f	g g g	h h

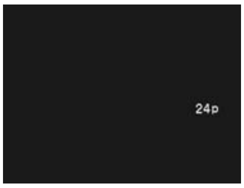
撮影編

次のページへ

フレームレートを選択する…つづき

60i、30p、24pを選ぶ

FRAME RATEスイッチで選ぶ



● 選んだフレームレートが表示されます。

❍ 撮影中はFRAME RATEスイッチを操作しても、フレームレートは切り換りません。撮影一時停止になったときに切り換ります。
❍ 24pでは、撮影モードをローライトにしても、スローシャッターにはなりません。□（全自動）と同じ動作になります。

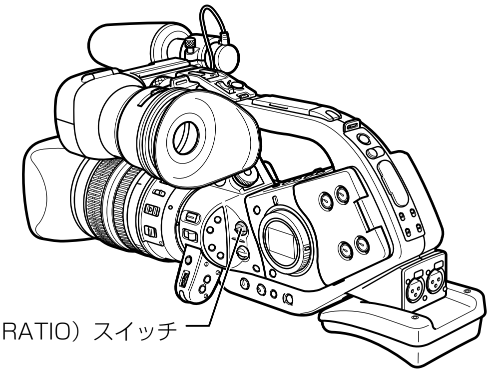
24p 2:3モードと24p 2:3:3:2モードを選ぶ



① MENUボタンを押す
②「カメラ設定」➤「24pプルダウン」➤設定内容を選ぶ
　・ SETボタンを上／下に押して項目を選び、まっすぐ押して設定します。
③ MENUボタンを押す
　・ 24p 2:3を選んだときには、「24p」が白色で、24p 2:3:3:2を選んだときには、「24p」がオレンジ色で表示されます。

2:3:3:2方式に対応していない編集システムの場合、24p 2:3で撮影してください。

16：9で撮影する



EXT. CONT.　VCR　|　A　Tv　Av　M

ASPECT RATIOスイッチを16：9にする。

- 16：9では、水平方向の画角が広くなります。
- 本機ではレターボックス方式になっており、画面ではそのまま撮影している映像が確認できます。

❍ 撮影中はASPECT RATIOスイッチを操作しても、アスペクト比は切り換りません。撮影一時停止になったときに切り換ります。

❍ 16：9で撮影したときは、テレビをワイドテレビモードに切り換えてください。（詳しくは、テレビの使用説明書もあわせてご覧ください）。4：3のテレビで再生すると、縦に伸びた映像になります。S1映像入力端子やビデオID-1方式対応のテレビに接続すると、自動的にワイド画面に切り換ります。

タイムコードを設定する

EXT. CONT. | VCR | A | Tv | Av | M

フレーム設定を選択する

60iと30pではドロップフレームとノンドロップフレームが選択できます。
30フレーム／秒でカウントするタイムコードと、フレーム周期が29.97／秒のNTSC映像信号の間に生じるずれをフレームを間引くことで自動的に補正するのが、ドロップフレーム方式です。この補正を行わないのが、ノンドロップ方式で、タイムコードが連続して記録されます。実時間と合わせるときはドロップフレームを選んでください。編集を行うときはノンドロップフレームを選んでください。

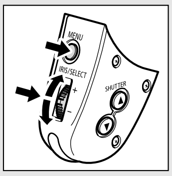


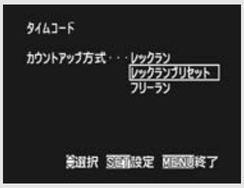
① MENUボタンを押す
②「タイムコード」➤「フレーム設定」➤ 設定内容を順に選ぶ
　・ SETボタンを上／下に押して項目を選び、まっすぐ押して設定します。
③ MENUボタンを押す

カウントアップの方式を選択する

60iと30pでは「レックラン」、「レックランプリセット」と「フリーラン」が選択でき、24pでは「レックラン」、「レックランプリセット」が選択できます。「レックラン」では、本機のテープに記録している間だけ、タイムコードが歩進します。「フリーラン」では、本機の操作に関係なく、タイムコードが歩進します。「レックランプリセット」および「フリーラン」では、スタート値を任意に設定できます。
通常はレックランを選びます。複数のビデオカメラで撮影するときに同一のタイムコードを記録するときは、フリーランを選びます。

1 カウントアップ方式を選ぶ

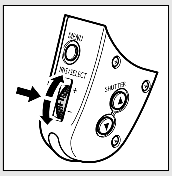


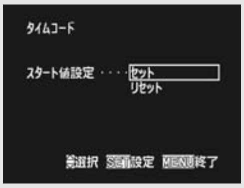


① MENUボタンを押す
②「タイムコード」➤「カウントアップ方式」➤設定内容を選ぶ
- SETボタンを上／下に押して項目を選び、まっすぐ押して設定します。
- 「レックラン」を選んだ場合はMENUボタンを押します。
- 「レックランプリセット」、「フリーラン」を選んだ場合はスタート値のセット／リセット選択画面が出ます。

2 「レックランプリセット」または「フリーラン」を選んだ場合：

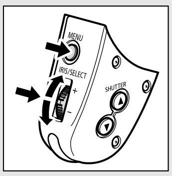
「セット」を選ぶ





- SETボタンを上／下に押して項目を選び、まっすぐ押して設定します。
- スタート値設定画面が出ます。

3 スタート値を設定する





- SETボタンを上下に押して数字を選び、まっすぐ押して設定します。
- MENUボタンを押す。

❍「フリーラン」を選んでいる場合は、設定の途中でMENUボタンを押したとき、または最後の桁を設定してSETボタンを押したときにタイムコードの歩進が開始します。
❍ タイムコードを「00：00：00：00」にリセットするときは、手順2でリセットを選んでください。
❍ タイムコードのフレームは24pでは5の倍数の設定になります。60i、30pでタイムコードを設定していたときに、24pに変更すると自動的にスタート値が5の倍数になります。
❍ ドロップ、ノンドロップ（24p含む）を混在させて録画すると、撮影開始時のタイムコードが不連続になることがあります。
❍ 重ね撮りする場合：記録開始付近にタイムコードの不連続があると、記録開始時のタイムコードが不連続になる場合があります。
❍ コイン型リチウム電池を入れておけば、バッテリーパックなどの電源がなくても、フリーランタイムコードは歩進します。

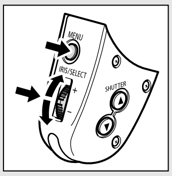
ユーザービットを設定する

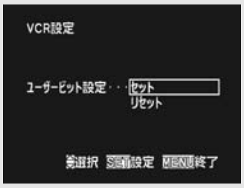
16進数8桁までのユーザービットを設定してテープに記録します。
ユーザービットは0～9までの数字と、A～Fまでのアルファベットが設定可能です。
ユーザービットは自由に設定できますので、テープIDなどテープの管理に便利です。

ユーザービットを設定する

EXT. CONT. | VCR | A | Tv | Av | M

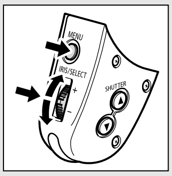
1 項目を選ぶ





① MENUボタンを押す
②「VCR設定」➤「ユーザービット設定」を選ぶ
- SETボタンを上／下に押して「セット」を選び、まっすぐ押して設定します。
- ユーザービット設定画面が出ます。

2 ユーザービットを設定する





- SETボタンを上／下に押して数字、アルファベットを選び、まっすぐ押して設定します。続いて、右隣の桁の設定になります。最後の桁を設定して、SETボタンをまっすぐ押すとメニューに戻ります。

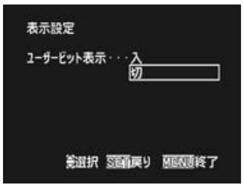
③ MENUボタンを押す

❍ ユーザービットを「00 00 00 00」にリセットするときは、手順2で「リセット」を選んでください。
❍ ユーザービットはカメラでの撮影、アナログ入力での録画で記録されます。DV入力での録画では自機設定のユーザービットは記録されません。

ユーザービットを表示する

EXT. CONT. | VCR | A | Tv | Av | M

記録したユーザービットを表示します。



① MENUボタンを押す
②「表示設定」➤「ユーザービット表示」➤設定内容を順に選ぶ
　・ SETボタンを上／下に押して「入」を選び、まっすぐ押して設定します。
③ MENUボタンを押す

特殊再生中はユーザービットは表示されません。

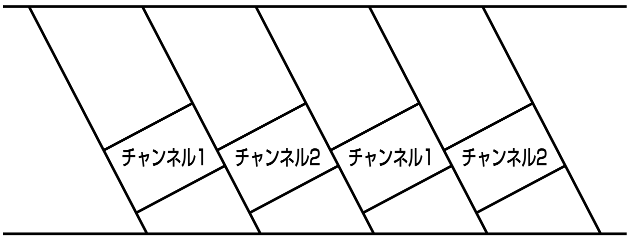
撮影編

音声の記録

録音レベル調整は必ず市販のヘッドフォンでモニターをしながら行ってください。

本機では音声記録は16bitと12bitが選択でき、さらに12bitでは アフレコなどのために2チャンネルを残したモード（12bit CH 1/2）と最大4チャンネルまで同時に記録できるモード（12bit CH 1/2、3/4 ）が選択できます。
16bitでは、サンプリング周波数が48kHz、12bitでは32kHzになります。16bitモードでは、12bitより高分解能で、周波数帯域も広くなるため、より高音質の記録が可能です。
・ 本機ではアフレコできません。

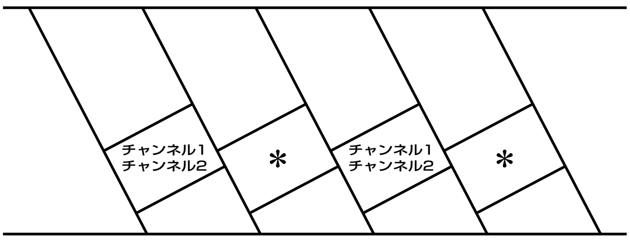
16bit



1. 16bit 2チャンネル

12bit CH 1/2

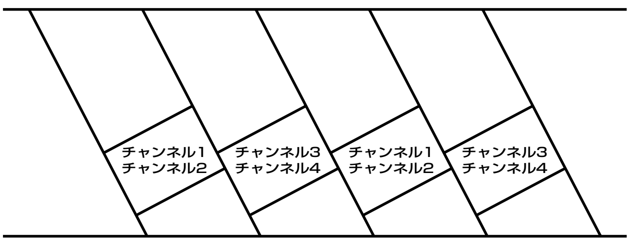
チャンネル1、2に記録され、隣のチャンネルは空きになります。



2. 12bit 2チャンネル

12bit CH 1/2 、3/4

チャンネル1、2、3、4に同時に記録します。



3. 12bit 4チャンネル



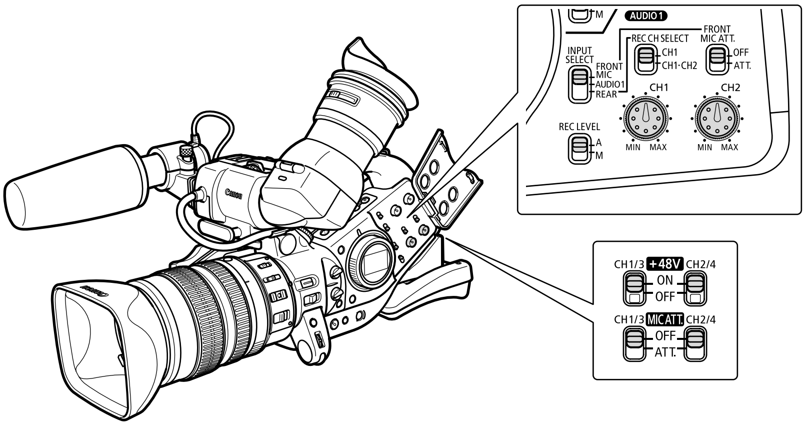
オーディオモードの選択（16bit、12bit CH 1/2 、12bit 1/2 、3/4）



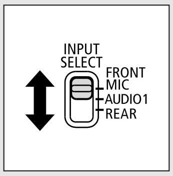
① MENUボタンを押す
②「オーディオ設定」➤「オーディオモード」➤設定内容を順に選ぶ
　・ SETボタンを上／下に押して項目を選び、まっすぐ押して設定します。
③ MENUボタンを押す

チャンネル1、2に録音する

入力をフロントマイク（FRONT MIC－付属マイク）、AUDIO1（RCA端子）、リア（REAR－XLR端子）から選択します。（オーディオブロック図 🕮 153）



1 INPUT SELECTスイッチを切り換える



フロントマイクの場合

付属のマイクの音声端子/DC端子を本機に接続します。

- 必要に応じてFRONT MIC ATT.（20dB）スイッチをATT（入）/OFFできます。

AUDIO1端子の場合

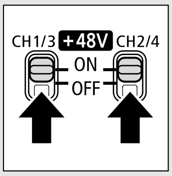
ミキサーなどからのラインレベルの信号をAUDIO1のRCA端子に接続します。

次のページへ

音声の記録…つづき

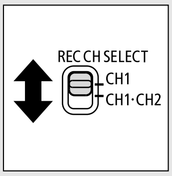
リア入力端子の場合

1 XLR端子にマイクを接続する



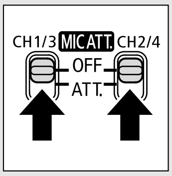
● ファンタム電源が必要なマイクを使う場合は+48Vスイッチを0Nにします。ONにするとオレンジ色が見えます。
ファンタム電源をONにするときは、マイクを接続してから行います。OFFにするときは、接続したまま行います。

2 REC CH SELECTスイッチで録音するチャンネルを選ぶ

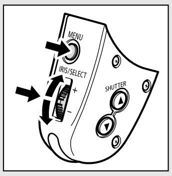


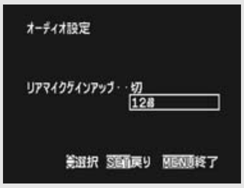
接続するリア入力端子	REC CH SELECTスイッチ	録音するチャンネル
CH1/3	CH1	チャンネル1
	CH1・CH2	チャンネル1
		チャンネル2
CH2/4	CH1	チャンネル2
	CH1・CH2	―――

3 必要に応じてMIC ATT.（20dB）スイッチを「ATT.（入）」/「OFF」にする



4 必要に応じてリアマイクゲインアップを「12dB」にする





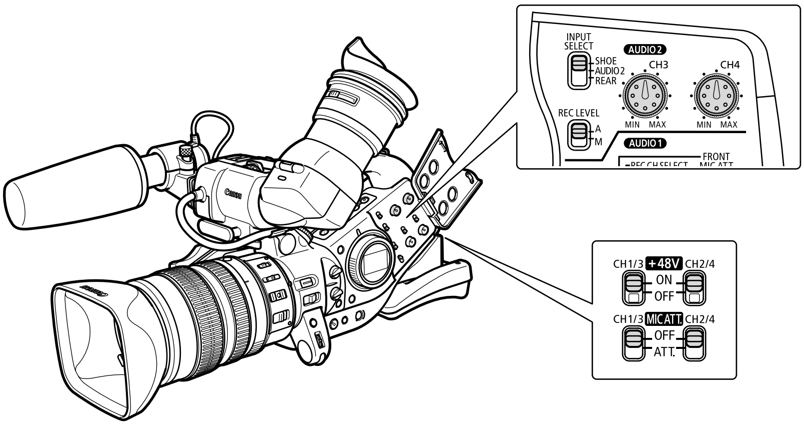
① MENUボタンを押す
②「オーディオ設定」➤「リアマイクゲインアップ」➤設定内容を順に選ぶ
・ SETボタンを上／下に押して「12dB」を選び、まっすぐ押して設定します。
③ MENUボタンを押す

+48V対応のマイク以外の機器を接続するときは、+48Vスイッチを必ずOFFにしてください。ONにしたままで使用すると、接続したマイクなどの機器が故障することがあります。

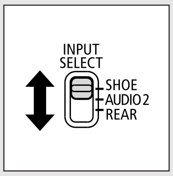
チャンネル3、4に録音する

入力をアドバンストアクセサリーシュー（SHOE）（別売のマイクアダプターMA-300）、AUDIO2（RCA端子）、リア（REAR）（XLR端子）から選択します。（オーディオブロック図 🕮 153）

・ オーディオモードで、12bit **1/2** 、**3/4** を選んでおきます。



1 INPUT SELECTスイッチを切り換える



アドバンストアクセサリーシューの場合

アドバンストアクセサリーシューに別売のマイクアダプターMA-300を取り付け*、MA-300のXLR端子にマイクを接続します。

MA-300を使用すると4チャンネルすべてにバランスマイクを使用できます。

＊取り付けかた、使いかたについては、マイクアダプターMA-300の使用説明書をご覧ください。

・MA-300にはファンタム電源は供給できません。

・マイクアダプターMA-100、MA-200は使用できません。

AUDIO2端子の場合

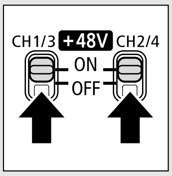
ミキサーなどからのラインレベルの信号をAUDIO2のRCA端子に接続します。

次のページへ

音声の記録…つづき

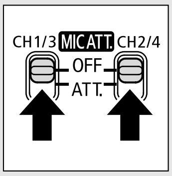
リア入力端子の場合

1 XLR端子にマイクを接続する

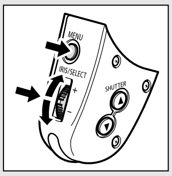


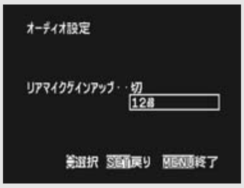
● ファンタム電源が必要なマイクを使う場合は＋48Vスイッチを ONにします。ONにするとオレンジ色が見えます。
ファンタム電源をONにするときは、マイクを接続してから行います。OFFにするときは、接続したまま行います。

2 必要に応じてMIC ATT.（20dB）スイッチを「ATT.（入）」/「OFF」にする。



3 必要に応じてリアマイクゲインアップを「12dB」にする



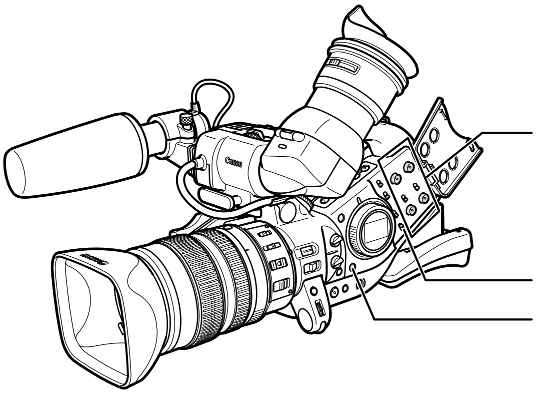


① MENUボタンを押す
②「オーディオ設定」➤「リアマイクゲインアップ」➤設定内容を順に選ぶ
・ SETボタンを上／下に押して「12dB」を選び、まっすぐ押して設定します。
③ MENUボタンを押す

＋48V対応のマイク以外の機器を接続するときは、＋48Vスイッチを必ずOFFにしてください。ONにしたままで使用すると、接続したマイクなどの機器が故障することがあります。

録音レベルの調整

- フロントマイク、リア入力の場合、入力レベルが高すぎて音声が歪むときはMIC ATTをATT（20dB）にしてください。



CH1、CH2、CH3、CH4つまみ

録音レベル（REC LEVEL）スイッチ

オーディオモニター
（AUDIO MONITOR）ボタン

ファインダーのレベルメーターを表示する

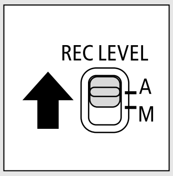
レベルメーター表示を入/切できます。



① MENUボタンを押す
②「表示設定」➤「レベルメーター」➤設定内容を順に選ぶ
　・ SETボタンを上／下に押して項目を選び、まっすぐ押して設定します。
③ MENUボタンを押す
　・ レベルメーター表示は、カスタムキーでも入/切できます（ 90）。

レベル調整をオートで行う

1 REC LEVELスイッチをAにする

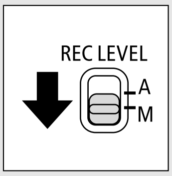


次のページへ

音声の記録…つづき

レベル調整をマニュアルで行う

1 REC LEVELスイッチをMにする

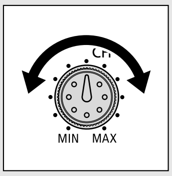


2 4チャンネル録音しているときはAUDIO MONITORボタンを押して、ヘッドホン/レベルメーターでモニターする音声チャンネルを選択する

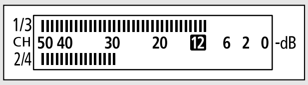


- CH1/2、CH3/4、CH1+3/2+4が切り換わります
  レベル調整をするときは、CH1+3/2+4を選ばないでください。

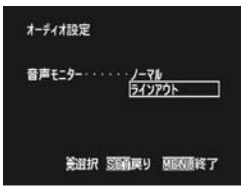
3 LEVELつまみを回して、オーディオレベルメーターの12より右（ファインダーでは●より右）が時々点灯するように調整する







❍ 音声レベルを調整するときは、ヘッドホンでモニターしながら行うことをおすすめします。レベルメーターが適切に表示していても、入力レベルが過大な場合、音声が歪むことがあります。
❍ 音声を映像に同期させてモニターするときは、「ラインアウト」を選択してください。
音声をリアルタイムでモニターするときは「ノーマル」を選択してください。この場合は、音声と映像に少しずれが生じます。
「ラインアウト」、「ノーマル」いずれの場合も、テープには映像と音声は同期して記録されます。



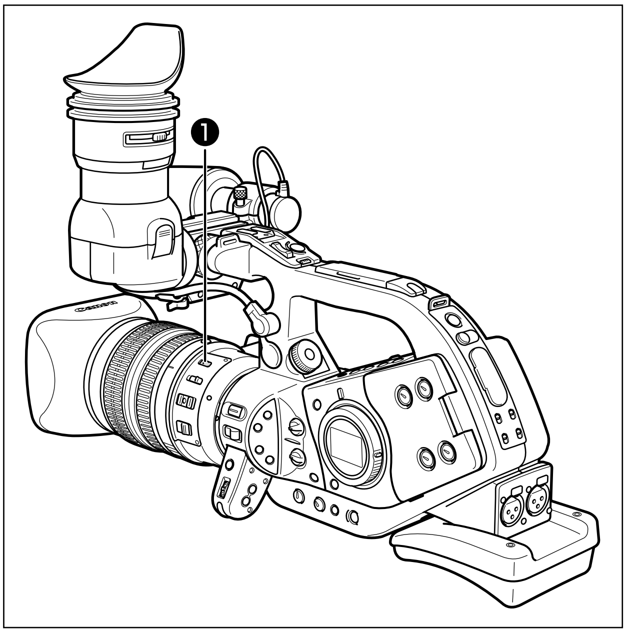
① MENUボタンを押す
②「オーディオ設定」➤「音声モニター」➤設定内容を順に選ぶ
・ SETボタンを上／下に押して項目を選び、まっすぐ押して設定します。
③ MENUボタンを押す

手ぶれの少ない画面で撮影する
（手ぶれ補正機能付きレンズ使用時）

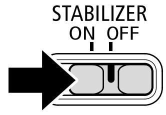
手持ちや肩に載せて撮影するときに手ぶれの少ない安定した画面で撮影できます。
通常の撮影では、手ぶれ補正は解除する必要はありませんが、必要に応じて解除することができます。

手ぶれ補正の解除のしかた

EXT. CONT. | VCR | A | Tv | Av | M | ⛰ | 🕯 | ▭



❶ **レンズのSTABILIZER ON/OFFボタンをOFFにする**



・▭（全自動）モードでは、手ぶれ補正は解除できません。

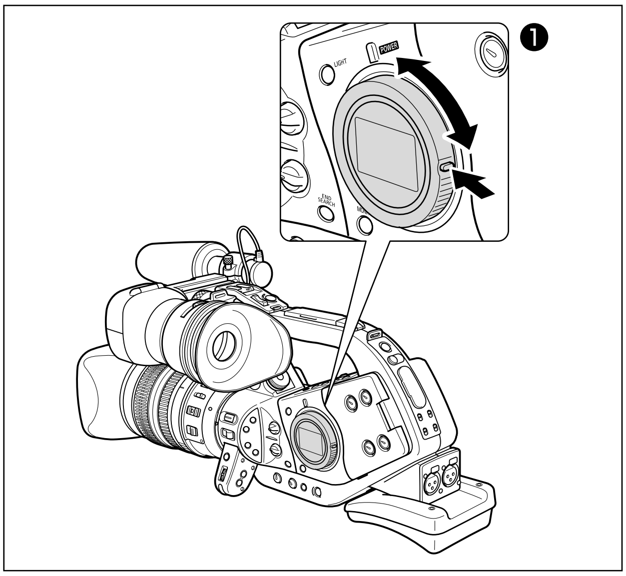
❍ 三脚などを使用して撮影をするときは手ぶれ補正を切ることをおすすめします。
❍ 手ぶれが大きすぎると、補正されないことがあります。
❍ 別売のエクステンダーを取り付けると、手ぶれ補正がききにくくなります。

撮影編

撮影場面や目的に合わせて撮る（撮影モード）

被写体の条件に合わせて最適なモードが選べる7種類の撮影モードを搭載しています。

操作のしかた



❶ ボタンを押しながらメインダイヤルを回す

- 撮影モードを選択する。
- 選んだモード表示が出る。

撮影中はメインダイヤルを切り換えないでください。撮影モードを変えると映像の明るさが一時的に大きく変化する場合があります。

撮影モードの選択

□（全自動）モード、スポットライトモード、ローライトモードは、撮影場面に合った撮影ができるようにすべてが自動設定されています。Ⓐ（オート）モード、Tvモード、Avモード、マニュアルモードでは撮影の状況に合わせて設定できます。

- 撮影モードによって、使用できる機能が異なります。

<table>
<tr><th>撮影モード</th><th>□（全自動）
モード</th><th>Ⓐ（オート）
モード</th><th>Tvモード</th><th>Avモード</th><th>マニュアル
モード</th><th>スポットライト
モード</th><th>ローライト
モード</th></tr>
<tr><td>EXP. LOCKボタン</td><td>×</td><td colspan="3">○</td><td>×</td><td>×</td><td>×</td></tr>
<tr><td>IRISボタン</td><td>×</td><td>×＊1</td><td>×＊1</td><td>○</td><td>○</td><td>×</td><td>×</td></tr>
<tr><td>SHUTTERボタン</td><td>×</td><td>×＊1</td><td>○</td><td>×＊1</td><td>○</td><td>×</td><td>×</td></tr>
<tr><td>AE SHIFT
ダイヤル</td><td>×
（0に固定）</td><td colspan="3">○＊3</td><td>×</td><td>×</td><td>×
（0に固定）</td></tr>
<tr><td>GAINダイヤル</td><td>×
（オートに固定）</td><td colspan="4">○</td><td>×
（0dBに固定）</td><td>×
（オートに固定）</td></tr>
<tr><td>WHITE BALANCE
ダイヤル</td><td>×
（オートに固定）</td><td colspan="6">○</td></tr>
<tr><td>カスタムプリセット
の調整</td><td>×</td><td colspan="6">○</td></tr>
<tr><td>CUSTOM PRESET
SELECTボタン</td><td>×</td><td colspan="6">○</td></tr>
<tr><td>CUSTOM PRESET
ON/OFFボタン</td><td>×</td><td colspan="6">○</td></tr>
<tr><td>スキン設定</td><td>×</td><td colspan="6">○</td></tr>
<tr><td>クリアスキャン
の周波数選択</td><td>×</td><td>×</td><td>○＊2</td><td>×</td><td>○＊2</td><td>×</td><td>×</td></tr>
<tr><td>クリアスキャン
の実行</td><td>×</td><td>×</td><td>○＊3</td><td>×</td><td>○</td><td>×</td><td>×</td></tr>
<tr><td>フィルムグレイン</td><td>×</td><td colspan="6">○</td></tr>
</table>

＊1：露出ロックをすると使用できます。
＊2：クリアスキャン実行中に周波数が選択できます。
＊3：露出ロック中は使用できません。

次のページへ

撮影場面や目的に合わせて撮る（撮影モード）…つづき

● 組み合わせるレンズによって、撮影モードで使用できる機能が異なります。

20X L IS/16X IS Ⅱ レンズと3Xワイドレンズの場合

	□（全自動） モード	□（全自動） モード以外
マニュアル フォーカスリング	○	
ズームリング	○	
手ぶれ補正 （入/切）＊1	× （ONに固定）	○
ND切換 ロック解除	○	
フォーカスモード 切り換え	×（オートフォーカス に固定）	○
▶AF（プッシュ AFボタン）	×	○

＊1：3Xワイドレンズ以外の場合

□（全自動）モード

すべてをカメラまかせで撮影できます。ズームとスタート／ストップボタンを押すだけで簡単に撮影できるモードです。メニューなどで、設定できない機能があります。



A（オート）モード

すべてをカメラまかせで撮影できるモードです。メニューなどで、細かく設定できます。



Tv（シャッター優先：Time Value）モード

シャッタースピードをマニュアルで設定できます。スポーツや乗り物などの動きの速い被写体をブレのない映像で撮影できます。
Tvモードでは絞りは自動で調節されます。



Av（絞り優先：Aperture Value）モード

絞りをマニュアルで設定し、被写界深度を変化させ、背景や周囲をボカし被写体を引き立てることができます。
Avモードではシャッタースピードは自動で調節されます。
- ズームの望遠側で撮影すると、背景のボケの効果がより大きくなります。



M　マニュアルモード

絞り、シャッタースピードがマニュアルで設定できます。ねらい通りの画創りに最適です。



スポットライトモード

スポットライトなど範囲の狭い照明が当たっている被写体や花火などを鮮明に撮影できます。



ローライトモード（フレームレート60i、30pのみ）

夜景や暗くても照明が使えない場所で、被写体を明るくカラーで撮影できます。周囲の明るさに応じてシャッタースピードが1/8～1/59秒（60i）、1/29秒（30p）で自動調整されます。
フレームレートで24pを選んでいるときは、スローシャッターになりません。表示が紫になり、□（全自動）モードと同じシャッタースピードになります。



- ❍ 動きのある被写体では、残像が残ります。
- ❍ 明るく撮影できる分、通常の撮影に比べて画質が多少劣化することがあります。
- ❍ 画面に白い点などが現れることがあります。
- ❍ オートフォーカスでピントが合いにくいときは、マニュアルフォーカスでピントを合わせてください。

Tvモードによる撮影

シャッタースピードをマニュアルで設定し、低照度からスポーツや乗り物など動きの速い被写体まで撮影できます。選択できるシャッタースピードはフレームレートによって異なります。

60iまたは30p	1/8秒、1/15秒、1/30秒、1/60秒、1/100秒、1/250秒、1/500秒、1/1000秒、1/2000秒、1/4000秒、1/8000秒、1/15000秒、CS（クリアスキャン）
24p	1/24秒、1/48秒、1/60秒、1/100秒、1/250秒、1/500秒、1/1000秒、1/2000秒、1/4000秒、1/8000秒、1/15000秒、CS（クリアスキャン）

- 1/100秒以上の高速シャッターを使うことで、晴天下などの明るい場所で絞りが自動的に絞られることによる小絞りを防ぐことができます。

蛍光灯、水銀灯、ハロゲンライトなどの人工光源照明下での撮影について

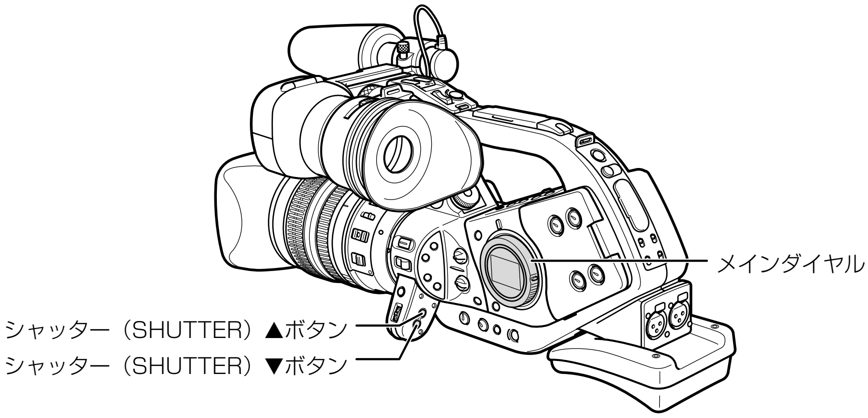
設定したシャッタースピードによっては、原理上フリッカーが出る場合があります。フリッカーが気になる場合は、1/100秒を選んで撮影してください。

スローシャッターによる撮影（60iまたは30pの場合）

1/8秒、1/15秒、1/30秒のスローシャッターでは、明るさが不足する場所で被写体を明るく撮影できます。また、特殊効果としても使用できます。たとえば、動いている被写体をパンするときに背景を流したり、残像効果をズームに加えたりできます。

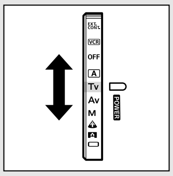
- スローシャッターを低照度下で使用すると明るく撮影できますが、通常の撮影に比べて画質が多少劣化することがあります。
- ピントはオートのままでは合いにくいことがあります。

操作のしかた

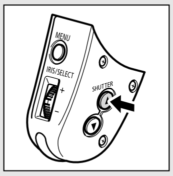




1 Tvモードを選ぶ

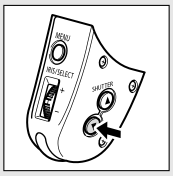


2 ▲を押す



- シャッタースピードが速くなる。
- 選んだシャッタースピード表示が出る。

▼を押す

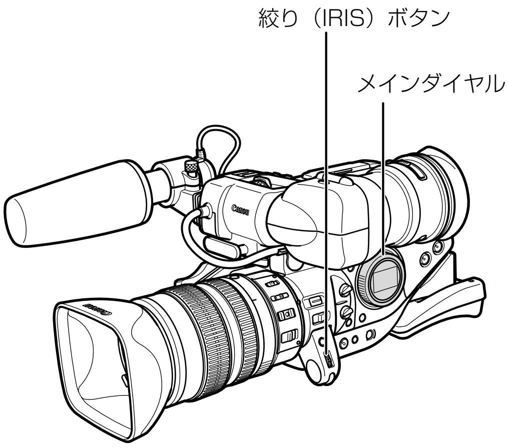


- シャッタースピードが遅くなる。
- 選んだシャッタースピード表示が出る。

❍ SHUTTERボタンで調節したシャッタースピード以外（絞り値など）はオートで調節されます。
❍ 設定したシャッタースピードは露出ロックを操作して露出を変更すると設定された値はバックアップされません。
❍ ゲインがAUTO（オート）のとき、選択したシャッタースピード表示が点滅することがあります。これは、選んだシャッタースピードが適切でないことを示しています。
このようなときは、表示が点灯になるようにSHUTTERボタンで設定を変えてください。
また、内蔵NDフィルターを使用している場合は、「切」にしてから再設定してください。

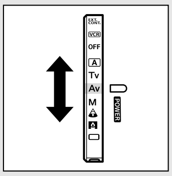
Avモードによる撮影

絞りをマニュアルで設定し、被写界深度を変えて、背景や周囲をボカし被写体を引き立たせることができます。8段階の絞り（F1.6、F2.0、F2.8、F4.0、F5.6、F8.0、F11、CLOSE：20X L ISレンズの場合）がありますので、場面に応じて選んでください。

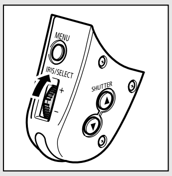




1 Avモードを選ぶ

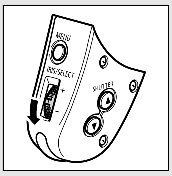


2 IRISボタンを＋側へ押す



- 絞りが開き、被写界深度（ピントの合う範囲）が浅くなる。
- 選んだ絞り値表示が出る。

IRISボタンを－側へ押す



- 絞りが閉じ、被写界深度（ピントの合う範囲）が深くなる。
- 選んだ絞り値表示が出る。

❍ IRISボタンで調節した絞り値以外（シャッタースピードなど）はオートで調節されます。
❍ 設定した絞り値は露出ロックを操作して露出を変更すると設定した値はバックアップされません。
❍ ゲインがAUTO（オート）になっているときに、選択した絞り値表示が点滅することがあります。これは選んだ絞り値が適切でないことを示しています。
このようなときは、表示が点灯になるように IRISボタンで絞り値を変えてください。
❍ 絞り値をF8.0などに設定することにより被写界深度を深く、開放F1.6にすることにより被写界深度を浅くできますので、背景などのピントの合う範囲を変化させることができます。
・レンズの内蔵NDフィルターが ON になっているときに、絞りこんでいくと画面が暗くなることがあります。このようなときは、レンズの内蔵NDフィルターを「切」にして、再設定してください。
・晴れた日の屋外などで撮影中（□（全自動）モード、A（オート）モード）に“ND ON”／ND“OFF”の警告が頻繁に出るような場合には、Avモードで絞りの設定をF5.6～F8.0などに変えて撮影することも有効です（シャッターは標準より速くなります）。

マニュアルモードによる撮影

絞りとシャッタースピードを自由に設定できます。
被写界深度を維持しながら明るさを変えたり、場面の転換に明るさを変えたりなどクリエイティブな画創りができます。

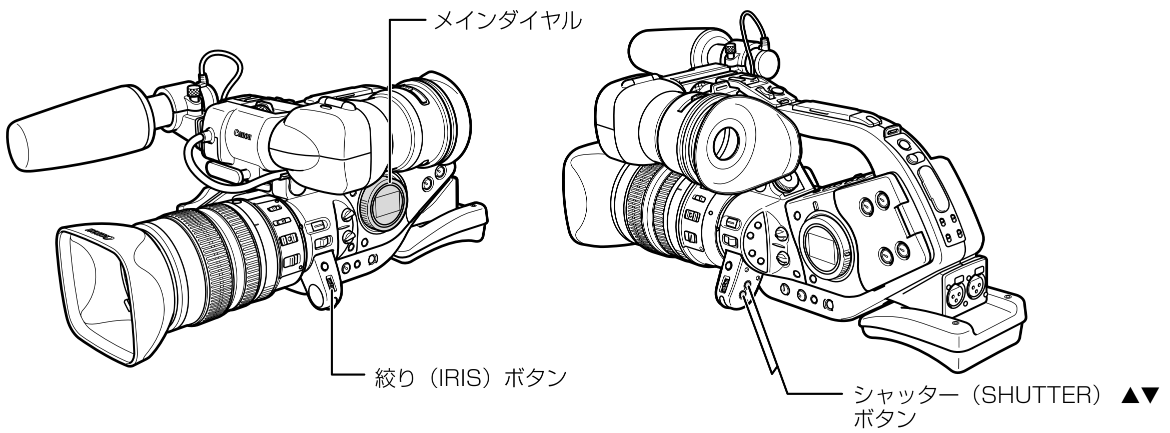
シャッタースピード

60iまたは30p	1/8秒、1/15秒、1/30秒、1/60秒、1/75秒、1/90秒、1/100秒、1/120秒、1/150秒、1/180秒、1/210秒、1/250秒、1/300秒、1/360秒、1/420秒、1/500秒、1/600秒、1/720秒、1/840秒、1/1000秒、1/1200秒、1/1400秒、1/1700秒、1/2000秒、1/2300秒、1/2600秒、1/3000秒、1/4000秒、1/8000秒、1/15000秒、CS（クリアスキャン）
24p	1/24秒、1/48秒、1/60秒、1/75秒、1/90秒、1/100秒、1/120秒、1/150秒、1/180秒、1/210秒、1/250秒、1/300秒、1/360秒、1/420秒、1/500秒、1/600秒、1/720秒、1/840秒、1/1000秒、1/1200秒、1/1400秒、1/1700秒、1/2000秒、1/2300秒、1/2600秒、1/3000秒、1/4000秒、1/8000秒、1/15000秒、CS（クリアスキャン）

絞り

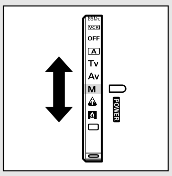
（20X L IS レンズの場合）	F1.6、F1.8、F2.0、F2.2、F2.4、F2.6、F2.8、F3.2、F3.4、F3.7、F4.0、F4.4、F4.8、F5.2、F5.6、F6.2、F6.7、F7.3、F8.0、F8.7、F9.5、F10、F11、CLOSE

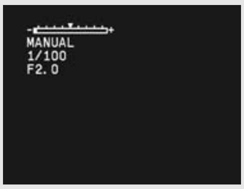
操作のしかた





1 **M（マニュアル）モードを選ぶ**





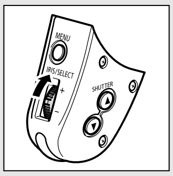
- ファインダーに露出メーターが表示される。

① 標準露出レベル指標：▼
標準の露出レベルを表示します。
② 露出レベルの指標：▮
現在の露出レベルを表示します。（＋）（－）両方向とも、2段まで表示し、2段以上の場合は点滅します。

- 露出メーターは目安としてお使いください。

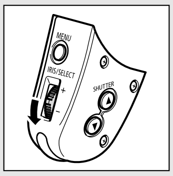
絞りを調節する

2 **絞りを調節する**
IRISボタンを＋側へ押す



- 絞りが開き、被写界深度（ピントの合う範囲）が浅くなる。
- 選んだ絞り値表示が出る。

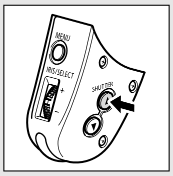
IRISボタンを－側へ押す



- 絞りが閉じ、被写界深度（ピントの合う範囲）が深くなる。
- 選んだ絞り値表示が出る。

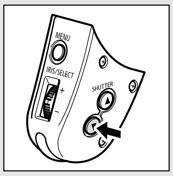
シャッタースピードを調節する

2 **▲ を押す**



- シャッタースピードが速くなる。
- 選んだシャッタースピード表示が出る。

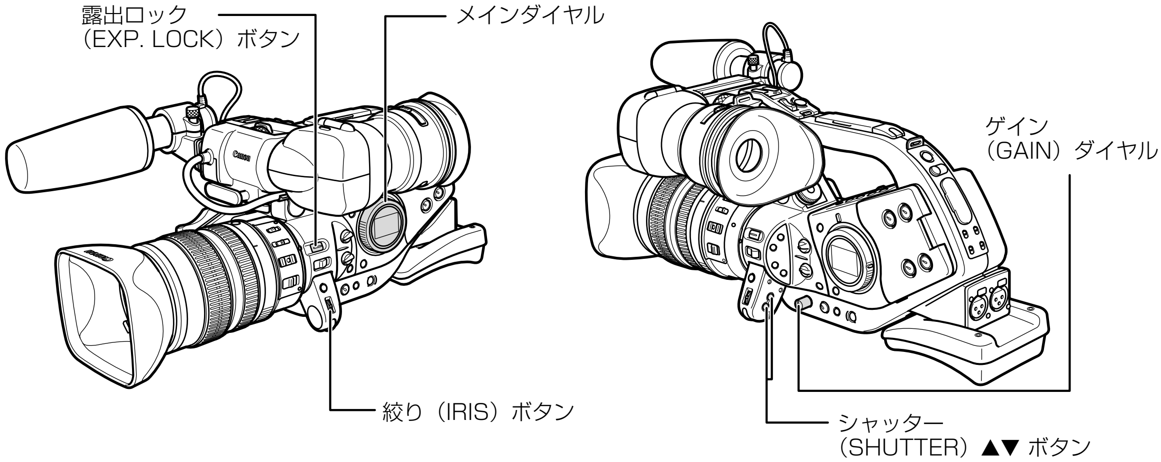
▼ を押す



- シャッタースピードが遅くなる。
- 選んだシャッタースピード表示が出る。

露出を変えて撮影する

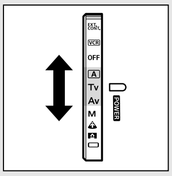
EXP. LOCKボタンを押して露出をロック（固定）すると、画面はそのときの明るさで固定されます。
また、露出ロックしたあと任意にシャッタースピード、絞り値やゲインの変更ができます。



露出をロックする



1 メインダイヤルをA（オート）、Tv、Avのいずれかにする



2 EXP. LOCKボタンを押す





- 露出がその明るさのままロック（固定）される。
- ファインダーに露出メーターが表示される。

① 標準露出レベル指標：▼
標準の露出レベルを表示します。
② 露出レベルの指標：▮
現在の露出レベルを表示します。（＋）（－）両方向とも、2段まで表示し、2段以上の場合は点滅します。

- 露出メーターは目安としてお使いください。

露出ロックをしたあと絞り値を変える

- 露出ロックで絞り値を変える場合は、23段階（20X L ISレンズの場合）で調整できます。
- 絞りは1/4段で調整できますがビューファインダーの表示は下記のようになります（20X L ISレンズの場合）。

```
F1.6 ⟷ F2.0 ⟷ F2.8 ⟷ F4.0
                          ↕
                         F5.6
                          ↕
CLOSE ⟷   F11   ⟷   F8.0
```

露出ロックをしたあとシャッタースピードを変える

- 露出ロックでシャッタースピードを変える場合は、12段階（20X L ISレンズの場合）で調整できます。

露出ロックをしたあとゲインを変える

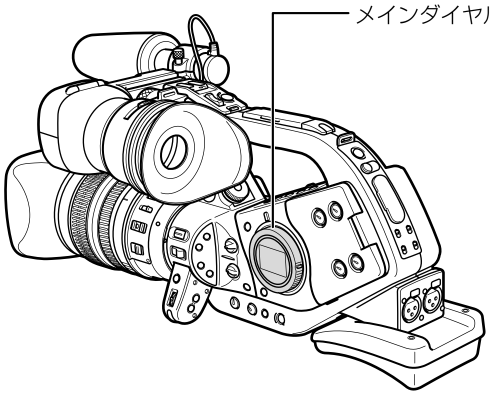
- 露出ロックでゲインを変える場合も6段階で調節できます。

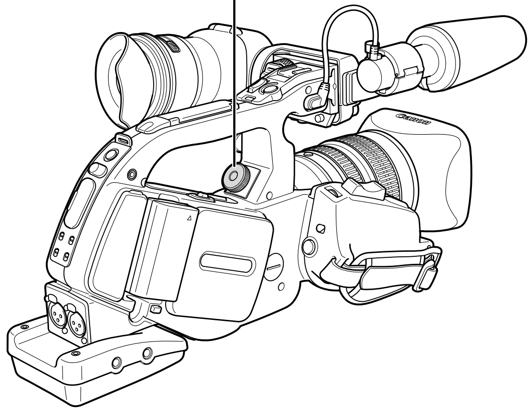
フレームレートを30pまたは24pにしたときには、ゲインは+12dBまでになります。+18dBを選択しても、+12dBになります。「+12dB」が黄色で表示されます。

AEレベルを補正する

AEレベルを13段階（+2.0、＋1.5、＋1.0、+0.75、+0.5、+0.25、±0、−0.25、−0.5、−0.75、−1.0、−1.5、−2.0）で調節でき、明るめや暗めに撮影するときに使用します。
逆光の補正や被写体の白とびをおさえるときに有効です。

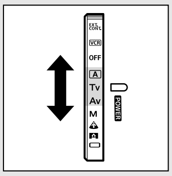
操作のしかた



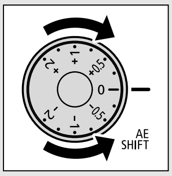


EXT. CONT. | VCR | **A** | **Tv** | **Av** | M | [icon] | [icon] | [icon]

1 メインダイヤルを A（オート）、Tv、Av のいずれかにする



2 AE SHIFTダイヤルを回す



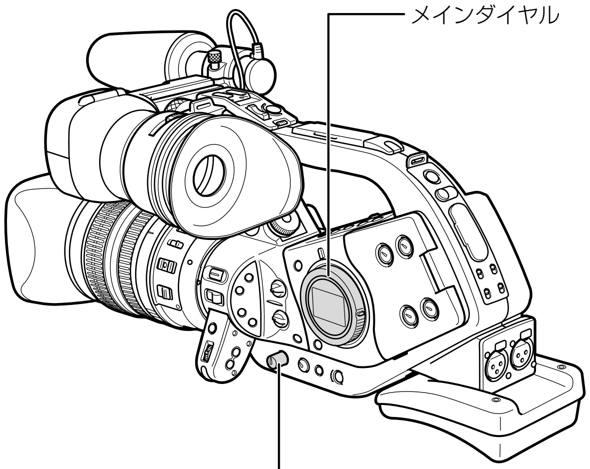
- 明るめに撮影するときは、＋方向に回す。
- 暗めに撮影するときは、一方向に回す。

ゲインを調整する

−3dB	室内、低照度やコントラストの低いシーンでノイズの少ない撮影ができます。
A(Auto)	ゲインは自動調整になります。
0dB	夜景などの撮影のときに、ノイズが少なく、色のりのよい撮影ができます。
+3dB／+6dB／ +12dB／+18dB*	暗いとき（絞り解放時）、室内や低照度のシーンで明るく撮影できます。

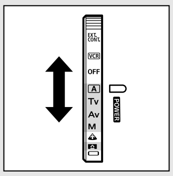
＊ フレームレートを30pまたは24pにしたときには、ゲインは+12dBまでになります。+18dBを選択しても、+12dBになります。「+12dB」が黄色で表示されます。

● GAINダイヤルは誤操作をふせぐため、通常は操作できないようになっています。押し込むとダイヤルが出て操作できるようになります。調整が終わったら再度押し込んでください。

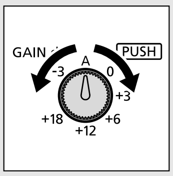




1 メインダイヤルを□（全自動）モードとスポットライトモード、ローライトモード以外のカメラモードにする



2 GAINダイヤルを回して調整する



ゲイン値を上げすぎると

❍ ゲインを上げることにより、絞りを絞る動作になり、被写界深度を深くできます。

❍ 画面が多少ざらつくことがあります。

撮影編

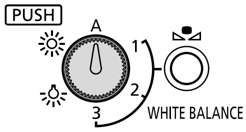
ホワイトバランス

本機ではホワイトバランスはオートのほかに、屋外 ☼（5600Kの太陽光）と室内 ☼（3200Kのランプ）があり、さらにホワイトバランスセットでは3つまで登録できます。

- 蛍光灯は、オートまたはセットで撮影してください。
- WHITE BALANCEダイヤルは誤操作をふせぐため、通常は操作できないようになっています。押し込むとダイヤルが出て操作できるようになります。調整が終わったら再度押し込んでください。

オートの設定をする

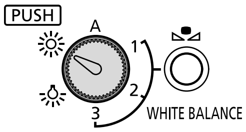
WHITE BALANCEダイヤルをAにする。



屋外の設定をする

WHITE BALANCEダイヤルを ☼ にする。

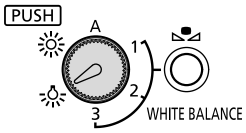
- 夜景や花火などを撮るとき
- 朝日や夕焼けなどを撮るとき



屋内の設定をする

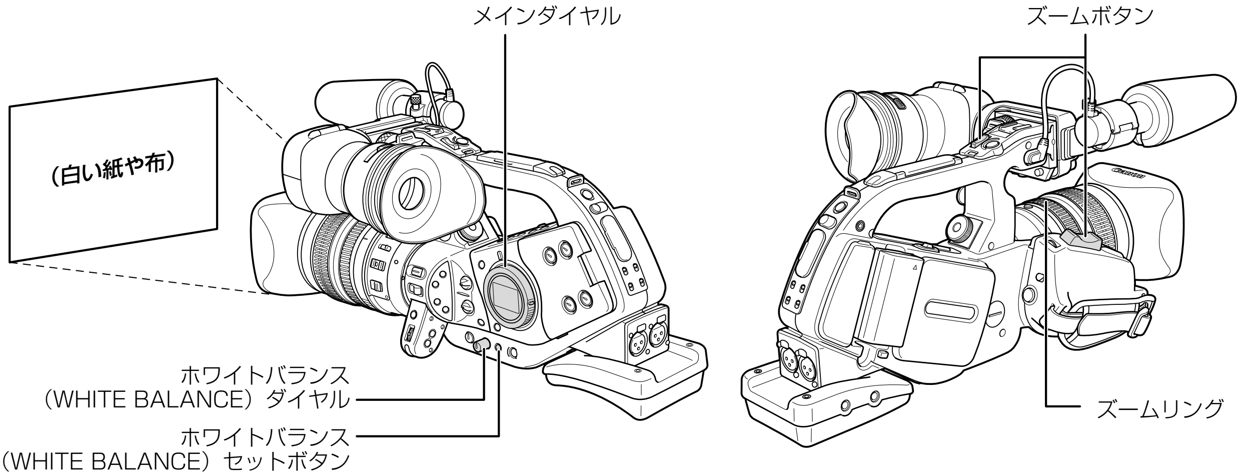
WHITE BALANCEダイヤルを ☼ にする。

- パーティ会場など照明条件が変化する場所で撮るとき
- スタジオなどでビデオライトの照明で撮るとき
- ナトリウムランプの照明で撮るとき



ホワイトバランスのセット

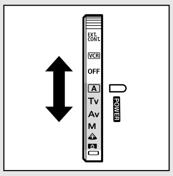
ここではホワイトバランスを1でセットする場合の画面表示で説明しています。



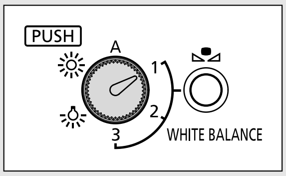


撮影編

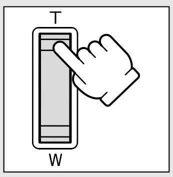
1 メインダイヤルを□（全自動）以外のカメラモードにする



2 WHITE BALANCEダイヤルを設定する番号に合わせる



3 ズームなどを使って白い紙などをファインダーいっぱいに写す

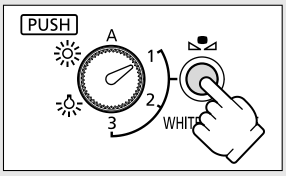


- セットの作業が終わるまで、写し続けてください。

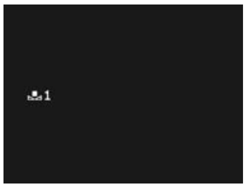
次のページへ

ホワイトバランス…つづき

4 WHITE BALANCE （セット）ボタンを押す



● 1が速く点滅し、セットが完了すると点灯する。

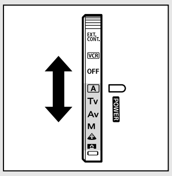


❍ ごくまれに、光源によっては点灯に変わらない（速い点滅から遅い点滅に変わります）ことがありますが、この場合でも、オートよりも適切なホワイトバランスになっていますので、そのまま撮影できます。
❍ ホワイトバランスセットで登録したデータは、コイン型リチウム電池を取り付けていれば、電源の入／切に関係なく保持されます。
❍ カスタムプリセットのRゲイン、Gゲイン、Bゲインの設定がホワイトバランスセットに優先します。
❍ 次のような場合は自動では色合いを調節できないことがあります。ファインダーで色が不自然に見えるときは、ホワイトバランスのセットなどをしてください。
　・ 照明条件が急に変わるとき
　・ クローズアップ撮影をするとき
　・ 単一色の被写体（空、海、森など）を撮影するとき
　・ 水銀灯と一部の蛍光灯で撮影するとき

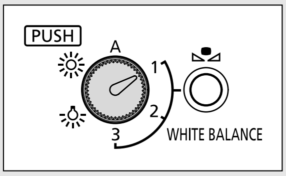
登録したホワイトバランスセットで撮影する

EXT. CONT.　VCR　|　A　Tv　Av　M

1 メインダイヤルを□（全自動）以外のカメラモードにする



2 WHITE BALANCEダイヤルを登録した番号に合わせる



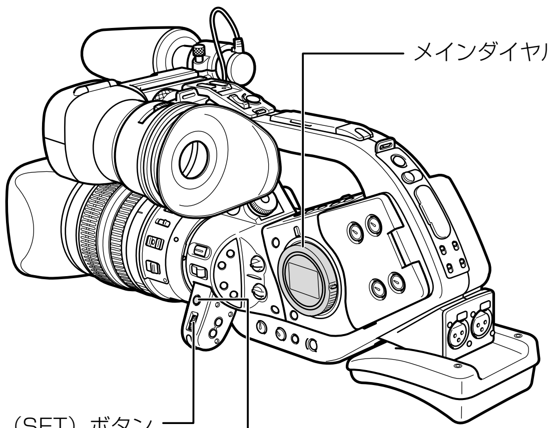
● 登録したホワイトバランスになる。

ホワイトバランスセットをするときは
❍ 照明の十分な場所で行ってください。また光源が変わったときはセットし直してください。
❍ レンズ内蔵のNDフィルターを入／切したときも、セットし直してください。

ゼブラパターン

ゼブラパターンは、撮影している映像のなかで輝度が一定のレベルを超えている部分に出る斜めの縞模様のことです。
ゼブラパターンが出ている部分は白とびすることがありますので、絞り、シャッタースピード、ゲイン、AEシフトなどを調整して被写体にパターンが出ないようにしてください。
本機ではゼブラパターン表示の輝度レベルを5段階の%（80、85、90、95、100）から選択できます。

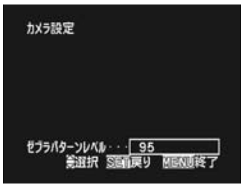
● ゼブラパターンはファインダーのみに表示されます。





EXT. CONT. | VCR | A | Tv | Av | M

ゼブラパターンレベルを選ぶ



① MENUボタンを押す
②「カメラ設定」➤「ゼブラパターンレベル」➤設定内容を順に選ぶ
　・ SETボタンを上／下に押して項目を選び、まっすぐ押して設定します。
③ MENUボタンを押す

ゼブラパターンを入／切する



① MENUボタンを押す
②「カメラ設定」➤「ゼブラパターン」➤設定内容を順に選ぶ
　・ SETボタンを上／下に押して項目を選び、まっすぐ押して設定します。
③ MENUボタンを押す

スキンディテールを使う

スキンディテールを使うと、色相、クロマ、エリア、Yレベルを調整して、肌色部分を検出し、柔らかく表現できます。
検出した肌色部分は検出パターンと通常画面が交互に表示されます。検出パターンは、ファインダーではゼブラパターンで表示され、接続したテレビ、パソコンでは白く表示されます。
ハイにすると、肌色部分がもっとも柔らかく表現されます。
・ スキンディテール設定中はテープに録画できません。





① MENUボタンを押す
②「カメラ設定」➤「スキン設定」➤設定項目を順に選ぶ
・ SETボタンを上／下に押して調整する項目を選び、まっすぐ押して設定します。
③ 必要な調整を行う
・ SETボタンを上／下に押して項目を選び、まっすぐ押して設定します。
④「スキンディテール」で「ハイ」、「ミドル」または「ロー」を選ぶ
・ SETボタンを上／下に押して項目を選び、まっすぐ押して設定します。
・「切」以外にすると画面に「⦿」が出ます。
⑤ MENUボタンを押す

色相



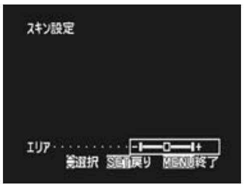
検出する肌色部分の色相を調整します。R側にすると赤みの強い肌色を検出し、G側にすると緑の強い肌色を検出します。

クロマ



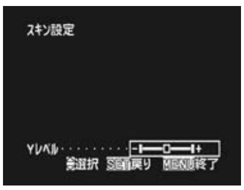
検出する肌色部分の彩度を調整します。＋側にすると鮮やかな色を検出し、－側にすると薄い色を検出します。

エリア



検出する肌色の色彩の幅を調整します。＋側にすると広い範囲の色彩を検出し、－側にすると狭い範囲の色彩を検出します。

Yレベル



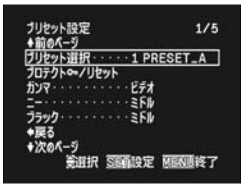
検出する肌色の明るさを調整します。＋側にすると明るい肌色を検出し、－側にすると暗い肌色を検出します。

カスタムプリセット

本機では、ガンマ、ニー、ブラック、カラーマトリクス、カラーゲイン、色相、Rゲイン、Gゲイン、Bゲイン、Vディテール、シャープネス、コアリング、セットアップレベル、マスターペデスタル、NR、の15項目のレベルを変えて撮影できます。設定した内容は、1〜3の任意のカスタムプリセットに記憶でき、撮影時にいつでも再現できます。また、他のXL2の設定を読み込ませて、本機に保存することもできます。

EXT. CONT. VCR | A Tv Av M

設定のしかた

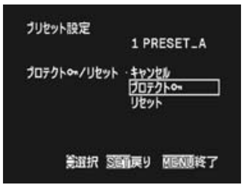


① MENUボタンを押す
②「カスタムプリセット」➤「プリセット設定」➤「プリセット選択」を選ぶ
- SETボタンを上／下に押して調整するプリセット名を選び、まっすぐ押して設定します。

③ 必要な調整を行う
- SETボタンを上／下に押して項目を選び、まっすぐ押して設定します。

④ MENUボタンを押す

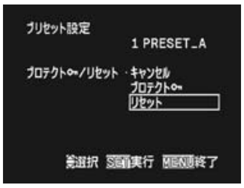
カスタムプリセットをプロテクト（設定の保護）する



① MENUボタンを押す
②「カスタムプリセット」➤「プリセット設定」➤「プロテクト/リセット」を選ぶ
- SETボタンを上／下に押して「プロテクト」を選び、まっすぐ押して設定します。

③ MENUボタンを押す
- 同様の操作で、「プロテクト」を選択するとプロテクトは解除されます。

カスタムプリセットをリセット（初期設定に戻す）する



① MENUボタンを押す
②「カスタムプリセット」➤「プリセット設定」➤「プロテクト/リセット」を選ぶ
- SETボタンを上／下に押して「リセット」を選び、まっすぐ押して設定します。

③ リセット確認画面で、SETボタンを上／下に押して「はい」を選び、まっすぐ押して設定する
④ MENUボタンを押す
- プロテクト設定しているカスタムプリセットはリセットできません。

❍ カスタムプリセット設定画面は5ページあり、すべてのページでプリセット選択、プロテクト/リセットが設定できます。
❍ プロテクト設定している項目を変更しようとすると、が点滅します。

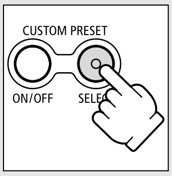
撮影編

次のページへ

カスタムプリセット…つづき

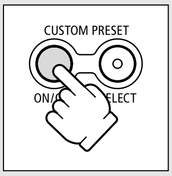
カスタムプリセットを使って撮影する

1 CUSTOM PRESET SELECT ボタンを押す



- プリセット番号を選びます。
- カスタムプリセットを使用しないときはCP OFFを選びます（約4秒後に表示は消えます）。

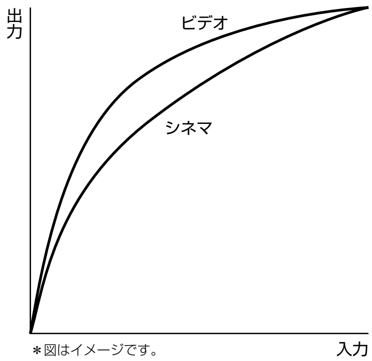
2 CUSTOM PRESET ON/OFF ボタンを押す



- 設定した画面になります。

ガンマ

ガンマカーブを補正します。「ビデオ」と「シネマ」から選択します。「ビデオ」では、標準の映像のガンマカーブになります。「シネマ」では、映画のように表現される映像になるガンマカーブになります。



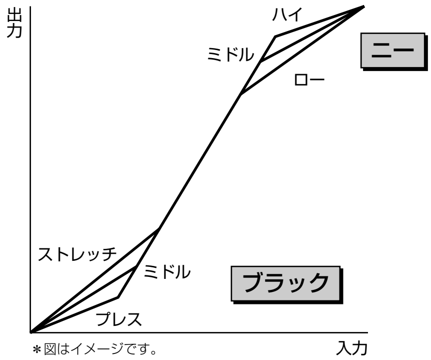
＊図はイメージです。

ニー

高輝度被写体を撮影するときの白とびを抑えるために、高輝度側のダイナミックレンジ（ニーポイント）を調整します。「ハイ」、「ミドル」、「ロー」から選択します。
「ハイ」では、より明るく撮影できますが、白とびが出やすくなります。「ロー」では、白とびが出にくくなります。

ブラック

低輝度側のダイナミックレンジを調整します。「ストレッチ」、「ミドル」、「プレス」から選択します。「ストレッチ」では、低輝度部分のダイナミックレンジを広げて、黒色部分の階調をより表現できます。「プレス」では、低輝度部分のダイナミックレンジを狭くして、黒色部分の階調表現を抑えます。



＊図はイメージです。

カラーマトリクス

カラーマトリクステーブルを「ビデオ」、「シネマ」から選択します。ガンマとカラーマトリクスを「シネマ」にすると、映画のような色合いになります。

カラーゲイン

－側にすると色が薄くなり、＋側にすると色が濃くなります。

色相

G側にすると緑が強くなり、R側にすると画面全体の赤が強くなります。

Rゲイン

－側にするとホワイトバランスがシアン側になり、＋側にすると赤側になります。

Gゲイン

－側にするとホワイトバランスがマゼンタ側になり、＋側にすると緑側になります。

Bゲイン

－側にするとホワイトバランスが黄側になり、＋側にすると青側になります。

次のページへ

カスタムプリセット…つづき

Vディテール

フレームレートを30pまたは24pにしているときに、再生環境に合わせて垂直方向のディテール周波数を変化させる機能で、垂直方向の解像度が変化します。「ノーマル」、「ロー」から選択します。

- 「ノーマル」で撮影した映像をインターレース方式のテレビで再生した場合、水平の線や水平に近い斜めの線がちらついて見えます。
- パソコンなどノンインターレース環境で再生する場合、パソコンでノンインターレース編集する場合、DVDへ書き出す場合は、「ノーマル」が適しています。
- フレームレートを60iにしていると、解像度は変わりません。
- フレームレートを60iにして、Vディテールを「ロー」にしたカスタムプリセットを選択すると、画面の「CP」表示が黄色になります。

シャープネス

被写体の輪郭表現を調整します。－側にすると輪郭がやわらかくなり、＋側にするとシャープになります。

- ＋側にすると、ノイズが目立つ場合があります。

コアリング

細かなノイズ成分の表現を調整します。－側にするとノイズが目立つようになり、＋側にするとノイズが減ります。

セットアップレベル

映像に付加する黒レベルを調整します。－側にすると画面が暗くなり、＋側にすると影の部分などが明るくなります。

マスターペデスタル

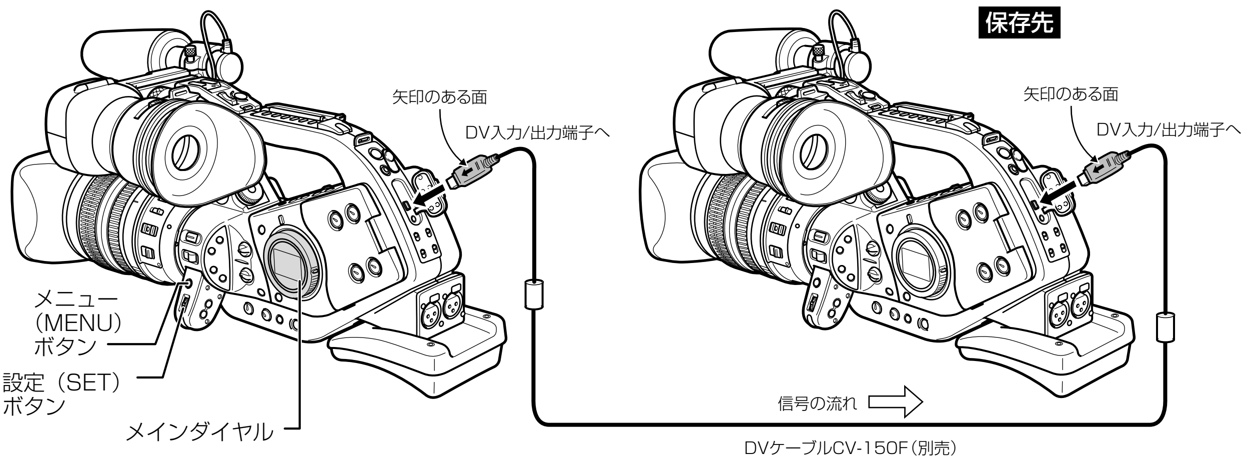
映像の基準となる黒のマスターペデスタルを調整します。－側にするとコントラストが強くなり、黒が沈みます。＋側にするとコントラストが弱くなり、黒が浮きます。

NR（ノイズリダクション）

ノイズリダクションレベルの可変範囲を選択します。「切」、「ロー」、「ミドル」、「ハイ」から選択します。「切」以外ではゲインに応じてNRレベルが可変し、「ハイ」では、可変範囲が最大になります。

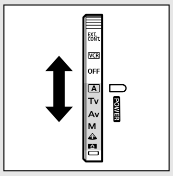
- 「ハイ」に設定すると、動いている被写体では残像が出ることがあります。
- ゲインの設定によって、画面のざらつきが少ない場合は効果がわかりにくい場合があります。

もう1台のXL2のカスタムプリセット設定を保存する

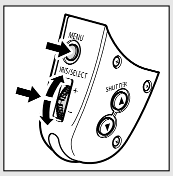


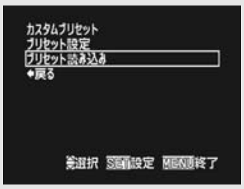


1 本機は全自動以外のカメラモードに、カスタムプリセットを読み込むXL2はメインダイヤルをEXT CONT.にする



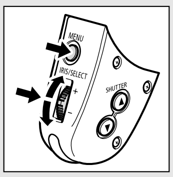
2 相手から読み込むプリセット設定を選択する

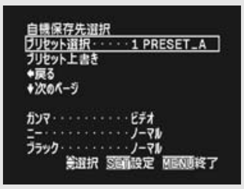




① MENUボタンを押す
②「カスタムプリセット」➤「プリセット読み込み」を選ぶ
・SETボタンを上／下に押して項目を選び、まっすぐ押して設定します。
③「プリセット選択」で読み込むプリセット設定を選ぶ
・SETボタンを上／下に押して項目を選び、まっすぐ押して設定します。

3 本機の保存先を選択して保存する





①「自機保存先選択」を選ぶ
・SETボタンを上／下に押して項目を選び、まっすぐ押して設定します。
②「プリセット選択」で保存先を選ぶ
・SETボタンを上／下に押して項目を選び、まっすぐ押して設定します。
③「プリセット上書き」を選ぶ
・SETボタンを上／下に押して項目を選び、まっすぐ押して設定します。
・プリセット上書き確認画面が出ます。
・「いいえ」を選ぶと②に戻ります。
④「はい」を選び、保存する
・SETボタンを上／下に押して項目を選び、まっすぐ押して設定します。
⑤ MENUボタンを押す

次のページへ

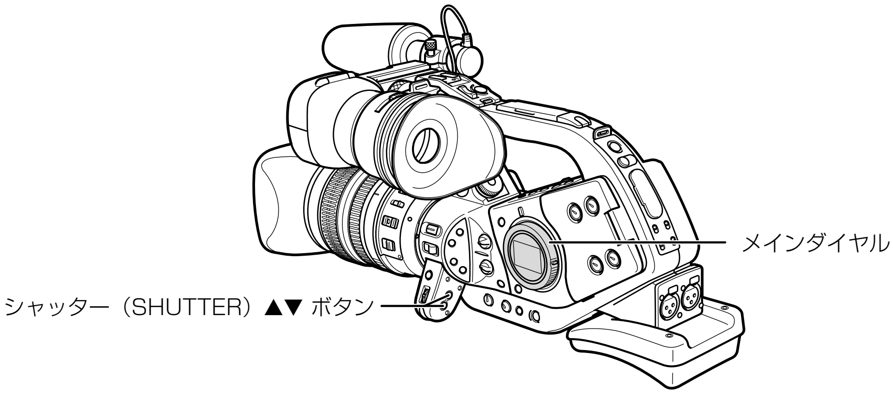
カスタムプリセット…つづき

プリセット設定を登録するときは、プロテクトを解除してください。

❍ プリセット設定の読み込み画面では、各プリセット項目の設定状態を確認できますが、調整はできません。
❍「プリセット読み込み」は読み込む相手の機器が接続されていないと選択できません。

パソコンなどの画面を撮影する（クリアスキャン）

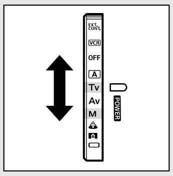
クリアスキャン機能では、パソコンなどを撮影するときに出る黒い帯*を出ないようにして撮影できます。
*パソコンのモニターとビデオカメラのフィールド周期の違いにより、ビデオカメラでそのまま撮影すると黒い帯が出ます。
● 設定できる周波数は60.0Hz～202.5Hzです。



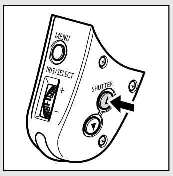
操作のしかた



1 **メインダイヤルをTvまたはMにする**

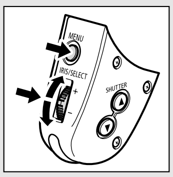


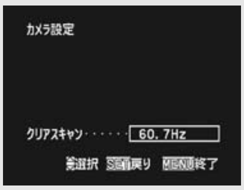
2 **SHUTTER▲ボタンを押して「CS」を表示させる**



・・・1/8000秒 ↔ 1/15000秒 ↔ CS（クリアスキャン）

3 **周波数を選ぶ**





① MENUボタンを押す
②「カメラ設定」➤「クリアスキャン」➤設定項目を順に選ぶ
・SETボタンを上／下に押して項目を選び、まっすぐ押して設定します。
③ 画面を見ながら、黒い帯が出ないように周波数を選ぶ
④ MENUボタンを押す

カスタムキー

本機ではさまざまな機能の中から使用頻度の高い2つをカスタムキー（専用ボタン）にカメラモード、VCRモード独立して設定できます。
ご購入時は、右記のように設定されています。

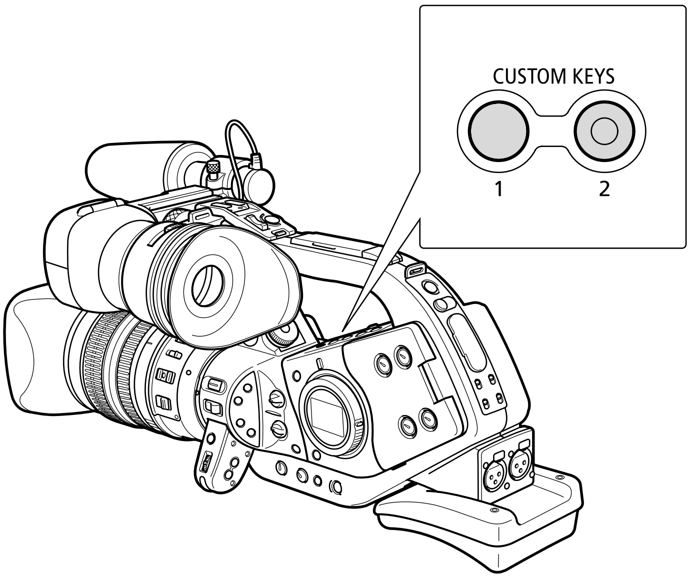
	カメラモード	VCRモード
CUSTOM KEYS 1	タイムコード	オンスクリーン
CUSTOM KEYS 2	インデックス記録	データコード

カスタムキーの設定は、カメラモードでは「表示設定」サブメニューの「ガイド」で「カスタムキー」を選ぶと、VCRモードでは「表示設定」サブメニューで「カスタムキー」で「入」を選ぶと画面に表示できます。

以下の機能がカスタムキーに設定可能です。
＊の機能はカスタムキーを使った場合のみ操作可能です。

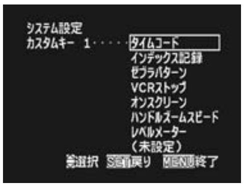
カメラモード
（カスタムキー1と2で設定できる項目は共通です）
タイムコード
インデックス記録
ゼブラパターン
VCRストップ*
オンスクリーン
ハンドルズームスピード
レベルメーター

VCRモード
（カスタムキー1と2で設定できる項目は共通です）
タイムコード
オンスクリーン
データコード
レベルメーター



設定のしかた





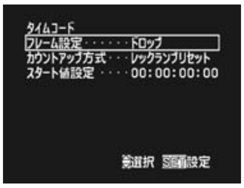
① MENUボタンを押す
②「システム設定」➤「カスタムキー 1」/「カスタムキー 2」➤設定項目を順に選ぶ
・ SETボタンを上／下に押して項目を選び、まっすぐ押して設定します。
③ MENUボタンを押す
・ カスタムキーを使わないときは「(未設定)」を選びます。

操作のしかた

ここでは、カスタムキーに設定した機能で使用するボタンを「　」に入れて<「インデックス」ボタン>のように表記しています。

タイムコード　カメラモード　VCRモード

「タイムコード」ボタンを押すと、タイムコードの設定メニュー画面になります。



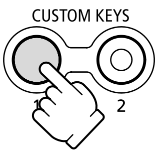
インデックス記録　カメラモード

撮影場面の任意の位置にインデックス信号を記録できます。再生時に頭出しできますので、編集などに便利です。

- インデックス信号をあとから記録することはできません。また、消去できません。
- インターバルタイマーによる撮影では使用できません。

撮影一時停止中

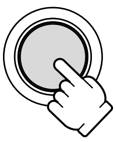




❶「インデックス」ボタンを押す

- インデックス表示が出る。



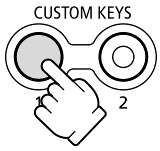


❷ スタート／ストップボタンを押す

- 撮影が始まり、インデックスを約6.5秒記録したのち、インデックス表示が消える。

撮影中





❶「インデックス」ボタンを押す

- インデックス表示が出て、インデックスを約6.5秒記録したのち、インデックス表示が消える。

ゼブラパターン　カメラモード

ゼブラパターン表示の入／切を行います。
「ゼブラパターン」ボタンを押すたびに切り換わります。

VCRストップ　カメラモード

通常撮影一時停止中は、テープとヘッドの保護のため、約5分で電源が切れますが（5分タイマー）、「VCRストップ」ボタンを押すと、ヘッドドラムが回転を止め、5分タイマーが解除されます。
撮影準備などを行う場合に便利です。
もう一度「VCRストップ」ボタンを押すと撮影一時停止に戻ります。
VCRストップ状態でスタート／ストップボタンを押しても、撮影は始まります。

- カスタムキーだけで操作できます。

オンスクリーン　カメラモード　VCRモード

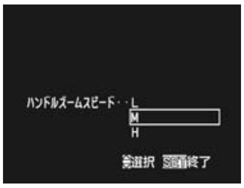
ファインダーの情報を本機と接続したテレビにも表示できます。
「オンスクリーン」ボタンを押すたびに切り換わります。

次のページへ

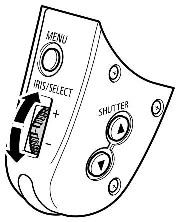
カスタムキー…つづき

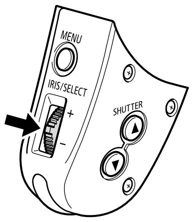
ハンドルズームスピード　カメラモード

「ハンドルズームスピード」ボタンを押すとハンドルズームスピード選択メニュー画面になります。



❶ SETボタンを回す
- L（低速）、M（中速）、H（高速）から選ぶ。





❷ SETボタンを押す
- 機能を設定する。
- メニュー表示が消える。

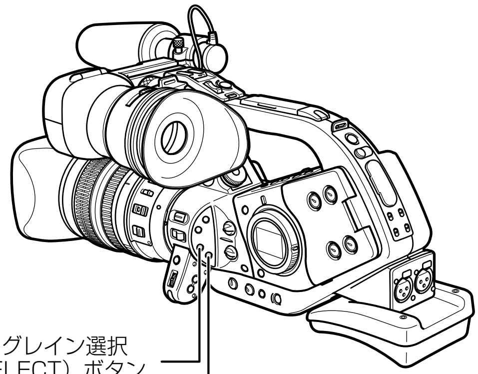
データコード　VCRモード

データコード表示の入／切を行います。
「データコード」ボタンを押すたびに切り換わります。

レベルメーター　カメラモード　VCRモード

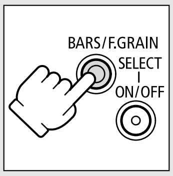
レベルメーター表示の「入／切」を行います。
「レベルメーター」ボタンを押すたびに切り換ります。

映像にフィルムのような粒状感をつける（フィルムグレイン）





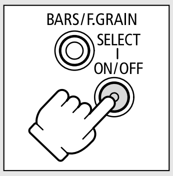
1 BARS/F.GRAIN SELECTボタンを押す

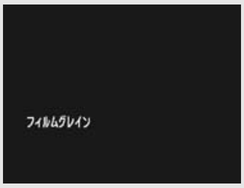




- 押すたびに順番にカラーバー、フィルムグレイン、表示なしが表示されます。
- 「フィルムグレイン」を選択します。表示が点滅します。

2 BARS/F.GRAIN ON/OFFボタンを押す



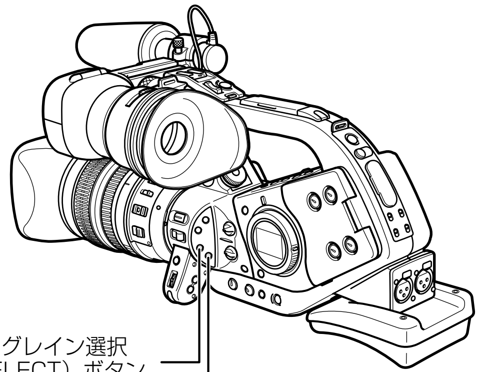


- 粒状感のある画面になり、「フィルムグレイン」が点灯します。

カラーバー／テストトーンを記録する

カラーバーを記録する

本機では、SMPTEカラーバーを出力、録画できます。

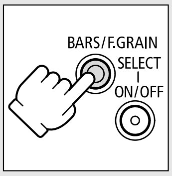


カラーバー／フィルムグレイン選択
（BARS/F.GRAIN SELECT）ボタン

カラーバー／フィルムグレイン入／切
（BARS/F.GRAIN ON/OFF）ボタン

EXT. CONT.　VCR　|　A　Tv　Av　M

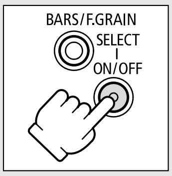
1 BARS/F.GRAIN SELECTボタンを押す





- 押すたびに順番にカラーバー、フィルムグレイン、表示なしが表示されます。
- 「カラーバー」を選択します。表示が点滅します。

2 BARS/F.GRAIN ON/OFFボタンを押す



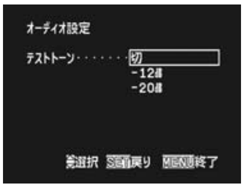


- 画面にカラーバーが表示され、「カラーバー」表示が点灯します。

テストトーンを記録する

カラーバーと一緒にテストトーン（1kHz、−12dBまたは−20dB）を記録できます。
本機を再生するときに、接続した機器で入力レベルを調整できる場合は、事前に調整できます。
機器に合わせて、レベルを選びます。





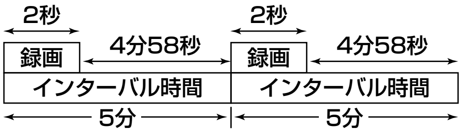
① MENUボタンを押す
②「オーディオ設定」➤「テストトーン」➤設定内容を順に選ぶ
- SETボタンを上／下に押して項目を選び、まっすぐ押して設定します。

③ MENUボタンを押す
- 選択したレベルのテストトーンが出力されます。

インターバルタイマーによる撮影

インターバルタイマーを使うと一定の間隔をおいて、一定の時間だけ撮影を繰り返します。草花の開花や動物の生態、自然観察などの撮影に便利です。
撮影間隔は30秒、1分、5分、10分の4段階から、撮影時間は0.5秒、1秒、1.5秒、2秒の4段階から選べます。

例：インターバル時間5分、記録時間2秒に設定した場合
（撮影している時間2秒と待機している時間の合計が5分になります）

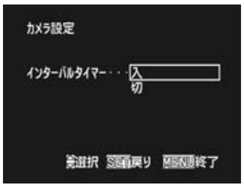


ご購入時には、インターバルタイマーは「切」、撮影間隔は「30秒」、撮影時間は「0.5秒」に設定されています。

インターバルタイマーを使う

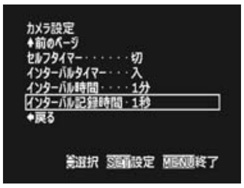


インターバルタイマーを「入」にする



① MENUボタンを押す
②「カメラ設定」➤「インターバルタイマー」➤設定内容を順に選ぶ
・ SETボタンを上／下に押して「入」を選び、まっすぐ押して設定します。

インターバル時間、インターバル記録時間を選ぶ



③「カメラ設定」➤「インターバル時間」／「インターバル記録時間」➤設定内容を順に選ぶ
・ SETボタンを上／下に押して項目を選び、まっすぐ押して設定します。
④ MENUボタンを押す
・「INT T.」が点滅します。

インターバルタイマーで撮影する

スタート／ストップボタンを押す

- インターバルタイマーによる撮影が始まり、「INT T.」が点灯に変わります。
- 撮影間隔が30秒と1分のときは、録画、録画一時停止を繰り返します。
- 撮影間隔が5分と10分のときは、録画、停止を繰り返します。

インターバルタイマー撮影を一時停止するとき

スタート／ストップボタンを押す

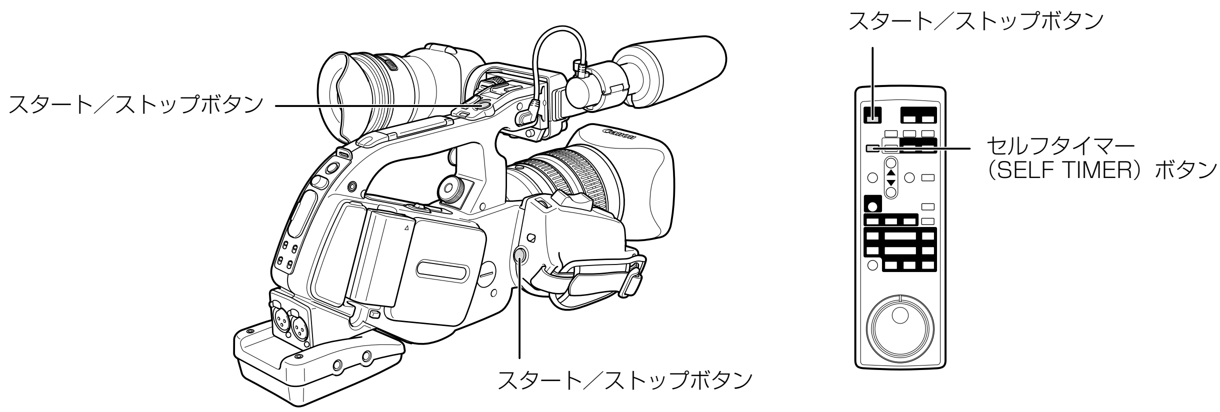
- 撮影が一時停止になり、「INT T.」が点滅に変わります。
- もう一度スタート／ストップボタンを押すとインターバル撮影を再開する。

インターバルタイマーをやめるとき

インターバルタイマー撮影を一時停止して、メニューで「切」にする

❍ 長時間（12時間以上）インターバルタイマー撮影をするときはEVF DISPLAY ON/OFFボタンでファインダーの表示を消すことをおすすめします。
❍ 表示される文字の残像がファインダーに残る場合は、電源を切って、数時間放置すると元に戻ります。
❍ テープの残量表示が出ないことがあります。

セルフタイマーによる撮影



操作のしかた

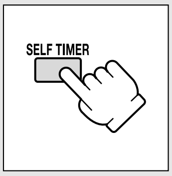
- ここではリモコンで操作する場合で説明しています。

ファインダー表示が「切」になっていると「セルフタイマー」表示は出ません。



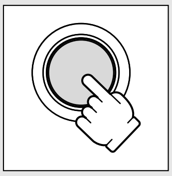
撮影一時停止中

1 リモコンのSELF TIMERボタンを押す

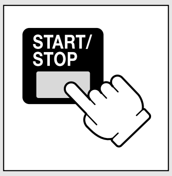


- ファインダーに「セルフタイマー」が出る。
- カセットが入っていなくてもセルフタイマーの設定はできます。
- セルフタイマーを解除するときはもう一度SELF TIMERボタンを押す。

2 スタート／ストップボタンを押す



または



- 本体のボタンでは約10秒後に、リモコンのボタンでは約2秒後に録画を開始する。
- 撮影開始までの時間（10秒〜0秒）がファインダーに表示され、録画ランプが点滅する（2秒前から点滅が速くなる）。
- 撮影が始まると「セルフタイマー」表示が消える。

撮影が始まる前に、セルフタイマーを解除するときはもう一度SELF TIMERボタンを押すか、スタート／ストップボタンを押す。

本体で操作する場合



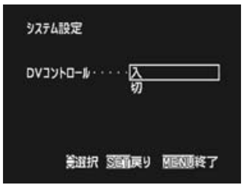
① MENUボタンを押す
②「カメラ設定」➤「セルフタイマー」➤設定内容を順に選ぶ
　・ SETボタンを上／下に押して項目を選び、まっすぐ押して設定します。
③ MENUボタンを押す

DVコントロール機能

本機のDV端子とDV端子を持つほかのビデオ機器などを接続することで、本機のスタート／ストップボタンで接続した機器の録画、一時停止を操作できます。
また、Windows XPパソコンをお使いの場合は、DV-PC Recorderをキヤノンのホームページからダウンロードすることで、パソコンのハードディスクに本機からの映像/音声出力を記録できます。詳しくは「DV-PC Recorder Software」ご案内をご覧ください。

EXT. CONT.　VCR　|　A　Tv　Av　M

パソコンのIEEE1394（DV）端子は、4ピンと6ピンがあります。
端子の形状に合わせて、別売のDVケーブルCV-150F（4ピン-4ピン）または、CV-250F（4ピン-6ピン）などを使います。



① MENUボタンを押す
②「システム設定」➤「DVコントロール」➤設定内容を順に選ぶ
　・ SETボタンを上／下に押して「入」を選び、まっすぐ押して設定します。
③ MENUボタンを押す

① 本機が録画一時停止中
スタート／ストップボタンを押す
本機：録画
接続した機器：録画

② 本機が録画中
スタート／ストップボタンを押す
本機：録画一時停止
接続した機器：録画一時停止

③ カセットが入っていないなど本機が録画できない場合
スタート／ストップボタンを押す
接続した機器：本機のスタート／ストップボタンを押すたびに、録画と録画一時停止を繰り返す

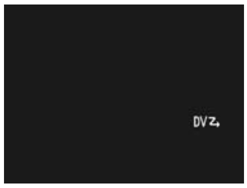
④ 接続した機器が録画中に本機にカセットを入れた場合
スタート／ストップボタンを押す

本機：録画一時停止 接続した機器：録画	➡	本機：録画 接続した機器：録画を継続

本機と接続した機器が録画中にスタート／ストップボタンを押すとともに録画一停止になる（②と同じ）

- 本機と接続した機器が録画中に、本機のスタート／ストップボタン以外で本機の録画が終了した（テープが終わりになるなど）場合は、接続した機器はそのまま録画を続けます。
- 本機の録画が終了したときに、接続した機種によっては、一瞬音声が途切れることがあります。

接続した機器が録画中	DV ●
接続した機器が録画一時停止または停止中	DV ■
接続した機器が録画、録画一時停止、停止以外の場合	DV - - -
DVコントロール機能が「入」でDV端子にDVコントロール可能な機器が接続されていない場合	DV

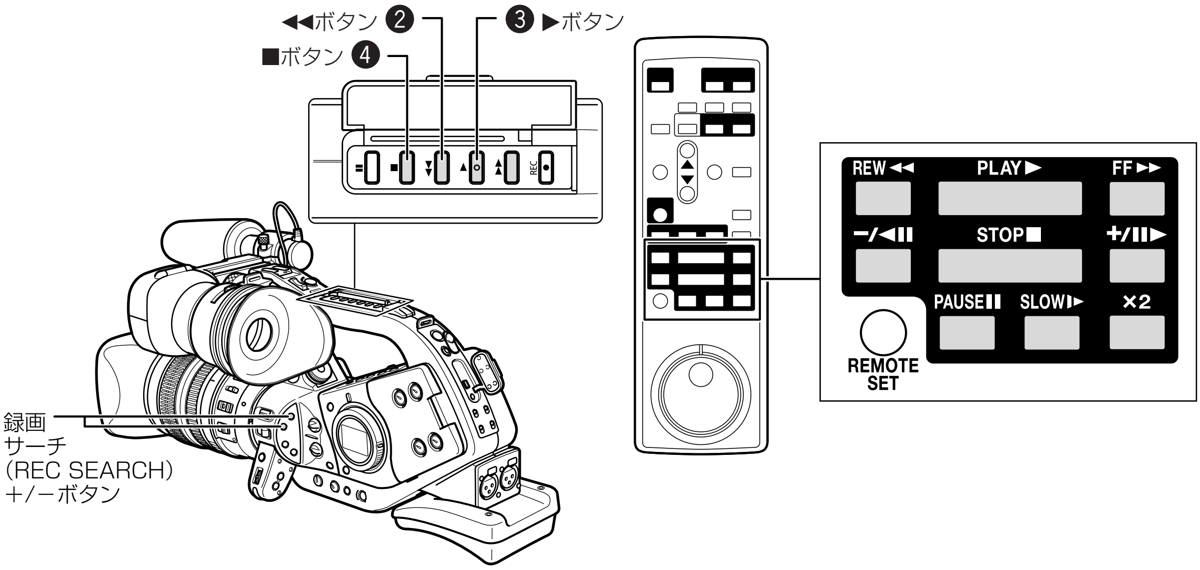


DVコントロール機能では
- DVコントロールの設定は電源を切っても記憶しています（コイン型リチウム電池で記憶）。接続した機器のテープを上書きしてしまうことがありますので、DVコントロールを使用したあとは、設定を確認してください。
- XL2を2台接続してDVコントロールするときは、「接続した機器」にあたるXL2はかならずDVコントロールを「切」にしてください。
- DVコントロールする場合、接続可能なビデオ機器は本機を含め2台までです。
- 接続する機器によっては正常に動作しないことがあります。
- 接続できるDVケーブルの長さは4.5mまでです。

再生する

再生画面がおかしいときは

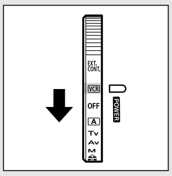
ビデオヘッドが汚れている場合があります。市販の乾式のヘッドクリーニングカセットを使ってビデオヘッドをきれいにしてください。



再生のしかた

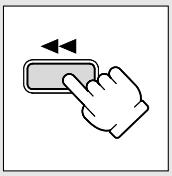


1 VCRモードにする



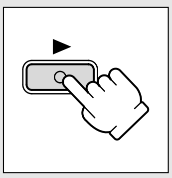
- ボタンを押しながらメインダイヤルをVCRにする。

2 ◀◀ボタンを押す



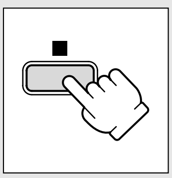
- テープを巻き戻します。

3 ▶ボタンを押す



- 再生が始まります。

4 ■ボタンを押す



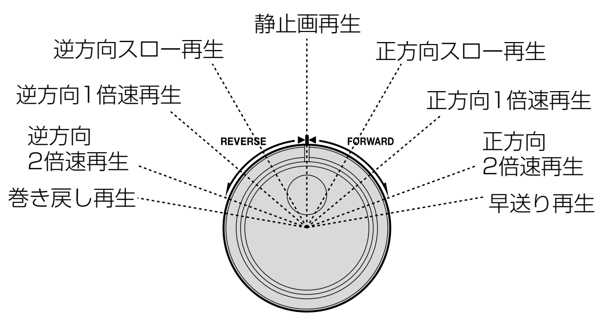
- 再生を止めます。

特殊再生

- 早送り再生、巻き戻し再生、静止画再生以外はリモコンのみの操作になります。エディットサーチは本体のみの操作になります。

早送り再生 ▶▶	再生／早送り中に▶▶(早送り)ボタンを押し続けると、約9.5倍の早送り再生になります。
巻戻し再生 ◀◀	再生／巻戻し中に◀◀(巻戻し)ボタンを押し続けると、約9.5倍の巻戻し再生になります。
再生一時停止 ▶II	再生中にII(一時停止)ボタンを押します。
逆方向再生 ◀×1	再生中にリモコンの−/◀IIボタンを押します。再生▶ボタンを押すと、ふつうの再生に戻ります。
コマ送り ◀II　II▶	再生一時停止中にリモコンの＋/II▶または−/◀IIボタンを押すと、押すたびに１コマずつ送られます。押し続けると連続コマ送りになります。
スロー再生 ◀I　I▶	再生／逆方向再生中にリモコンのスロー I▶ボタンを押すと、通常の約1/3のスロー再生になります。再生▶ボタンを押すと、ふつうの再生に戻ります。
2倍速再生 ◀×2　2×▶	再生／逆方向再生中にリモコンの×2ボタンを押します。再生▶ボタンを押すと、ふつうの再生に戻ります。
エディットサーチ ◀　▶	再生一時停止中にを録画サーチ＋/−ボタンを押し続けます。ボタンを離すと、その場面で再生一時停止になります。

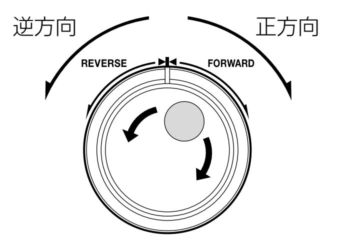
❍ 特殊再生機能を使って再生したときは、音声は聞こえません。
❍ 再生機能によっては、画面が多少乱れることがあります。
❍ 再生一時停止が約5分以上続くと、テープとヘッドの保護のため、自動的に停止状態になります。再生するときは、もう一度再生ボタンを押します。



シャトルダイヤル

再生中また再生一時停止中に操作すると、角度によってスロー（1／3速）／1倍速／2倍速／早送り再生（巻き戻し再生）になります。

- ダイヤルを中央に戻すと、再生一時停止になります。
- 停止中に端まで回すと早送り（巻き戻し）になります。



ジョグダイヤル

再生中また再生一時停止中に回すと、回転速度によってコマ送り／スロー（1／10速）／1倍速再生になります。

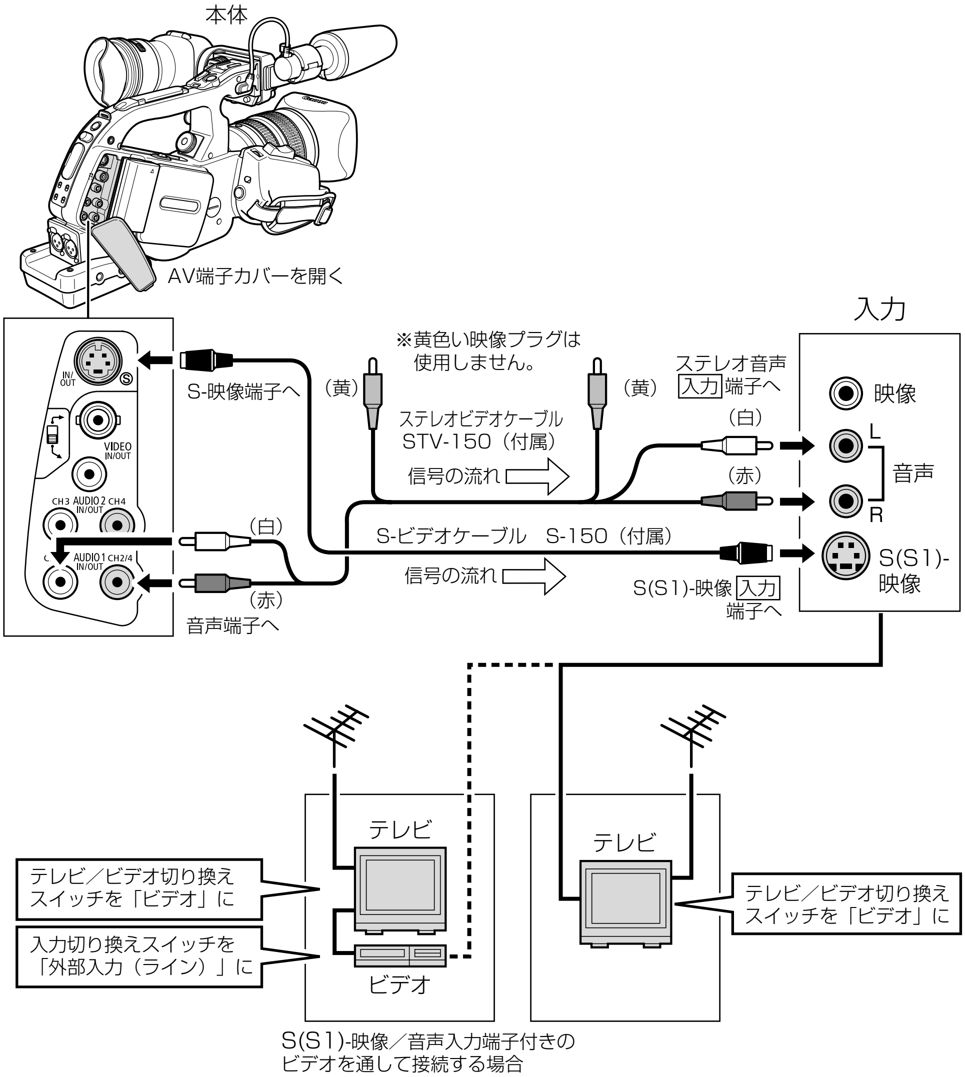
- ジョグダイヤルの動きを止めると、再生一時停止になります。

テレビで見る

S(S1)-映像/音声入力端子付きのテレビにつないで見る

ステレオ

接続は、各機器の電源を切って行います。接続する機器の使用説明書もあわせてご覧ください。

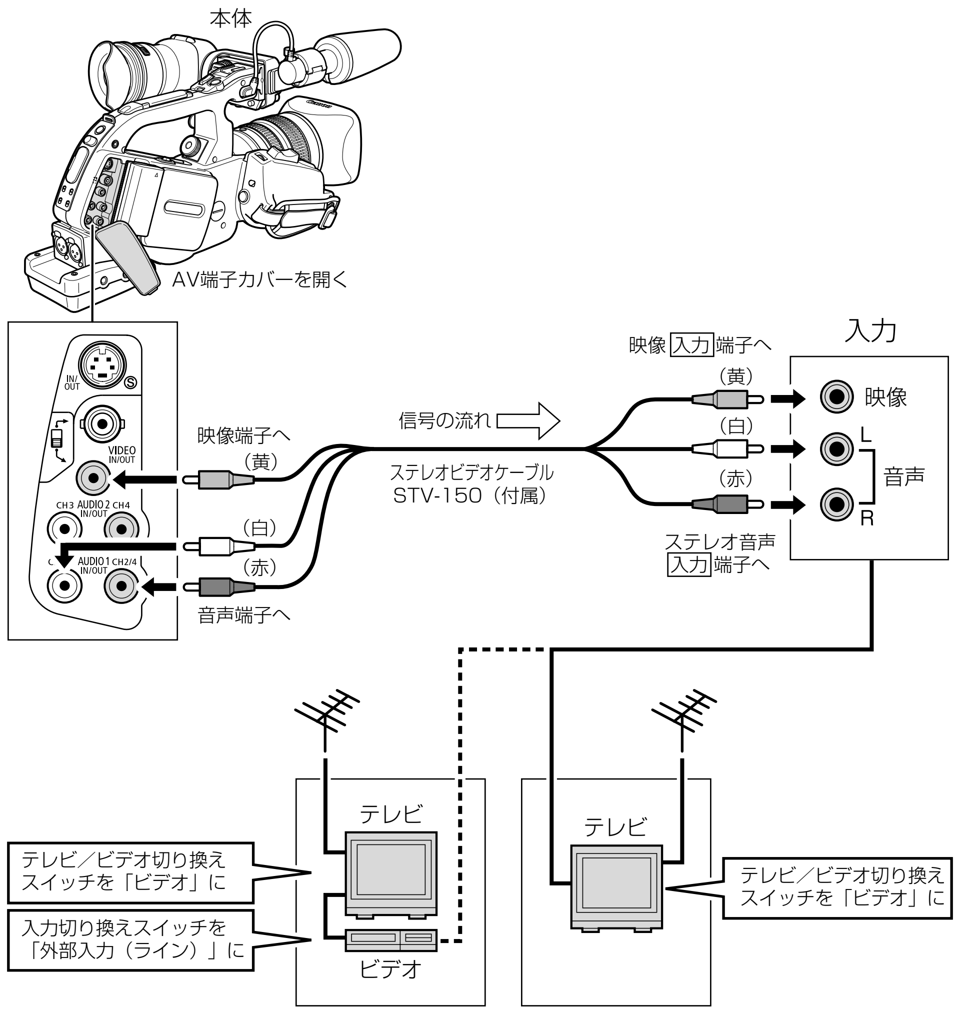


- ❍ 本機にコンパクトパワーアダプターを接続して、家庭用のコンセントで使うことをおすすめします。
- ❍ 再生時には、S(S 1)-映像端子付きのテレビを接続してご覧になると、DV方式の持つ高画質を十分にお楽しみいただけます。
- ❍ **S1-映像入力端子付きのテレビの場合**
  本機のワイドテレビ用「16：9」機能（📖51）で撮影した映像をテレビで見るときに、本機をS1-映像入力端子につないで再生すると、自動的にワイド画面に切り換わります。
- ❍ **ビデオ方式 IDシステム（ID-1）方式対応のテレビの場合**
  本機のワイドテレビ用「16：9」機能（📖51）で撮影した映像をテレビで見るときに、Sまたは映像入力端子につないで再生すると、自動的にワイド画面に切り換わります。

映像/音声入力端子付きのテレビにつないで見る

ステレオ

接続は、各機器の電源を切って行います。接続する機器の使用説明書もあわせてご覧ください。
VIDEO IN/OUTのRCA端子を使うときは、選択スイッチをRCA側にしてください。
VIDEO IN/OUTのBNC端子を使うときは、選択スイッチをBNC側にしてください。

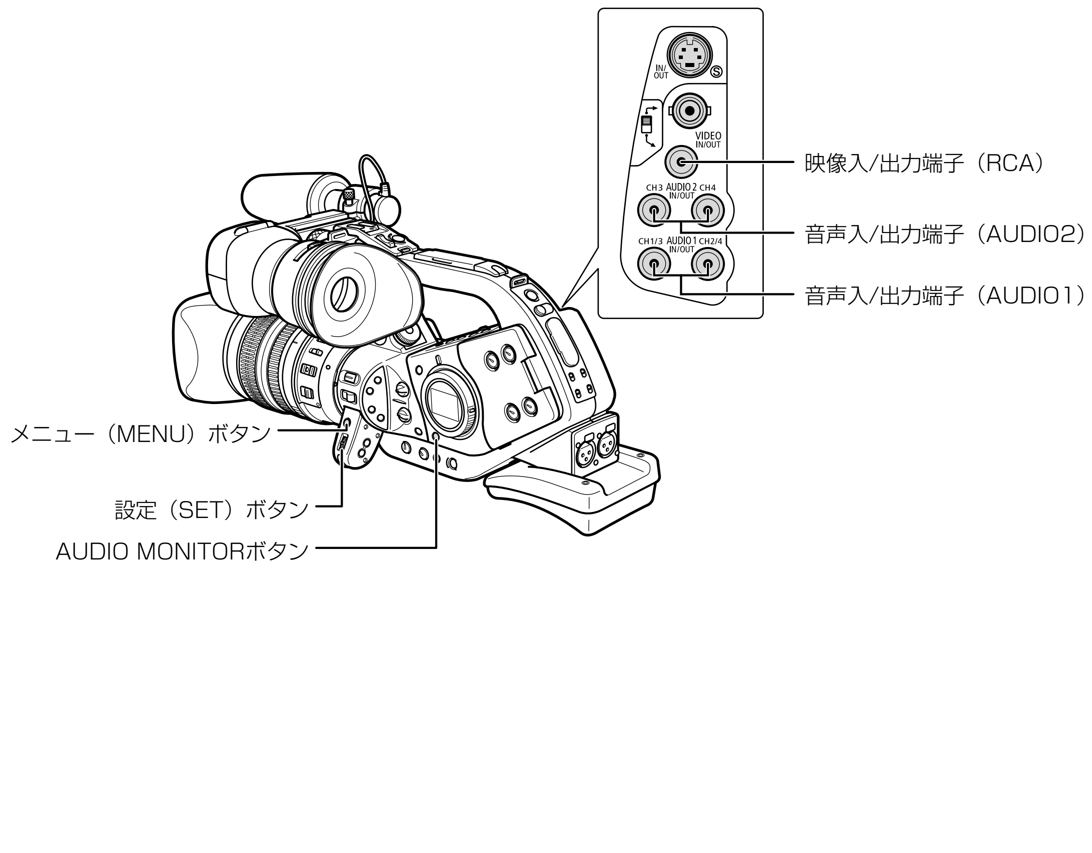


映像／音声入力端子付きの
ビデオを通して接続する場合

再生編

音声出力を選ぶ

記録チャンネル	出力されるRCA端子	AUDIO MONITORスイッチ操作（各端子に出力するチャンネルの切り換え）	メニュー「音声選択」(CH1、2端子とヘッドホンに出力される音声の選択)	AUDIO MONITORスイッチでチャンネル1+3／チャンネル2+4選択時、メニュー「ミックス選択」(CH1、2端子とヘッドホン、レベルメーターに出力される音声の選択)
2チャンネル	CH1、CH2端子	---	CH1/2、CH1/1、CH2/2切り換え可能	---
4チャンネル	CH1、CH2端子	チャンネル1/2、チャンネル3/4、チャンネル1+3/チャンネル2+4切り換え可能	CH1/2、CH1/1、CH2/2切り換え可能	1：1、バリアブル（バリアブル選択時はリモコンでバランスを選択）
	CH3、CH4端子	チャンネル3、チャンネル4またはミュート（チャンネル1/2、チャンネル1+3/CH2+4選択時）	---	---



各RCA端子に出力されるチャンネルを選ぶ

EXT. CONT. | VCR | A | Tv | Av | M

AUDIO MONITORボタンを押すたびに切り換ります。

→ チャンネル1/2 → チャンネル3/4 → チャンネル1+3/2+4 ─┐

音声選択を選ぶ

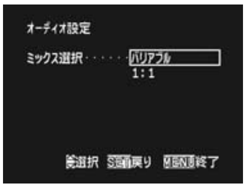
EXT. CONT. | VCR | A | Tv | Av | M



① MENUボタンを押す
②「オーディオ設定」➤「音声選択」➤設定内容を順に選ぶ
・ SETボタンを上／下に押して項目を選び、まっすぐ押して設定します。
③ MENUボタンを押す

ミックス選択を選ぶ

EXT. CONT. | VCR | A | Tv | Av | M

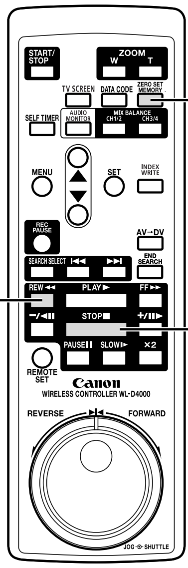


① MENUボタンを押す
②「オーディオ設定」➤「ミックス選択」➤設定内容を順に選ぶ
・ SETボタンを上／下に押して項目を選び、まっすぐ押して設定します。
③ MENUボタンを押す
・ チャンネル1/2とチャンネル3/4のバランスは、リモコンのMIX BALANCE CH1/2、CH3/4ボタンで行います。

再生編

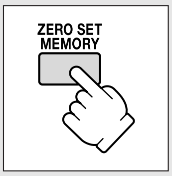
見たい場面にすばやく戻る（ゼロセットメモリー）

あとでもう一度見たいと思う場面があったときに、ゼロセットメモリーを設定しておくと、早送りまたは巻戻しをしたときに、設定した場面で自動的に停止します。リモコンで操作します。





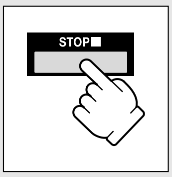
1 再生中 ZERO SET MEMORYボタンを押す



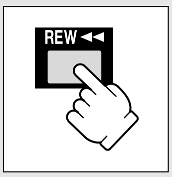


- あとで見たい場面が出てきたら、ZERO SET MEMORYボタンを押します。
- カウンター表示が「0：00：00」になり、「M」の表示が出ます。
- ZERO SET MEMORYボタンをもう一度押すと、設定が解除されます。

2 再生が終わったら、STOP ■ ボタンを押す



3 REW ◀◀ ボタンを押す

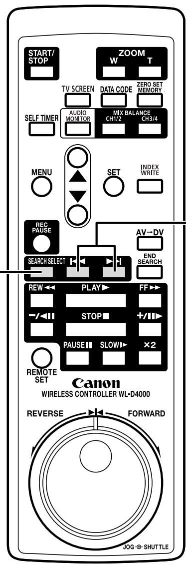


- カウンター表示に「−」がついているときは、早送りボタンを押します。
- カウンター表示が「0：00：00」付近で自動的に停止します。カウンター表示がタイムコードに戻り、「M」が消えます。

タイムコードが連続して記録されていないと、ゼロセットメモリー機能が正しく働かないことがあります。

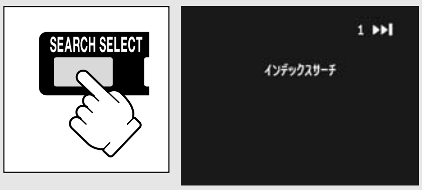
任意の場所をすばやく探す（インデックスサーチ）

インデックス信号を記録（🕮 91）した場面をすばやく探し出せます。リモコンで操作します。



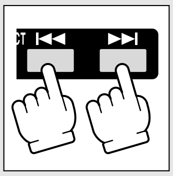


1 SEARCH SELECTボタンを押す



- 「インデックスサーチ」を選びます。
- 「インデックスサーチ」の表示が出ます。

2 ⏮／⏭ボタンを押す



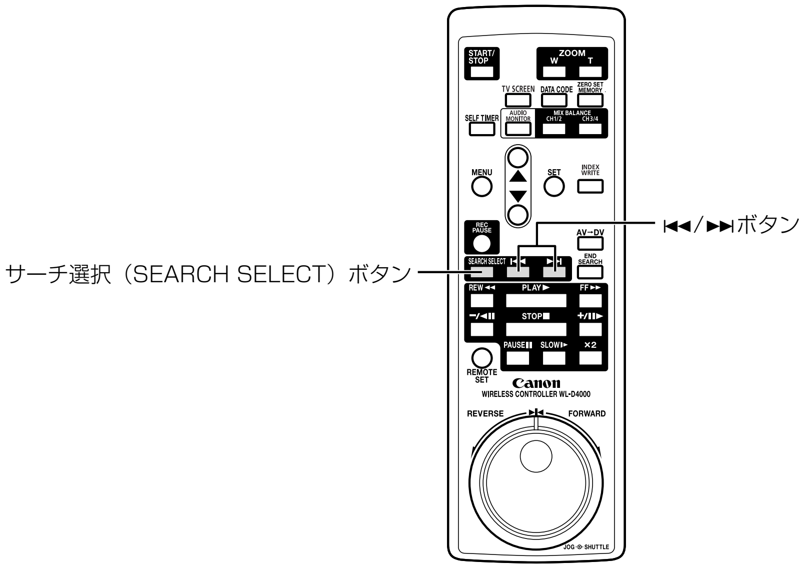
- 押した数だけ前／後ろのインデックス（最多10まで）の頭出しになります。
- サーチを止めるときは、停止■ボタンを押します。

再生を始める位置が多少ずれることがあります。

再生編

撮影した日の変わり目を探す（日付サーチ）

撮影時の日付／時刻を自動的に記録するデータコード（🕮 109）を使って撮影時の日付の変わり目を探せます。世界時計でエリアを設定したときには、エリアの変わり目もサーチします。リモコンで操作します。



操作のしかた

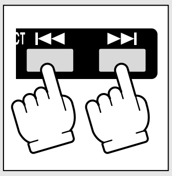


1 **SEARCH SELECTボタンを押す**



- 「日付サーチ」を選びます。
- 「日付サーチ」の表示が出ます。

2 **⏮/⏭ボタンを押す**

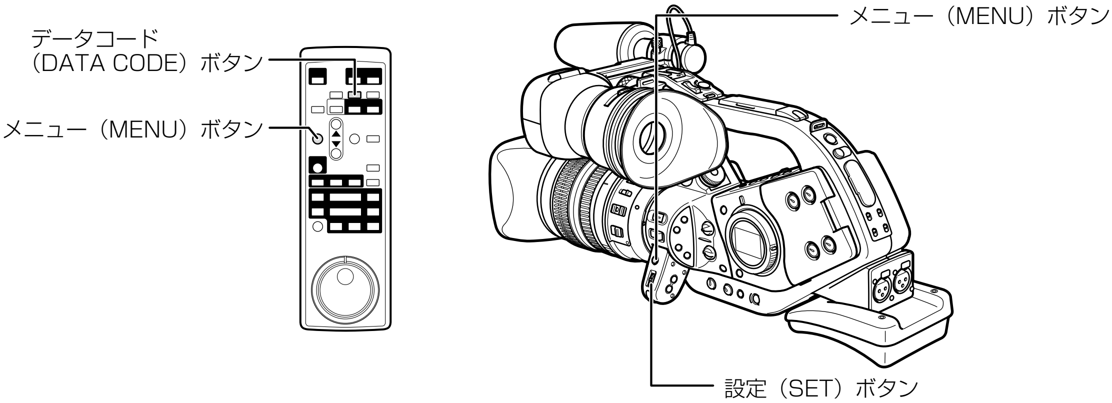


- 押した数だけ前／後ろの日付の変わり目(最多10まで)の頭出しになります。
- サーチを止めるときは、停止■ボタンを押します。

❍ 日付サーチを行うときは、1日／1エリア当たり1分以上の記録部分が必要です。
❍ データコードが正しく表示されていないときは、日付サーチは正しく動作しません。

再生時に日時、カメラデータを表示する（データコード）

本機では、撮影時の日付／時刻とカメラデータ（シャッタースピード、絞り値（F値）とゲイン）が自動的に記録されます。
撮影時の日付／時刻、カメラデータを「データコード」といいます。
テープを再生するときには、データコードの内容を選んで表示できます。



日時の表示内容を選ぶ（日付／時刻／日付＆時刻）

EXT. CONT. | VCR | A | Tv | Av | M

1 表示内容を選ぶ



① MENUボタンを押す
②「表示設定」➤「日時選択」➤設定内容を順に選ぶ
・ SETボタンを上／下に押して項目を選び、まっすぐ押して設定します。
●「表示設定」サブメニューに戻ります。

データコードの表示内容を選ぶ

EXT. CONT. | VCR | A | Tv | Av | M

2 表示内容を選ぶ



①「表示設定」➤「データコード」➤設定内容を順に選ぶ
・ SETボタンを上／下に押して項目を選び、まっすぐ押して設定します。
●「表示設定」サブメニューに戻ります。
② MENUボタンを押す

再生編

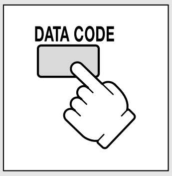
次のページへ

再生時に日時、カメラデータを表示する（データコード）…つづき

データコードを表示する

EXT. CONT. | VCR | A | Tv | Av | M

3 データコードを表示する





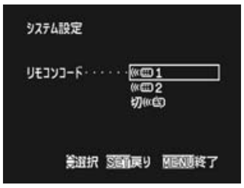
- テープを再生し、DATA CODEボタンを押します。

データコードは、一度電源を切ると、表示されなくなります。

2台のキヤノンビデオカメラを操作する（リモコンコード）

キヤノン製のほかのビデオカメラもお使いになっているときは、2台のリモコンコードを別にしてお使いください。ご購入時には、リモコンコードは「1」に設定されています。誤動作を防ぐためにはリモコンコードを「2」に変更してください。「切」を選ぶと、リモコンの信号を受け付けません。
本機のリモコンコードの設定（受信コード）を変更したら、必ずリモコンも設定（送信コード）を変更してください。

本機の受信コードを変更する



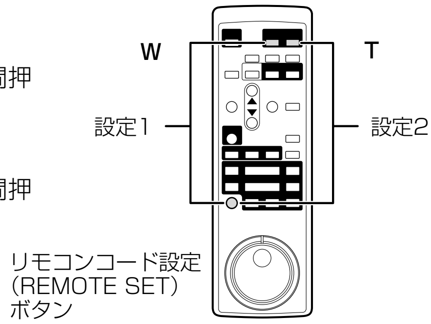
① MENUボタンを押す
②「システム設定」➤「リモコンコード」➤設定内容を順に選ぶ
　・ SETボタンを上／下に押して項目を選び、まっすぐ押して設定します。
③ MENUボタンを押す
　・ 選んだ設定内容の表示が出ます。「1」と「2」は、約2秒後に消えます。

リモコンの送信コードを変更する

本機とリモコンで設定されているリモコンコードが異なる場合には、リモコンは使用できません。リモコンコード設定（REMOTE SET）ボタン以外のボタンを押すと、画面に本機で設定されているリモコンコードが4秒間、点滅して表示され、確認できます。

設定1にする
リモコンのREMOTE SETボタンを押しながら、Wボタンを約2秒間押します。

設定2にする
リモコンのREMOTE SETボタンを押しながら、T ボタンを約2秒間押します。



❍ リモコンコードの設定を確認しても、リモコンで操作できない場合には、リモコンの電池を交換してください。
❍ 電池を交換すると、リモコンコードは「1」に戻ります。必要に応じて、再度設定し直してください。

ビデオデッキなどへ録画する

本機を再生機として、ビデオデッキを録画機として使うことで、本機で撮影したテープをダビング編集できます。また録画側のビデオがDV端子付きのデジタルビデオの場合は、デジタル信号のまま、画質、音質劣化のほとんどないダビング編集ができます。

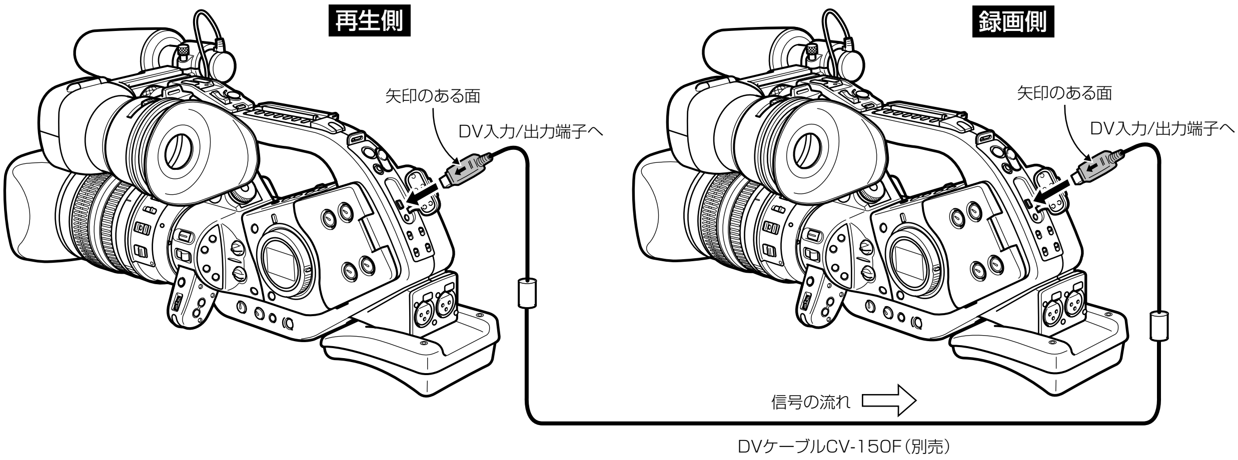
接続のしかた

① 映像/音声端子付きビデオ／S（S1）-映像端子付きビデオへ録画する

接続のしかたは、🕮 114をご覧ください。

② DV端子付きビデオへ録画する

接続するほかの映像機器の使用説明書もあわせてご覧ください。



操作のしかた

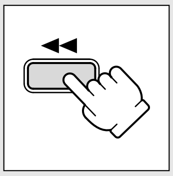
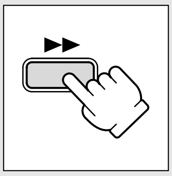


1 本機　**VCRモードにする**

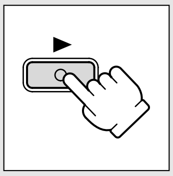
- 再生するカセットを入れます。

2 録画機　**録画用カセットを入れ、録画一時停止状態にする**

3 本機　**◀◀ボタン／▶▶ボタンを押して、再生を始める少し手前の位置を探す**

4 本機　**▶ボタンを押す**

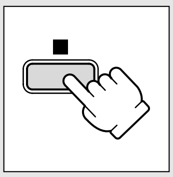


- 再生が始まります。

5 録画機　**録画を開始する場面で、録画を始める**

6 録画機　**録画を終える**

7 本機　**■ボタンを押す**



- 再生が終わります。

❍ DV端子のないビデオ機器へダビングした映像は、多少画質が劣化します。

DV端子付きビデオへ録画する場合

❍ DVケーブルを正しく接続していても、映像が出ないことがあります。このようなときはDVケーブルを接続し直すか、電源を入れ直してください。

❍ DV（IEEE1394）端子を持つすべてのビデオ機器との接続を保証するものではありません。正しく動作しない場合は、S-映像端子、映像／音声端子を使用してください。

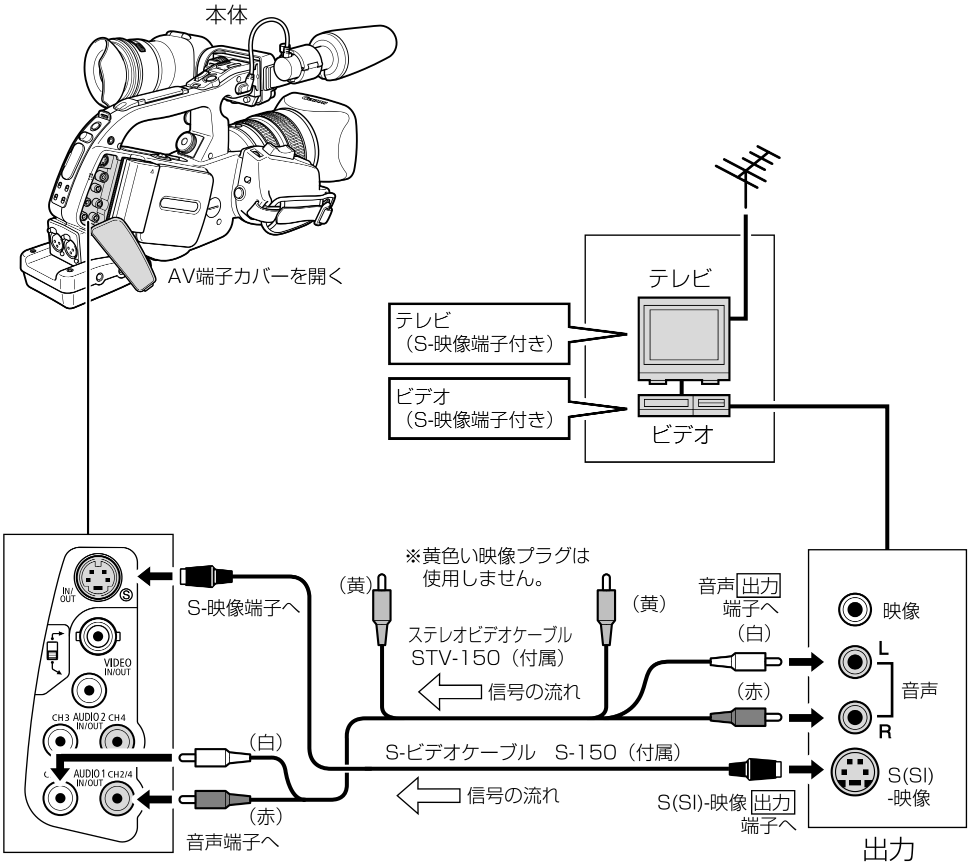
ほかのビデオ機器やテレビの画像を録画する（アナログ入力）

本機を録画機として使用して、ほかのビデオの画像やテレビ番組をダビングしたり、編集することができます。

接続のしかた

S-映像/音声端子付きビデオから録画する

接続するほかの映像機器の使用説明書もあわせてご覧ください。
映像／音声端子付きビデオと接続することもできます（📖41）。



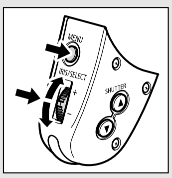
操作のしかた



1 本機 **VCRモードにする**

- 録画用カセットを入れます。

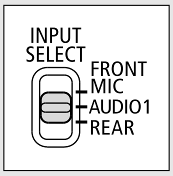
2 **オーディオモードを選ぶ**





① MENUボタンを押す
②「オーディオ設定」➤「オーディオモード」➤設定内容を順に選ぶ
・SETボタンを上／下に押して項目を選び、まっすぐ押して設定します。
③ MENUボタンを押す

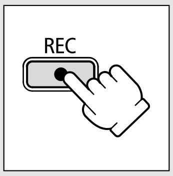
3 録音する入力を選ぶ

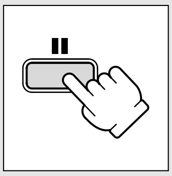


2チャンネル記録：AUDIO1のINPUT SELECTスイッチで選びます（ライン入力の場合はAUDIO1にします）
4チャンネル同時記録：
・AUDIO1のINPUT SELECTスイッチで選びます（ライン入力の場合はAUDIO1にします）
・AUDIO2のINPUT SELECTスイッチで選びます（ライン入力の場合はAUDIO2にします）

4 再生機 再生するカセットを入れる

5 本機 ●ボタンとⅡボタン（リモコンではREC PAUSEボタン）を押す

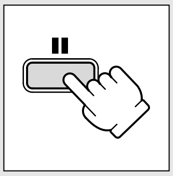




- 録画一時停止中／録画中は、画面で映像を確認できます。

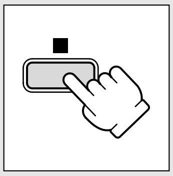
6 再生機 再生を始める

7 本機 録画を開始する場面で、Ⅱボタン（リモコンでは PAUSE Ⅱボタン）を押す



- 録画が開始されます。

8 本機 ■ボタンを押す



- 録画が終わります。
- 一時停止したいときは、Ⅱボタンを押します。録画を再開したいときは、もう一度押します。

9 再生機 再生を終える

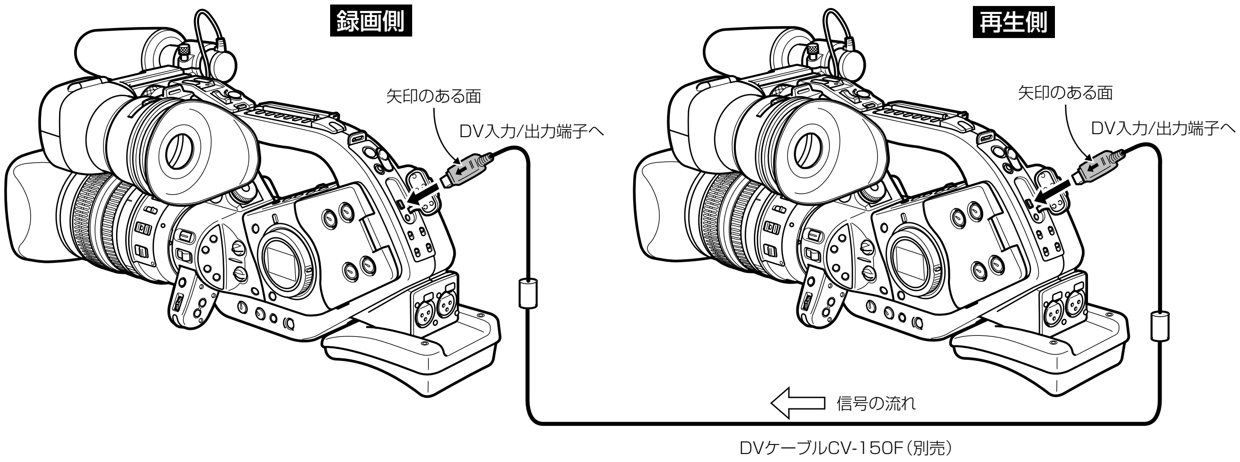
手順5で●ボタンだけを押すと、すぐに録画が開始されます。

DV端子付きビデオ機器から録画する

本機と、DV端子を持つほかのビデオ機器をDVケーブルで接続し、ダビング編集できます。

接続のしかた

接続するほかの映像機器の使用説明書もあわせてご覧ください。



操作のしかた

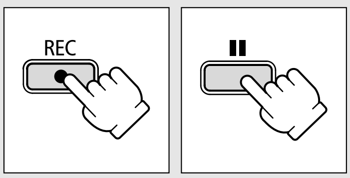


1 本機 **VCRモードにする**

- 録画用カセットを入れます。
- 「AV入力→DV出力」の設定が「切」になっていることを確認します（🕮 118）。

2 再生機 **再生するカセットを入れる**

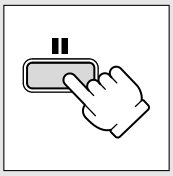
3 本機 **●ボタンと❚❚ボタン（リモコンではREC PAUSEボタン）を押す**



- 録画一時停止中／録画中は、画面で映像を確認できます。

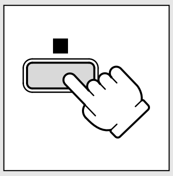
4 再生機　**再生を始める**

5 本機　**録画を開始する場面で、❚❚ボタン（リモコンでは PAUSE ❚❚ボタン）を押す**



- 録画が開始されます。

6 本機　**■ボタンを押す**



- 録画が終わります。
- 一時停止したいときは、❚❚ボタンを押します。録画を再開したいときは、もう一度押します。

7 再生機　**再生を終える**

- ❍ 再生機がテープの無記録部分を再生すると、異常な映像が記録されることがあります。
- ❍ DVケーブルを正しく接続していても、映像が出ないことがあります。このようなときはDVケーブルを接続し直すか、電源を入れ直してください。
- ❍ DV端子から入力して本機で記録できる信号は、DV 方式のSD方式で、SPまたはLPモードで記録された場合のみです。
- ❍ 手順3で●ボタンだけを押すと、すぐに録画が開始されます。

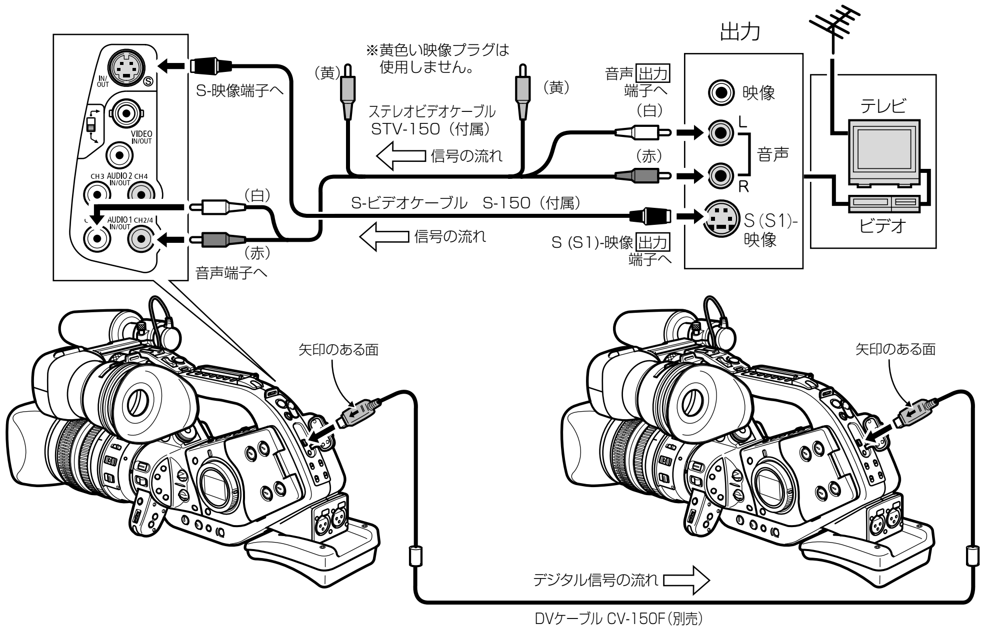
アナログ入力した映像と音声をデジタルビデオ機器に出力する（アナログ→デジタル変換）

本機にビデオデッキや8ミリビデオカメラを接続すると、アナログ信号の映像と音声を瞬時にデジタル信号に変換して、DV端子から出力できます。このとき、DV端子は出力専用の端子になります。

接続のしかた

S-映像/音声端子付きビデオから録画する

接続は、各機器の電源を切って行います。DVカセットは、本機から取り出しておきます。接続するほかの映像機器の使用説明書もあわせてご覧ください。
映像／音声端子付きビデオと接続することもできます（📖114）。



設定のしかた





① MENUボタンを押す
② 「VCR設定」➤「AV→DV」➤設定内容を順に選ぶ
・ SETボタンを上／下に押して項目を選び、まっすぐ押して設定します。
③ MENUボタンを押す
・「入」を選ぶと、「AV→DV」の表示が出ます。

❍ 接続した製品からのアナログ信号によっては、正しくデジタル変換されない場合があります。
例：著作権保護信号入りのアナログ信号、ゴーストなどを含む乱れたアナログ信号等
❍ 通常は「AV入力→DV出力」を「切」に設定しておいてください。「入」に設定していると、本機のDV端子からデジタル信号を入力できません。
❍ DV（IEEE1394）端子付きのパソコンに接続する場合、使用するソフトウェア、パソコンの設定などによっては、デジタル変換された映像と音声をパソコンで表示したり、取り込めないことがあります。

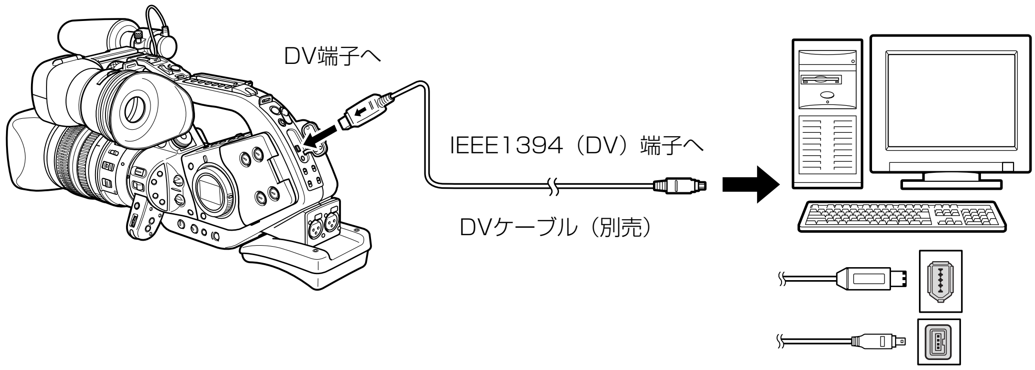
❍ コンパクトパワーアダプターを使って、家庭用コンセントから電源をとることをおすすめします。
❍ リモコンでも操作できます。リモコンのAV→DVボタンを押します。ボタンを押すたびに、「入」と「切」を切り換えられます。

DVケーブルを使ってパソコンに接続する（IEEE1394接続）

本機と、IEEE1394（DV）端子を標準で搭載しているパソコン／IEEE1394端子付きキャプチャーボードを搭載したパソコンをDVケーブルで接続すると、本機で記録した映像をパソコンに取り込むことができます。テープの映像をパソコンに取り込むためには、パソコン／キャプチャーボードに付属の編集ソフトウェアをご使用ください。ソフトウェアの使用説明書もあわせてご覧ください。
ドライバーは、Windows 98 Second Edition以降のWindows OSまたはMac OS9以降のMac OSに標準で搭載されており、本機をパソコンに接続すると、自動的にインストールされます。
また、Windows XPをお使いのかたは、DV-PC Recorderをダウンロードすることにより、撮影している映像を同時にパソコンのハードディスクに記録できます。ダウンロードなどについては、「DV-PC Recorder Software」ご案内をご覧ください。

操作のしかた

パソコンのIEEE1394（DV）端子は、4ピンと6ピンがあります。端子の形状に合わせて、別売のDVケーブルCV-150F（4ピン−4ピン）または、CV-250F（4ピン−6ピン）を使います。



❍ 使用するソフトウェア、パソコンの仕様／設定などによっては、正しく動作しないことがあります。
❍ 本機とパソコンを接続したときにパソコン上で操作できない場合は、DVケーブルを抜き差ししてください。それでも操作できない場合は、次の操作をしてください。
① 本機とパソコンからDVケーブルを抜いてから、本機とパソコンの電源を切る。
② 本機とパソコンの電源を入れて、本機とパソコンにDVケーブルを接続し直す。
❍ 本機はキヤノンDV NETWORK SOFTWARE (DV Messenger)には対応していません。

パソコンの使用説明書もあわせてご覧ください。

編集編

メインダイヤルを切り換えたり、STANDBYボタンを入／切しても保持している設定項目

メインダイヤルを切り換えたり、STANDBYボタンを入/切しても次の機能の設定は保持されます（コイン型リチウム電池装着時）。

● **カメラモード**

<table>
<tr><th></th><th>メインダイヤルで電源を切る</th><th>STANDBYボタンを入／切する</th></tr>
<tr><td>Avモードで設定した絞り値</td><td colspan="2">○</td></tr>
<tr><td>Tvモードで設定したシャッタースピード</td><td colspan="2">○</td></tr>
<tr><td>マニュアルモードで設定した絞り値、
シャッタースピード</td><td colspan="2">○</td></tr>
<tr><td>ホワイトバランスセット</td><td colspan="2">○</td></tr>
<tr><td>露出ロックの入／切</td><td>切になる</td><td>○</td></tr>
<tr><td>露出ロックで設定した絞り値、
シャッタースピード</td><td>リセット</td><td>○</td></tr>
<tr><td>カラーバーの設定</td><td>リセット</td><td>○</td></tr>
<tr><td>カラーバーの入／切</td><td>リセット</td><td>○</td></tr>
<tr><td>フィルムグレインの設定</td><td>リセット</td><td>○</td></tr>
<tr><td>フィルムグレインの入／切</td><td>リセット</td><td>○</td></tr>
<tr><td>カメラメニューの設定項目＊</td><td colspan="2">○</td></tr>
<tr><td>セルフタイマーの入／切</td><td colspan="2">切になる</td></tr>
<tr><td>インターバルタイマーの入／切</td><td colspan="2">切になる</td></tr>
<tr><td>オンスクリーンの入／切</td><td colspan="2">○</td></tr>
<tr><td>ファインダー表示入／切</td><td colspan="2">通常表示に戻る</td></tr>
<tr><td>液晶表示パネル照明の入／切</td><td colspan="2">切になる</td></tr>
<tr><td>ゼロセットメモリーのカウンター</td><td colspan="2">○</td></tr>
</table>

＊セルフタイマーとインターバルタイマーの入／切は除く。

撮影モードやフレームレートを切り換えても次の機能の設定は保持されます（コイン型リチウム電池装着時）。

● カメラモード

	□（全自動）モード以外の撮影モードに切り換える	□（全自動）モードに切り換える	フレームレートを切り換える
Avモードで設定した絞り値	○		リセット
Tvモードで設定したシャッタースピード	○		リセット
マニュアルモードで設定した絞り値、シャッタースピード	○		リセット
ホワイトバランスセット	○		○
露出ロックの入／切	切になる		
露出ロックで設定した絞り値、シャッタースピード	リセット		
カラーバーの設定	○	○	リセット
カラーバーの入／切	○	○	リセット
フィルムグレインの設定	○	リセット	リセット
フィルムグレインの入／切	○	リセット	リセット
カメラメニューの設定項目	○		
セルフタイマーの入／切	○		
インターバルタイマーの入／切	○		
オンスクリーンの入／切	○		
ファインダー表示入／切	○		
液晶表示パネル照明の入／切	○		
ゼロセットメモリーのカウンター	○		

メニュー一覧

カメラメニュー

サブメニュー項目	設定内容	意味	
タイムコード			
フレーム設定	**ドロップ***	ドロップ方式でタイムコードを記録する。	52
	ノンドロップ	ノンドロップ方式でタイムコードを記録する。	
カウントアップ方式	**レックラン**	本機のテープに記録している間だけ、タイムコードが歩進する。	
	レックランプリセット	スタート値設定画面へ。	
	フリーラン*	本機の操作に関係なく、タイムコードが歩進する。 スタート値設定画面へ。	
スタート値設定	**セット**	タイムコードを設定する。スタート値設定画面へ。	
	リセット	タイムコードを00:00:00:00にリセットする。	
カメラ設定			
24pプルダウン	**2:3**	2:3プルダウン方式で24pを記録する。	49
	2:3:3:2	2:3:3:2プルダウン方式で24pを記録する。	
ゼブラパターン	入	ゼブラパターンを表示する。	81
	切	ゼブラパターンを表示しない。	
ゼブラパターンレベル	80	ゼブラパターンの表示レベルを選択する。	
	85		
	90		
	95		
	100		
スキン設定	色相	色相を調整する。	82
	クロマ	クロマを調整する。	
	エリア	エリアを調整する。	
	Yレベル	Yレベルを調整する。	
	スキンディテール　**切**	スキンディテール機能を使わない。	
	スキンディテール　ハイ	肌色部分のディテール表現を選択する。ハイにするほど肌色部分が柔らかく表現される。	
	スキンディテール　ミドル		
	スキンディテール　ロー		
ハンドルズームスピード	L	ハンドルにあるズームボタンのズームスピードをL（低速）、M（中速）、H（高速）から選択する。	42
	M		
	H		
フォーカスP.スピード**	L	レンズのフォーカスプリセットのスピードをL（低速）、M（中速）、H（高速）から選択する。	47
	M		
	H		
クリアスキャン		パソコンの画面を撮影するときに選択する（選択範囲60.0～202.5）。	89
セルフタイマー	入	セルフタイマーを使う。	98
	切	セルフタイマーを使わない。	
インターバルタイマー	入	インターバルタイマーを使う。	96
	切	インターバルタイマーを使わない。	
インターバル時間	**30秒**	撮影する時間と待機している時間の合計を選択する。	
	1分		
	5分		
	10分		
インターバル記録時間	**0.5秒**	撮影する時間を選択する。	
	1秒		
	1.5秒		
	2秒		

＊24pでは選択できません。
＊＊フォーカスプリセット機能のあるレンズを使用しているときに選択できます。

サブメニュー項目	設定内容		意味	📖
カスタムプリセット				
プリセット設定	プリセット選択	**1 PRESET_A**	設定するプリセットを選択する。	83
		2 PRESET_B		
		3 PRESET_C		
	プロテクト🔑/リセット	**キャンセル**	プロテクトまたはリセットをしない。	
		プロテクト🔑	プリセット設定のプロテクトを設定／解除する。	
		リセット	プリセット設定を初期状態に戻す。	
	ガンマ	**ビデオ**	ビデオの映像に最適なガンマカーブにする。	
		シネマ	映画の画面のような映像にするガンマカーブにする。	
	ニー	ハイ	ニー設定を選択する。	
		ミドル		
		ロー		
	ブラック	ストレッチ	ブラック調整を選択する。	
		ミドル		
		プレス		
	カラーマトリクス	**ビデオ**	カラーマトリクスを選択する。	
		シネマ		
	カラーゲイン		カラーゲインを調整する。	
	色相		色相を調整する。	
	Rゲイン		Rゲインを調整する。	
	Gゲイン		Gゲインを調整する。	
	Bゲイン		Bゲインを調整する。	
	Vディテール	**ノーマル**	垂直方向の解像度を選択します。	
		ロー		
	シャープネス		シャープネスを調整する。	
	コアリング		コアリングを調整する。	
	セットアップレベル		セットアップレベルを調整する。	
	マスターペデスタル		マスターペデスタルを調整する。	
	NR	**切**	ノイズリダクションの設定を選択する。	
		ハイ		
		ミドル		
		ロー		
プリセット読み込み	プリセット選択	1 PRESET_A	読み込むプリセットを選択する。	87
		2 PRESET_B		
		3 PRESET_C		
	自動保存先選択		保存先選択画面へ。	
VCR設定				
録画モード	**SP**		SP（標準）モードで録画する。	–
	LP		LP（標準の1.5倍の録画時間）モードで録画する。 LPモードについて： ・LPモードでの録画／再生は、テープの特性や使用環境に影響されやすく、再生時、画面にモザイク状のノイズが発生したり、音声が途切れたりする場合があります。大切な撮影にはSPモードをお使いください。 ・本機でLPモードで録画したテープを他のデジタルビデオ機器で再生したり、ほかのデジタルビデオ機器でLPモードで録画したテープを本機で再生すると、画像が乱れたり、音声が途切れたりすることがあります。 ・テープの途中でSPとLPを切り換えて録画すると、切り換え部分で再生画像が乱れます。また、タイムコードが正しく更新されないことがあります。	
パワーセーブ	**シャットオフ**		撮影一時停止5分後に電源が切れる。	37
	VCRストップ		撮影一時停止5分後にレコーダー部が停止する。	
ユーザービット設定	**セット**		ユーザービットを設定する。ユーザービット設定画面へ。	54
	リセット		ユーザービット値を00 00 00 00にリセットする。	

次のページへ

メニュー一覧　カメラメニュー…つづき

サブメニュー項目	設定内容	意味	📖
オーディオ設定			
オーディオモード	**16bit**	音声を16bit 2チャンネルで記録する。	56
	12bit CH 1/2	音声を12bit 2チャンネルでチャンネル1、2に記録し、チャンネル3、4に記録しない。	
	12bit CH 1/2、CH 3/4	音声を12bit 4チャンネル同時に記録する。	
テストトーン	**切**	テストトーンを使わない。	95
	−12dB	−12dBのテストトーンを使用する。	
	−20dB	−20dBのテストトーンを使用する。	
音声モニター	**ノーマル**	撮影時の音声をそのまま出力する（画面とわずかなずれがでます。テープへの記録ではずれません）。	62
	ラインアウト	撮影時の音声を画面に同期させて出力する。	
リアマイクゲインアップ	**切**	リアにあるXLRバランス入力端子の入力信号をゲインアップしない。	60
	12dB	リアにあるXLRバランス入力端子の入力信号を12dBゲインアップする。	
表示設定／			
EVF調整	明るさ	ファインダーの明るさを調整する。SETボタンを上／下に押す。 ・画面の明るさ調整は再生または撮影している画像の明るさとは関係ありません。	24
	コントラスト	ファインダーのコントラストを調整する。SETボタンを上／下に押す。 ・画面のコントラスト調整は再生または撮影している画像のコントラストとは関係ありません。	
	カラー	ファインダーの色の濃さを調整する。SETボタンを上／下に押す。 ・画面の色の濃さ調整は再生または撮影している画像の色の濃さとは関係ありません。	
	シャープネス	ファインダーのシャープネスを調整する。SETボタンを上／下に押す。 ・画面のシャープネス調整は再生または撮影している画像のシャープネスとは関係ありません。	
センターマーカー	入	センターマーカーを表示する。	38
	切	センターマーカーを表示しない。	
オンスクリーン	**入**	画面の情報を本機に接続したテレビ画面に表示する。 ・モニターテレビで情報を確認しながら撮影するときに使います。リモコンのオンスクリーンボタンを押しても操作できます。	−
	切	画面の情報を本機に接続したテレビ画面に表示しない。	
レベルメーター	**入**	画面にオーディオレベルを表示する。	−
	切	画面にオーディオレベルを表示しない。	
ガイド	**切**	ガイド情報を画面に表示しない。	−
	カスタムキー	カスタムキーのガイド（設定）情報を画面に表示する。	90
	日時表示	日時情報を画面に表示する。	33、37
言語		画面に表示する言語を選ぶ。 ENGLISH（英語）、中文（簡体中国語）、**日本語** ・画面下の SET と MENU は変更しません。	−
日時スタイル		日時の表示のしかたを選ぶ。 例）**2004.1.1.AM12:00**、 1.JAN. 2004 12:00 AM、 JAN.1, 2004 12:00 AM	−
ユーザービット表示	入	設定したユーザービットを画面に表示する。	54
	切		

サブメニュー項目	設定内容	意味	📖
システム設定			
カスタムキー 1	**タイムコード**	カスタムキー1で使用する機能を選択する。カスタムキー1を使用しないときは、「未設定」を選んでください。	90
	インデックス記録		
	ゼブラパターン		
	VCRストップ		
	オンスクリーン		
	ハンドルズームスピード		
	レベルメーター		
	（未設定）		
カスタムキー 2	タイムコード	カスタムキー2で使用する機能を選択する。カスタムキー2を使用しないときは、「未設定」を選んでください。	
	インデックス記録		
	ゼブラパターン		
	VCRストップ		
	オンスクリーン		
	ハンドルズームスピード		
	レベルメーター		
	（未設定）		
リモコンコード	**1**	リモコンコードが「1」に設定されたリモコンの操作を受け付ける。	111
	2	リモコンコードが「2」に設定されたリモコンの操作を受け付ける。	
	切	リモコンの信号を受け付けない。	
録画ランプ	**入**	本機のテープに記録中、録画ランプが点滅する。	36
	切	本機のテープに記録中、録画ランプが点滅しない。 ・録画ランプを「切」にしていても、リモコンを受光すると点灯します。	
エリア/サマータイム		世界時計のエリアを設定する。	32
日時設定		日時を設定する。	33
表示文字記録	入	画面上の文字も記録する。	–
	切	画面上の文字を記録しない。	
DVコントロール	入	DVコントロール機能を使用する。	99
	切	DVコントロール機能を使用しない。	

次のページへ

メニュー一覧…つづき

VCRメニュー

サブメニュー項目	設定内容	意味	📖
タイムコード			
フレーム設定	**ドロップ**	ドロップ方式でタイムコードを記録する。	52
	ノンドロップ	ノンドロップ方式でタイムコードを記録する。	
カウントアップ方式	**レックラン**	本機のテープに記録している間だけ、タイムコードが歩進する。	
	レックランプリセット	スタート値設定画面へ。	
	フリーラン	本機の操作に関係なく、タイムコードが歩進する。 スタート値設定画面へ。	
スタート値設定	**セット**	タイムコードを設定する。スタート値設定画面へ。	
	リセット	タイムコードを00:00:00:00にリセットする。	
VCR設定			
録画モード	**SP**	SP（標準）モードで録画する。	–
	LP	LP（標準の1.5倍の録画時間）モードで録画する。 LPモードについて： ・LPモードでの録画／再生は、テープの特性や使用環境に影響されやすく、再生時、画面にモザイク状のノイズが発生したり、音声が途切れたりする場合があります。大切な撮影にはSPモードをお使いください。 ・本機でLPモードで録画したテープを他のデジタルビデオ機器で再生したり、ほかのデジタルビデオ機器でLPモードで録画したテープを本機で再生すると、画像が乱れたり、音声が途切れたりすることがあります。 ・テープの途中でSPとLPを切り換えて録画すると、切り換え部分で再生画像が乱れます。また、タイムコードが正しく更新されないことがあります。	
AV→DV	入	アナログ入力した映像と音声を、デジタル変換してDV端子から出力する。	118
	切	アナログ入力した映像と音声を、デジタル変換しない。	
ユーザービット設定	**セット**	ユーザービットを設定する。ユーザービット設定画面へ。	54
	リセット	ユーザービット値を00 00 00 00にリセットする。	
オーディオ設定			
音声選択	**CH 1/3 /CH 2/4**	音声出力の組み合わせを選択する。	104
	CH 1/3 /CH 1/3		
	CH 2/4 /CH 2/4		
ミックス選択	バリアブル	CH1/2とCH3/4の音声バランスを選択する。	105
	1：1		
オーディオモード	**16bit**	音声を16bit 2チャンネルで記録する。	56、114
	12bit CH 1/2	音声を12bit 2チャンネルでCH1、2に記録する。	
	12bit CH 1/2 、CH 3/4	音声を12bit 4チャンネル同時に記録する。	
リアマイクゲインアップ	**切**	リアにあるXLRバランス入力端子の入力信号をゲインアップしない。	58、60
	12dB	リアにあるXLRバランス入力端子の入力信号を12dBゲインアップする。	
表示設定/💬			
EVF調整	明るさ	ファインダーの明るさを調整する。SETボタンを上／下に押す。 ・画面の明るさ調整は再生または撮影している画像の明るさとは関係ありません。	24
	コントラスト	ファインダーのコントラストを調整する。SETボタンを上／下に押す。 ・画面のコントラスト調整は再生または撮影している画像のコントラストとは関係ありません。	

サブメニュー項目	設定内容	意味	📖
EVF調整	カラー	ファインダーの色の濃さを調整する。SETボタンを上／下に押す。 ・画面の色の濃さ調整は再生または撮影している画像の色の濃さとは関係ありません。	24
	シャープネス	ファインダーのシャープネスを調整する。SETボタンを上／下に押す。 ・画面のシャープネス調整は再生または撮影している画像のシャープネスとは関係ありません。	
オンスクリーン	入	画面の情報を本機に接続したテレビ画面に表示する。 ・モニターテレビで情報を確認しながら撮影するときに使います。リモコンのオンスクリーンボタンを押しても操作できます。	–
	切	画面の情報を本機に接続したテレビ画面に表示しない。	
レベルメーター	**入**	画面にオーディオレベルを表示する。	–
	切	画面にオーディオレベルを表示しない。	
再生時文字表示	**入**	再生時に画面に文字表示が出る。	–
	切	画面の再生時にデータコード以外の画面の文字を消す。 ・操作中は表示が出て、操作が終わると2秒後に消えます。 ・画面のデータコード以外の文字を消すと、一部の警告文を除き、接続しているテレビの画面上の文字も消えます。	
日付オート表示	入	テープの再生を始めたとき、または再生中に日付／エリアが変わったときに約6秒間日付を表示する。 ・「再生時文字表示」が「切」になっていても、日付は約6秒間表示します。	–
	切	（約6秒間の）日付表示をしない。	
データコード	**日時**	データコードボタンを押すと、日時のみ表示する。	109
	カメラデータ	カメラデータを表示する。	
	日時＆カメラデータ	日時とカメラデータを表示する。	
日時選択	日付	「データコード」で「日時」を選択したとき、日付を表示する。	109
	時刻	「データコード」で「日時」を選択したとき、時刻を表示する。	
	日付＆時刻	「データコード」で「日時」を選択したとき、日付と時刻を表示する。	
カスタムキー	入	設定したカスタムキーの機能を表示するかどうかを選択する。	90
	切		
言語		画面に表示する言語を選ぶ。 ENGLISH（英語）、中文（簡体中国語）、**日本語** ・画面下の SET と MENU は変更しません。	–
日時スタイル		日時の表示のしかたを選ぶ。 例）**2004.1.1.AM12:00**、 1.JAN. 2004 12:00 AM、 JAN.1, 2004 12:00 AM	–
ユーザービット表示	入	設定したユーザービットを画面に表示する。	55
	切		
システム設定			
カスタムキー 1	タイムコード	カスタムキー1で使用する機能を選択する。カスタムキー1を使用しないときは、「未設定」を選んでください。	90
	オンスクリーン		
	データコード		
	レベルメーター		
	（未設定）		
カスタムキー 2	タイムコード	カスタムキー2で使用する機能を選択する。カスタムキー2を使用しないときは、「未設定」を選んでください。	
	オンスクリーン		
	データコード		
	レベルメーター		
	（未設定）		

その他

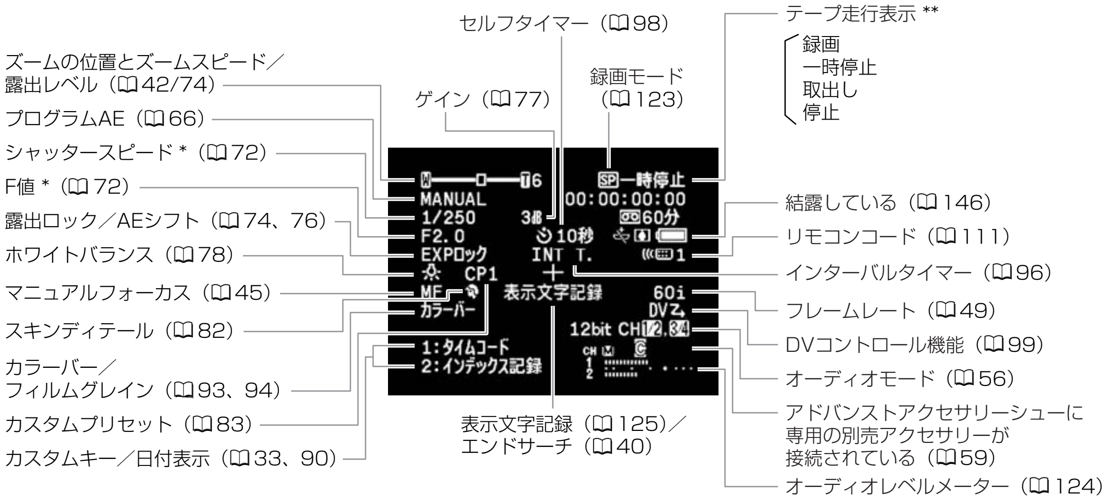
次のページへ

メニュー一覧　VCRメニュー…つづき

サブメニュー項目	設定内容	意味	📖
リモコンコード	1	リモコンコードが「1」に設定されたリモコンの操作を受け付ける。	111
	2	リモコンコードが「2」に設定されたリモコンの操作を受け付ける。	
	切	リモコンの信号を受け付けない。	
録画ランプ	**入**	本機のテープに記録中、録画ランプが点滅する。	36
	切	本機のテープに記録中、録画ランプが点滅しない。 ・録画ランプを「切」にしていても、リモコンを受光すると点灯します。	
エリア/サマータイム		世界時計のエリアを設定する。	32
日時設定		日時を設定する。	33

画面表示について

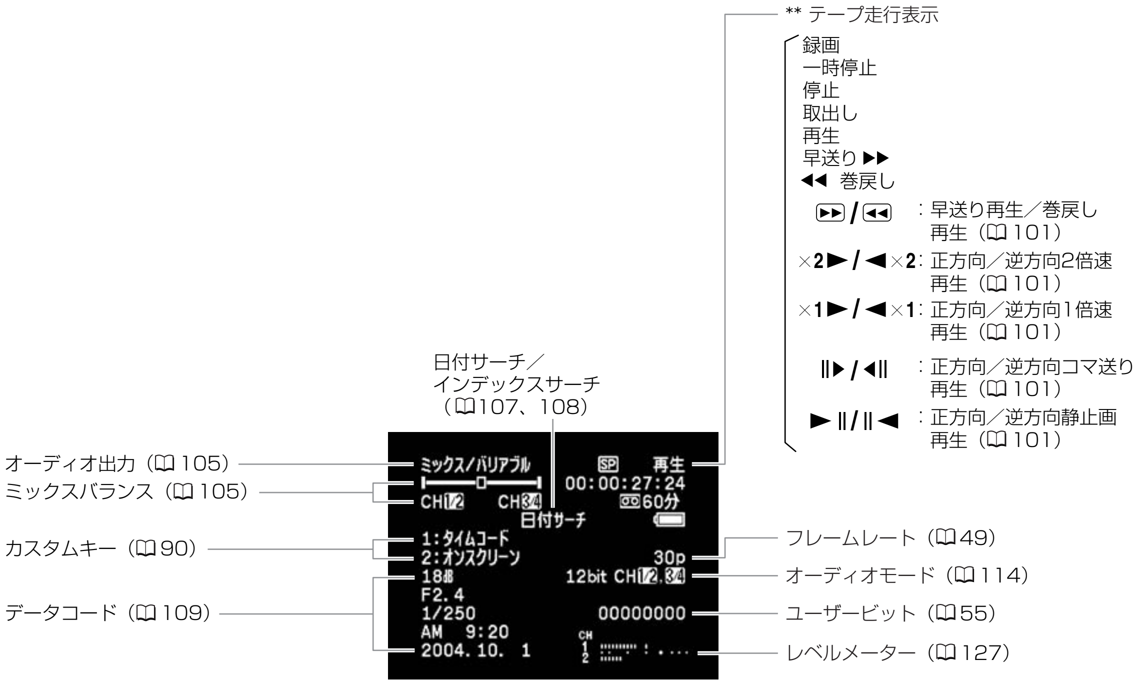
カメラモード　（36ページもご覧ください）



＊マニュアルモードの場合

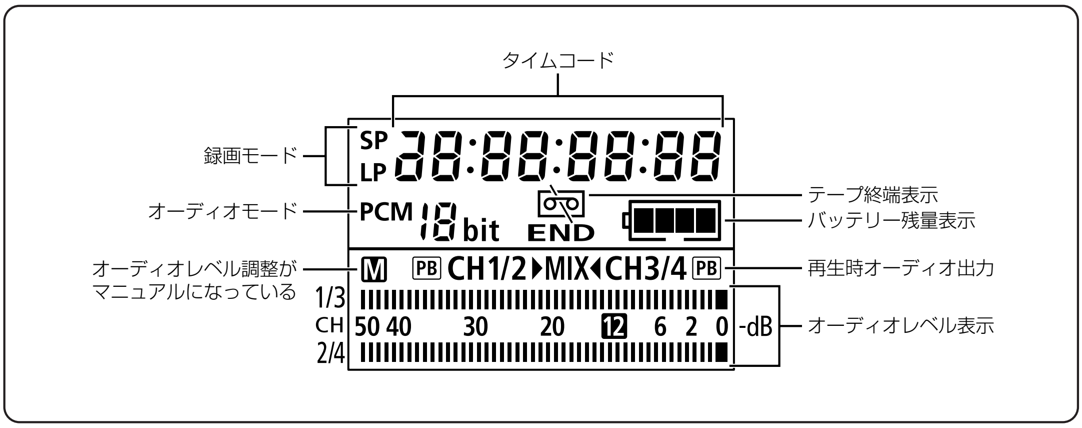
再生するときの表示

VCRモード



次のページへ

画面表示について …つづき



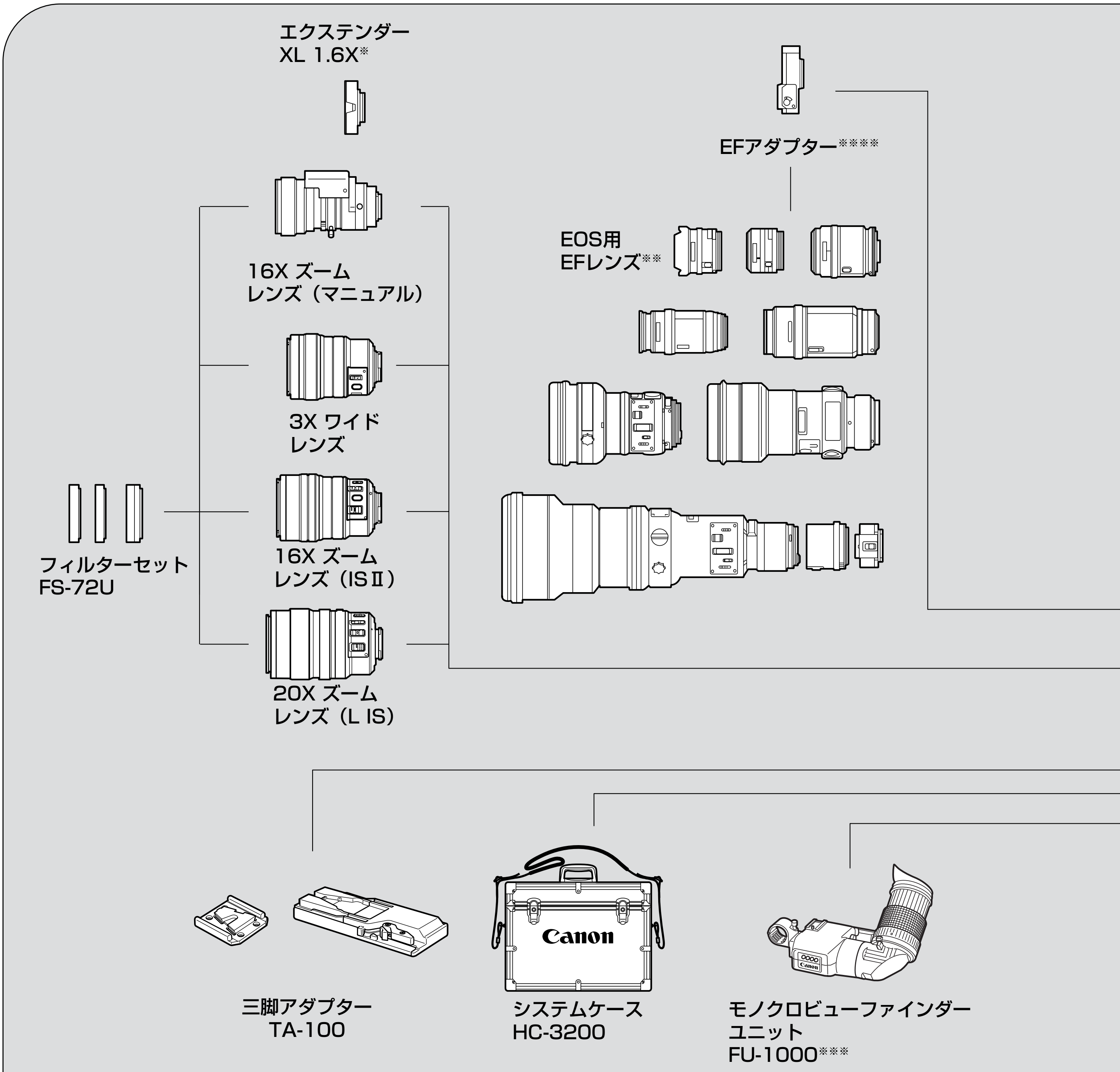
お知らせ表示(約4秒間表示されます)

エリア／日時を設定してください	世界時計のエリアまたは日時を設定していません。世界時計のエリアと日時を設定してください（□32)。
バッテリーパックを取り替えてください	バッテリーパックが消耗しています。十分に充電されたバッテリーと交換してください（□17)。
カセットの誤消去防止ツマミを確認してください	カセットが録画できない状態になっています。別のカセットと入れ換えるか、カセットの誤消去防止つまみをRECに切り換えてください（□29)。
カセットを取り出してください	テープ保護のため、本機が動作を中止しました。カセットを取り出して最初から操作をやり直してください（□29)。
入力を確認してください	ＤＶケーブルがＤＶ端子にきちんと接続されていない、または接続されたデジタルビデオ機器の電源が切れています。 ケーブルと端子、電源を確認してください（□116)。
結露しています	ビデオカメラ内部に水滴がついています（□146)。
テープ終了です	テープが最後まで巻かれています。カセットを巻戻す、または取り出してください（□29、101)。
クリーニングカセットを使ってください [ヘッドよごれ]	録画を開始した直後、ビデオヘッドが汚れているときに表示されます。必ずビデオヘッドのクリーニングをしてください（□140)。
パワースタンバイします	STANDBYボタンを押している1秒間表示されます。（□37）
レンズの接続を確認してください	レンズが正しく取り付けられていないときに表示されます。 レンズはカチッと音がするまで回して取り付けてください。（□26）または、電源を切ってから、レンズを取り付け直し、もう一度電源を入れてください。

著作権保護信号

コピー禁止テープです 再生できません	(本機が再生側の場合) 著作権保護信号が記録されているテープを再生した場合、青い画面上に表示されます。この表示が出るテープは再生できません。
コピー禁止です	(本機が録画側の場合) 著作権保護信号が記録されているテープをダビング録画しようとした場合に、青い画面上に表示されます。この表示が出るテープは記録できません。また、アナログ入力時に、テレビやビデオから出力される信号が乱れている場合にも表示されることがあります（□114、116)。 アナログ−デジタル変換時は、動作中、表示され続けます（□118)。

キヤノンビデオシステム

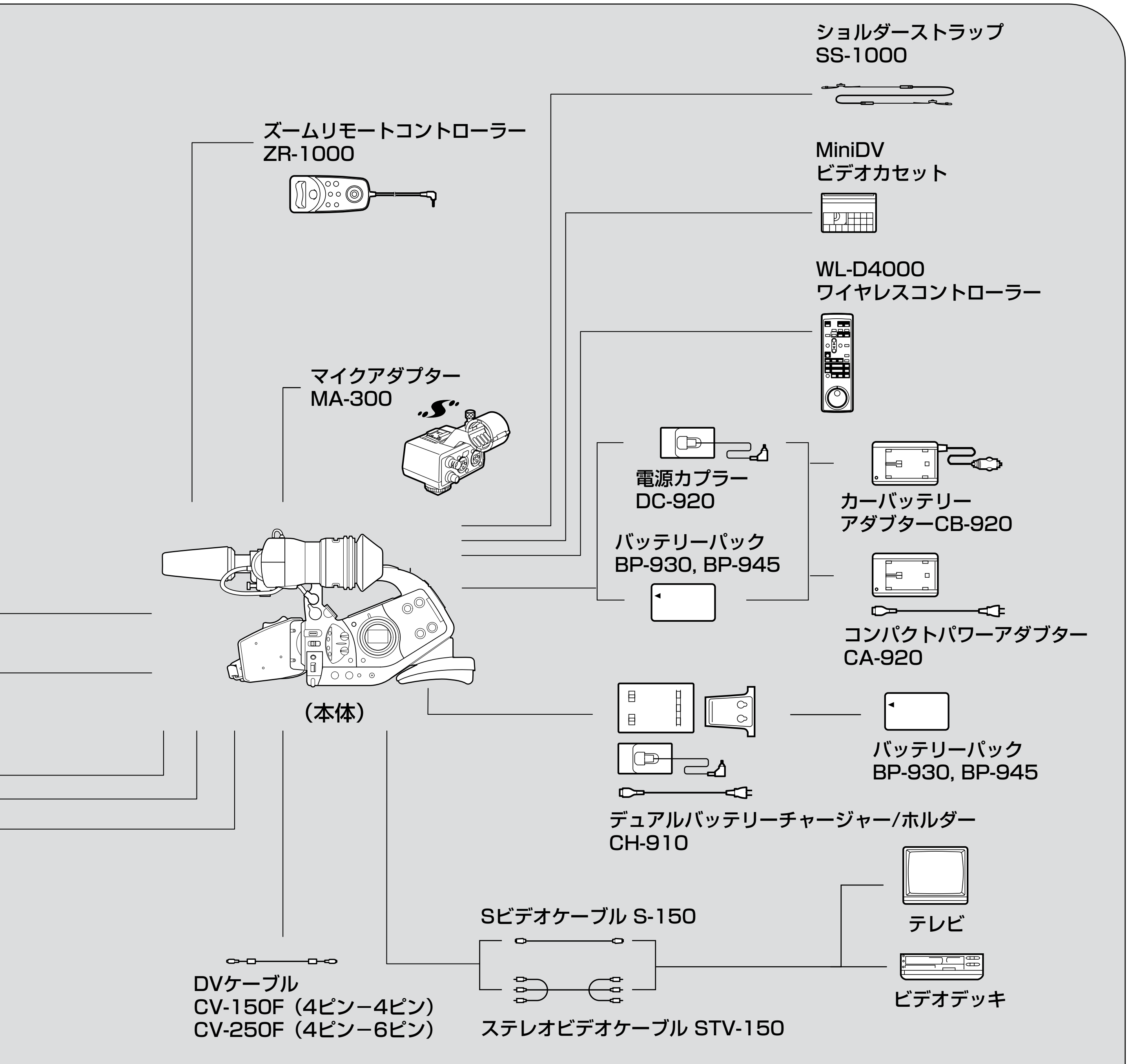


※20X L ISズームレンズ、16Xズームレンズ（ISⅡ）、16Xズームレンズ（マニュアル）に使用可。

※※EF-Sレンズは使用できません。

※※※XL2とモノクロビューファインダーユニットFU-1000を組み合わせた場合、コンパクトパワーアダプターCA-920または別売のカーバッテリーアダプターCB-920を電源として使用できます。FU-1000に付属のバッテリーアダプターは使用しません。電源カプラーを直接XL2に取り付け、コンパクトパワーアダプター/カーバッテリーアダプターと接続してください。

※※※※EFレンズをXL2に装着した場合、35mmフィルム換算時の焦点距離は以下のようになります。
4：3時　約9.6倍
16：9時　約7.8倍



アクセサリーはキヤノン純正品のご使用をおすすめします。

本製品は、キヤノン純正の専用アクセサリーと組み合わせて使用した場合に最適な性能を発揮するように設計されておりますので、キヤノン純正アクセサリーのご使用をおすすめいたします。なお、純正品以外のアクセサリーの不具合（例えばバッテリーパックの液漏れ、破裂など）に起因することが明らかな、故障や発火などの事故による損害については、弊社では一切責任を負いかねます。また、この場合のキヤノン製品の修理につきましては、保証の対象外となり、有償とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

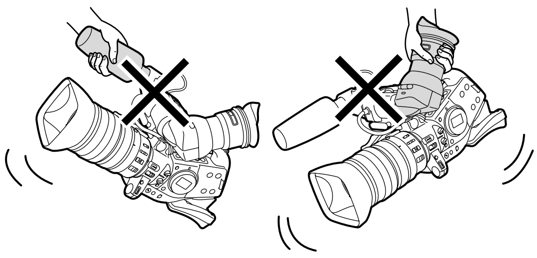
このマークは、キヤノンのビデオ関連商品の純正マークです。キヤノンのビデオ機器をお求めの際は、同じマークもしくはキヤノンビデオ関連商品をおすすめします。

記載内容は2004年8月現在のものです。

取り扱い上のご注意

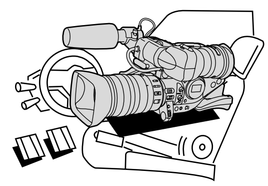
ビデオカメラについて

ファインダーやマイクをつかんで、本機を持ち上げない



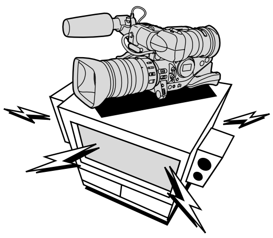
高温、多湿の場所に放置しない

炎天下の密閉された車内など、高温や多湿の場所に製品を放置しないでください。



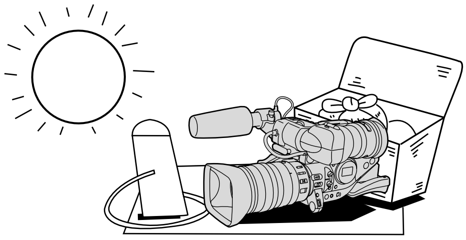
強い磁気の発生する場所で使わない

テレビの上、携帯電話の近くやテレビ塔の近くなど、強い電波や磁気を発生する場所での撮影や操作は避けてください。映像や音声が乱れたり、ノイズが入ることがあります。



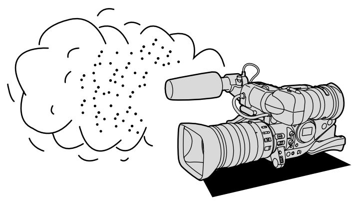
太陽や強いライトにレンズやファインダーを向けない

レンズやファインダーの接眼レンズは、絶対に太陽や強いライトに向けないでください。また輝度差の大きな被写体にカメラを向けたまま放置しないでください。



ホコリや砂の多い場所では使わない

ホコリや砂のつきやすい場所での使用、保存は避けてください。砂が本機やビデオカセット内部に入ると故障の原因となることがあります。また、レンズにホコリや砂がつくのを防止するため、使用後は必ずレンズキャップを付けてください。

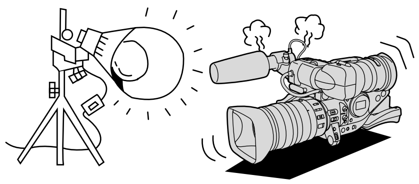


水や泥、塩分に注意する

本機は防水構造になっていません。水や泥、塩分などが本機やビデオカセット内部に入ると故障の原因となることがあります。

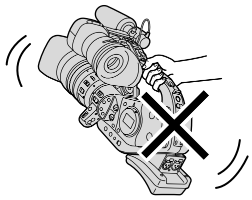
照明器具に注意する

照明器具を使うときは、器具から発生する熱に十分注意してください。



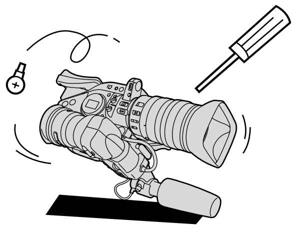
ハンドルを持って運ぶときは振り回したりしない

ぶつけたりすると故障の原因となります。



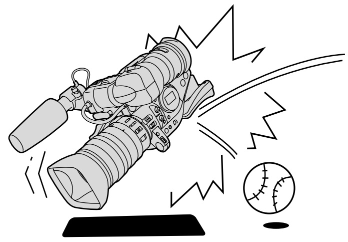
分解しない

分解して内部に触れないでください。正常に作動しないときは、キヤノンサービスセンターにご相談ください。



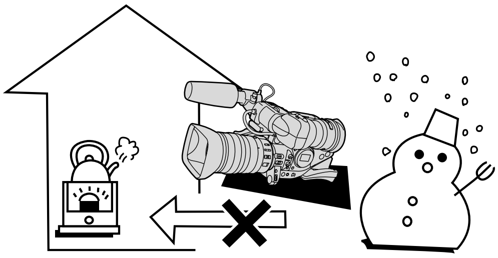
振動や衝撃を与えない

強い振動や衝撃は故障の原因になります。製品はていねいに取り扱ってください。



極端な温度差にさらさない

寒い場所で使った製品を急に暖かい室内に持ち込むと、製品内部に水滴（結露）が生じることがあります。温度差のある場所へ移動するときは、事前にカセットを本体から取り出してください。万一、結露が起きたときは、「結露について」（🕮 146）の指示に従ってください。



次のページへ

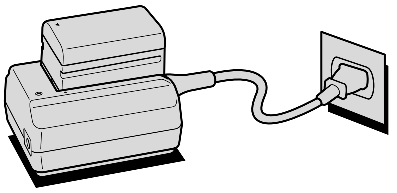
取り扱い上のご注意…つづき

バッテリーパックについて

このバッテリーパックは、リチウムイオン電池を使用しておりますので、充電する前に使い切ったり、放電する必要はありません。いつでも充電できます。

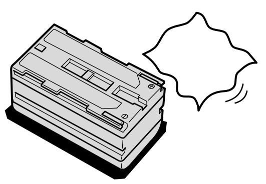
必ず充電してから使う

バッテリーパックは、出荷時に少し充電してありますので、ビデオカメラなどの動作確認ができます。長時間使用する場合や、動作確認ができない場合には、バッテリーを充電してから、お使いください。



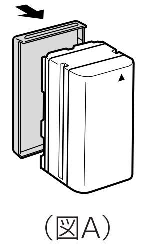
端子はいつもきれいにしておく

バッテリーパック、充電器、ビデオカメラの⊕、⊖などの端子は常にきれいにしておいてください。使わないときは、ショート端子用カバーを取り付けてください。また、接触不良、ショート、破損の原因となりますので、端子の間に物が入り込まないようにしてください。

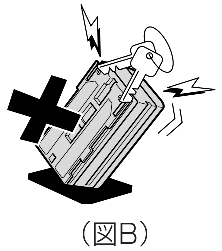


持ち運びや保存の際は、必ず付属のショート防止用端子カバーを取り付ける（図A）

キーホルダーなどの金属で⊕と⊖の端子をショートさせると（図B）、バッテリーパックの破損の原因となることがあります。



（図A）



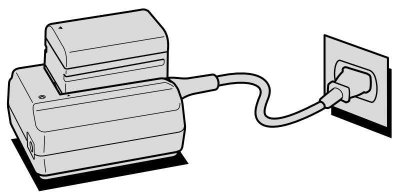
（図B）

充電は使用直前にする

充電しておいたバッテリーパックも内部の化学変化によって、少しずつ自然に放電してしまいます。使用する当日または前日に充電することをおすすめします。

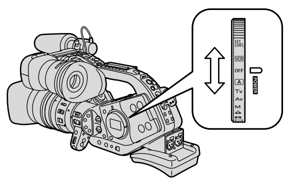
充電完了まで充電した状態で保管するとバッテリーパックの寿命を縮めたり、性能の低下の原因となることがあります。

長い時間ビデオカメラを使用しないときは、画面に「バッテリーパックを取りかえてください」が出るまでバッテリーパックを使ってから、取りはずして保管することをおすすめします。



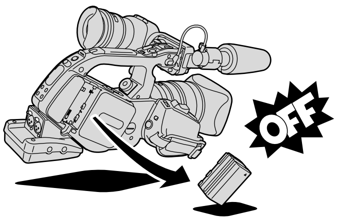
こまめに電源を切って使う

- 撮影中はもちろん、撮影一時停止中でもバッテリーパックは消耗します。こまめに電源を切ることが、使用時間を長くさせるコツです。
- バッテリーパックは0℃～40℃の範囲で使用できますが、性能を十分に発揮させるためには10℃～30℃で使用することをおすすめします。スキー場などでは、バッテリーパックの性能が一時的に低下し、使用時間が短くなります。ポケットなどに入れて温めてから使用すると効果的です。



使用しないときは、ビデオカメラから取りはずす

ビデオカメラにバッテリーパックを取り付けたままにしておくと、電源が切れていても少しずつバッテリーを消耗します。長い間ビデオカメラを使用しないときは、必ずバッテリーパックを取りはずして、湿度の低い、室温30℃以下の場所で保管してください。



充電したのに、バッテリーパックの使用時間が極端に短いときは

常温で使用している場合は、寿命と考えられます。新しいバッテリーパックをお求めください。

バッテリーパックを長時間使用しない場合でも、機能を維持するために、次のことをおすすめします

- 湿度の低い室温で保管する。
- 1年に1回程度、充電完了まで充電してから、ビデオカメラに取り付け、画面に「バッテリーを取りかえてください」が出るまでバッテリーパックを使う。複数のバッテリーパックをお持ちの場合、同時期に行う。

- この製品には、リチウムイオン電池を使用しています。
- リチウムイオン電池はリサイクル可能な貴重な資源です。
- リチウムイオン電池の回収・リサイクルについては、下記のキヤノンホームページで確認できます。
  キヤノン サポートページ　http://canon.jp/support
- 交換後不要になった電池は、ショートによる発煙、発火の恐れがありますので、端子を絶縁するためにテープを貼るか、個別にポリ袋に入れてリサイクル協力店にある充電式電池回収BOXに入れてください。
- リサイクル協力店のお問い合わせは、以下へお願いします。
  - ビデオカメラ、リチウムイオン電池をご購入いただいた販売店
  - (社)電池工業会　小形二次電池再資源化推進センター及び充電式電池リサイクル協力店くらぶ事務局*

  * (社)電池工業会　電話番号 03-3434-0261

Li-ion

その他

次のページへ

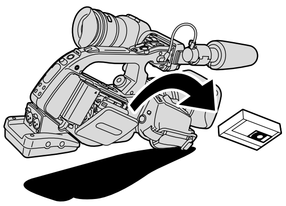
取り扱い上のご注意…つづき

ビデオカセットについて

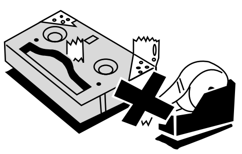
カセットは使用後、必ず巻戻す
テープがたるんで傷み、テープに記録した映像や音声が劣化する原因となります。

カセットはケースに入れて、立てて保管する

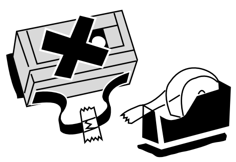
カセットを本体に入れたまま放置しない



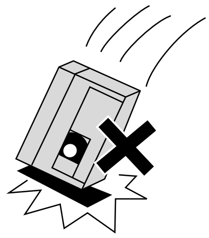
セロハンテープなどで、テープの穴をふさがない
カセットの裏面には、テープの種類などを検出する各種の穴があります。



テープをつなぎ合わせたカセットや規格外のカセットは使用しない
故障の原因となります。



カセットを落としたり、ぶつけたりして過度な衝撃を与えない
内部のテープがたるみ故障の原因となります。

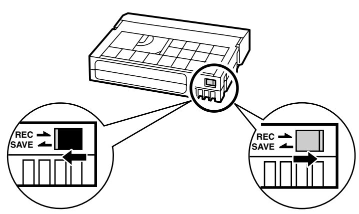


カセットを長期間保管するときは、時々巻き直す

傷のついたテープは使用しない
ヘッド汚れの原因となります。

金メッキ端子付きのカセットの場合は、カセットを十数回出し入れしたら、綿棒で金メッキ端子をきれいにする
本機は、カセットメモリー付きカセットのカセットメモリー機能には対応していません。

間違って消さないために
大切な映像を録画したカセットを誤って消去しないようにするには、カセットの背にある誤消去防止つまみを左に切り換え、SAVEにしてください。誤消去防止つまみを右に戻せば、再び録画できます。
・カメラモードのときに、録画できない状態のカセットを本体に入れると、画面に「カセットの誤消去防止ツマミを確認してください」が4秒間点灯し、その後「」が赤く点滅します。



SAVE (録画できない)　REC (録画できる)

コイン型リチウム電池について

プラス（+）とマイナス（−）を確認して、正しく入れる

接触不良を防ぐため、電池を乾いた布で拭いてから入れる

金属のピンセットなどでつかまない

ショートします。

分解や加熱をしたり、水の中に入れたりしない

破裂する恐れがあります。また、捨てるときは、燃えないゴミとして、適宜処理してください（地域によって異なります）。

その他

ビデオヘッドをクリーニングする

画面に「クリーニングカセットを使ってください［ヘッドよごれ］」と出ることがあります。また、テレビ番組はきれいに写るのに、ビデオでテープを再生すると画面がおかしくなったり、画像全体が青くなったりすることがあります。これは、ビデオヘッドの汚れが原因です。きれいな画像を撮影したり見たりするために、市販の乾式のヘッドクリーニングカセットを使って、こまめにビデオヘッドをきれいにしてください。

正常な画像



ビデオヘッドが汚れているときの画像



ヘッドクリーニングするときは

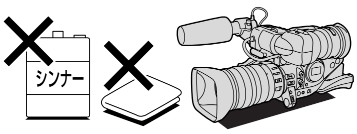
❍ 湿式のクリーニングカセットは使用しないでください。故障の原因となることがあります。
❍ ヘッドが汚れた状態で録画したテープは、ヘッドクリーニング後にも正常に再生できない場合があります。

日常のお手入れ／保管上のご注意

大切なビデオカメラやビデオカセットをより長くお使いいただくために、日常のお手入れや保管方法には十分注意してください。

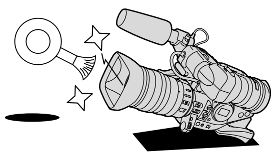
お手入れ

製品の汚れは乾いたやわらかい布で軽くふいてください。化学ぞうきんやシンナーなどの使用は、製品を傷めることがあるのでおやめください。



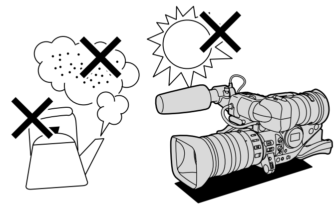
レンズはいつもきれいに

レンズの表面にホコリや汚れが付いていると、オートフォーカスがうまく動作しないことがあります。レンズを常にきれいに保つようにしてください。最初にブロアーでレンズ表面のゴミ、ホコリを取り除き、それから汚れをふき取るようにしてください。



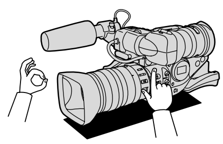
長期間使わないときは

製品を長期間ご使用にならない場合は、ホコリが少なく、湿度の低い、30℃以下の場所に保管してください。



各部のチェック

長期間使わなかった後のご使用や、重要な撮影の前には、各部の動作をチェックしてください。

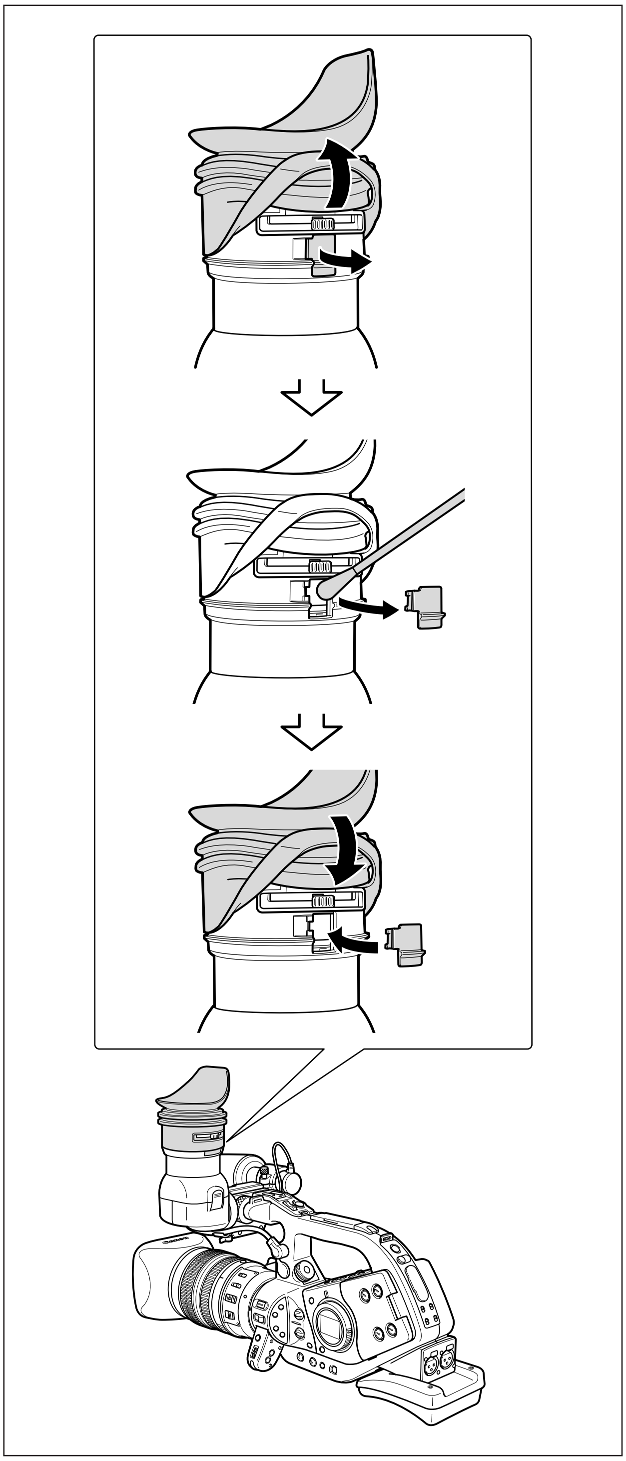


液晶画面について

・汚れたときは市販の眼鏡クリーナー（布製）などで拭いてください。
・温度差の激しいところでは、液晶画面に水滴がつくことがあります。柔らかい乾いた布で拭いてください。

ファインダーのお手入れ

ファインダー内部のゴミを取り除く



❶ アイカップを持ち上げ、－ドライバーなどで保護カバーを取りはずす

❷ 綿棒を差し込み、ゴミを取り除く

❸ 保護カバーを取り付ける



ファインダーの接眼レンズは傷つきやすいので、ご注意ください。

トラブルシューティング

故障かな？と思っても、修理に出す前にもう一度確認してください。
特にほかの機器と接続しているときは、ケーブルの接続も確認してください。点検しても直らないときは、お買上げの店、またはキヤノンサービスセンターにご相談ください。

	こんなときには	考えられる原因	どうするの？	参照ページ
電源	**電源が入らない。**	バッテリーパックが正しく装着されていない。	バッテリーパックを正しく装着し直す。	17
電源	**途中で電源が切れる。**	撮影一時停止状態が5分以上続いた。	もう一度電源を入れる。	37
電源	**ファインダーがついたり消えたりをくり返す。**	バッテリーパックが消耗している。	十分に充電したバッテリーパックと交換する。	17
撮影時・再生時	**操作ボタンを押しても動かない。**	カセットが入っていない。	カセットを入れる。	29
撮影時・再生時	**電源ランプが点滅しファインダーに“”が点滅する。**	ビデオカメラの内部に水滴が付いた。	結露の項目をご覧ください。	146
撮影時・再生時	**電源ランプが点滅しファインダーに“カセットを取り出してください”が点滅する。**	保護機能が働いている。	カセットを一度取り出して、入れ直す。	29
撮影時・再生時	**リモコンが動作しない。**	本機とリモコンのリモコンコードが異なるかメニューでリモコンセンサーを止めている（画面に「」が出ている）。	メニューでリモコンコードを「1」または「2」にする。	111
撮影時・再生時		リモコンの電池が消耗した。	新しい電池と交換する。	28

次のページへ

トラブルシューティング…つづき

	こんなときには	考えられる原因	どうするの？	参照ページ
撮影時	**ファインダーに映像が映らない。**	メインダイヤルがカメラモードになっていない。	メインダイヤルをカメラモードにする。	36
	「エリア／日時を設定してください」が表示される。	世界時計のエリアまたは日時が設定されていないか、コイン型リチウム電池が入っていないか消耗している。	世界時計のエリアと日時を設定するか、新しいコイン型リチウム電池CR2025と交換する。	32, 20
	スタート／ストップボタンを押しても、録画しない。	カセットが入っていない。	カセットを入れる。	29
		メインダイヤルがカメラモード以外になっている。	メインダイヤルをカメラモードにする。	36
		ハンドルのロックレバーがロックになっている。	左にスライドさせ、ロックを解除する。（ロックしているとオレンジ色が見えます）	36
	ピントが合わない。	ピントの自動調整が苦手な被写体である。	マニュアルでピントを合わせる。	45
		ファインダーの視度が合っていない。	視度調整レバーで画像がはっきり見えるように調整する。	23
		レンズが汚れている。	最初にブロアーでレンズ表面のゴミ、ホコリを吹き除いた後で、レンズを傷付けないように、乾いた柔らかい布で軽く拭いて、汚れを取り除く。（ティッシュペーパーで拭くのはなるべく避けてください。）	141
	録画ランプが点滅しない。	メニューで録画ランプ「切」を選んだ。	メニューで録画ランプを「入」にする。	125
	キラキラ光っていたり、極端に明るい被写体(一部に高輝度な部分がある被写体)を撮影すると、縦に白い帯が出る。	CCDのスミア現象で故障ではありません。	Avモードで、F5.6〜F8.0で撮影してください。	70
	ファインダーの画像がはっきりしない。	視度調整レバーで調整していない。	視度調整レバーで調整する。	23
	音声が記録されない	INPUT SELECTスイッチが正しい位置になっていない。	正しい位置にする。	57, 59
		REC LEVELスイッチがM（マニュアル）になっていて、入力レベルをしぼっている。	レベルメーターで確認しながら適正なレベルにする。	62

	こんなときには	考えられる原因	どうするの？	参照ページ
撮影時	**音声が極端に小さい**	リア端子から入力しているマイクがファンタム電源で+48VスイッチがOFFになっている。	+48VスイッチをONにする。	58, 60
		ATT.スイッチがATT.になっている。	ATT.スイッチをOFFにする。	57, 58, 60
再生時	**再生ボタンを押しても再生しない。**	電源が入っていない、またはVCR以外になっている。	メインダイヤルを「VCR」にする。	100
		カセットが入っていない。	カセットを入れる。	29
	テープは回っているが、テレビに再生画像が出ない。	ビデオヘッドが汚れている。	市販の乾式のヘッドクリーニングカセットでビデオヘッドをクリーニングする。	140
		コピー禁止テープを再生またはダビング録画しようとしている。	再生またはダビング録画を中止してください。	114, 131
その他	**手ぶれ補正機能付きレンズ使用時：レンズ内部に気泡ができる。**	ごくまれに飛行機や高い山などでは、レンズ内部に気泡が発生することがありますが、故障ではありません。気泡は、通常約1週間程度で消えますが、気圧や使用状況により変わります。		–

本機はマイコンを使用した機器です。外部からの雑音や妨害ノイズ、静電気などにより、ファインダーに通常出ない文字が出たり、正常に動作しないことがあります。このような場合は、電源およびコイン型リチウム電池をいったん取り外し、しばらくしてから取り付け直して、操作をしてください。

液晶画面について

液晶画面は精密度の高い技術で作られています。99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものがあります。

低照度下での撮影について

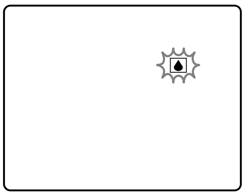
低照度下で、スローシャッターやゲインを上げて撮影しているときに、CCDの構造上白く輝く点が見えることがあります。
このような場合は、シャッタースピードを速くするか、ゲインを下げる、またはビデオライトなどの補助光を使用して撮影してください。

次のページへ

トラブルシューティング…つづき

結露について
夏季、よく冷えたビールをコップに注ぐと、コップの表面に水滴がつくことがあります。この現象を結露といいます。ビデオカメラを結露した状態で使用すると故障の原因になりますので注意してください。

結露したときは？
電源ランプが点滅して、本機は自動的に停止します。ファインダーに「結露しています」が約4秒間表示され、が点滅します。カセットが入っている場合は、「結露しています」のあとで、「カセットを取り出してください」が表示され、が点滅します。

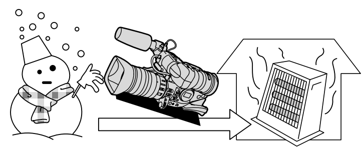


● カセットが入っている場合は、すぐに取り出して、カセット入れを開いたまま乾燥した所に置いてください（結露したときは、メインダイヤルでの電源の入／切とEJECTスイッチのみ働きます）。結露したときは、カセットを本体に入れようとしても入りません。

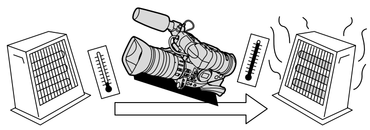
結露を防ぐためには
● 温度差のある場所へ急に移動するときは、事前にカセットを取り出し、ビデオカメラをビニール袋に入れて密閉してから移動します。ビデオカメラが移動先の温度と同じになってから袋から取り出すと、結露を防ぐことができます。

使い始めるには
水滴が消えるまでの時間は、周囲の環境によって多少異なりますが、約1時間程度です。電源を入れて、ファインダーのや電源ランプが点滅しなくなっても、念のためさらに1時間くらい放置してください。

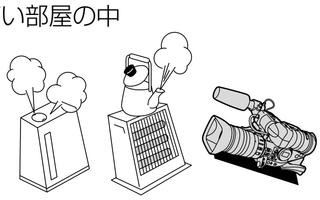
こんなときにはご注意
● 寒い所から急に暖かい所に移動したとき



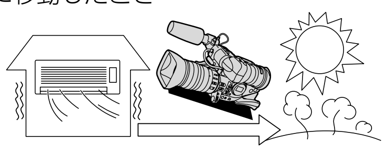
● 寒い部屋を急に暖房したとき



● 湿度の高い部屋の中



● 夏季、冷房のきいた部屋から急に温度や湿度の高い所に移動したとき



海外で使うとき

本製品は、海外でもお使いになれますが、次のことにご注意ください。

テレビでの再生

● 録画したビデオカセットを現地のテレビでご覧になる場合、日本国内で採用しているNTSC方式（カラー受信方式の1つ）で、映像／音声入力端子のついたテレビが必要になります。

NTSC方式は以下の国／地域で採用されています。
日本放送出版協会発行「世界のラジオとテレビジョン1988」による



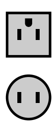
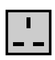
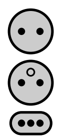
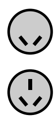
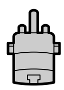
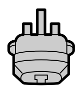
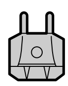
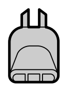
●アメリカ合衆国
●エクアドル
●カナダ
●キューバ
●グアム
●大韓民国
●チリ
●ドミニカ
●トリニダード・トバコ
●ニカラグア
●バミューダ
●プエルトルコ
●ベネズエラ
●ペルー
●米領サモア
●ボリビア
●グァテマラ
●グリーンランド
●コスタリカ
●コロンビア
●スリナム
●セントルシア
●ハイチ
●パナマ
●バハマ
●バラバドス
●ミャンマー
●フィリピン
●ホンジュラス
●ミクロネシア
●メキシコ
●台湾

バッテリーパックの充電

コンパクトパワーアダプターCA-920は、AC100〜240V 50/60Hzまでの電源に接続できます。ただし、電源コンセントの形状が異なる国／地域では、変換プラグアダプターが必要になります（1つの国の中でも地域によってコンセントの形状が異なる場合があります）。

変換アダプターについては、旅行代理店などで確認の上、あらかじめご用意ください。

■海外の電源コンセントの種類

タイプ	A	B	BF	C	S
コンセントの形状					
変換プラグ	不要です				

主な国名と使用するプラグの種類（参考資料）

●北米	
アメリカ合衆国	A
カナダ	A
●ヨーロッパ	
アイスランド	C
アイルランド	C
イギリス	B. BF
イタリア	C
オーストリア	C
オランダ	C
ギリシャ	C
スイス	C
スウェーデン	C
スペイン	A. C
デンマーク	C
ドイツ	C
ノルウェー	C
ハンガリー	C
フィンランド	C
フランス	C
ベルギー	C
ポーランド	B. C
ポルトガル	B. C
ルーマニア	C
●アジア	
インド	B. C. BF
インドネシア	C
シンガポール	B. BF
スリランカ	B. C. BF
タイ	A. BF. C
大韓民国	A. C
中華人民共和国	A. B. BF. C. S
ネパール	C
パキスタン	B. C
バングラディシュ	C
フィリピン	A. BF. S
ベトナム	A. C
香港特別行政区	B. BF
マカオ特別行政区	B. C
マレーシア	B. BF. C
●オセアニア	
オーストラリア	S
グアム	A
タヒチ	C
トンガ	S
ニュージーランド	S
フィジー	S
●中南米	
アルゼンチン	BF. C. S
コロンビア	A
ジャマイカ	A
チリ	B. C
ハイチ	A
パナマ	A
バハマ	A
プエルトルコ	A
ブラジル	A. C
ベネズエラ	A
ペルー	A. C
メキシコ	A
●中近東	
イスラエル	C
イラン	C
クウェート	B. C
ヨルダン	B. BF
●アフリカ	
アルジェリア	A. B.BF. C
エジプト	B. BF. C
カナリア諸島	C
ギニア	C
ケニア	B. C
ザンビア	B. BF
タンザニア	B. BF
南アフリカ共和国	B. C. BF
モザンビーク	C
モロッコ	C

保証書とアフターサービス

● 本機の保証は日本国内を対象としています。万一海外で故障した場合の現地でのアフターサービスはご容赦ください。

保証書

本体には保証書が添付されています。必要事項が記入されていることをお確かめのうえ、大切に保存してください。

アフターサービス

製品の保証について

1 本製品が万一故障したときは、本製品と保証書をご持参のうえ、ご購入いただいた販売店またはキヤノンサービスセンターにご相談ください。

2 保証期間内でも保証の対象にならない場合もあります。詳しくは保証書に記載されている保証内容のご案内をご覧ください。
保証期間はご購入日より１年間です。

3 保証期間経過後の修理は原則として有料となります。なお、運賃等の諸経費は保証期間内でもお客様にご負担いただくことがあります。

4 本製品などの不具合により録画されなかった場合の付随的損害（録画、録音に要した諸費用および得べき利益の損失など）については、保証致しかねます。

修理を依頼されるときは

5 修理品をご持参いただくときは、不具合の見本となるビデオカセットを添付するなどしたうえ、不具合の内容／修理箇所を明確にご指示ください。

補修用性能部品について

6 ビデオカメラ補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造の打ち切り後8年です。従って期間中は原則として修理をお受けいたします。なお、故障の原因や内容によっては、期間中でも修理が困難な場合と、期間後でも修理が可能な場合がありますので、その判断につきましてはご購入店、またはキヤノンサービスセンターにお問い合わせください。

修理料金について

7 修理料金は故障した製品を正常に修復するための技術料と修理に使用する部品代との合計金額からなります。

修理見積につきましては、窓口で現品を拝見させていただいてから概算をお知らせいたします。なお、お電話での修理見積依頼につきましては、おおよその仮見積になりますので、その旨ご承知おきください。

主な仕様（型式：XL2）

システム

録画方式：	回転2ヘッドヘリカルスキャン DV方式（民生用デジタルVCR　SD方式）
映像記録方式：	デジタルコンポーネント記録
音声記録方式：	PCMデジタル記録　16bit (48kHz/2ch) 12bit (32kHz/4ch)
信号方式：	NTSC方式準拠
使用可能ビデオカセット：	マークの付いたミニDVカセット
テープ速度：	約18.81mm／秒　（SPモード時） 約12.56mm／秒　（LPモード時）
録画／再生時間：	80分（80分テープ使用時／SPモード時） 120分（120分テープ使用時／LPモード時）
早送り／巻戻し時間：	約2分20秒（60分テープ使用時）
撮像素子：	1／3型CCD×3（水平画素ずらし方式）、 総画素数68万画素、有効画素数4:3 35万画素、16:9 46万画素
ビューファインダー：	カラー液晶ファインダー （2型、約20万画素、RGBデルタ配列）
マイク：	MS方式ステレオ、エレクトレットコンデンサーマイク
レンズマウント：	XLマウントシステム準拠
焦点調整：	TTL AF方式、フォーカスリングによる手動調節可 （20X L IS レンズ装着時）
色温度切り換え：	自動追尾型WB、セット、プリセット機能付き
最低被写体照度：	0.7ルクス（20X L ISレンズ装着時、60iモード、マニュアルモード、シャッター速度1/8秒、F1.6、ゲイン18dB）
推奨被写体照度：	100ルクス以上
被写体照度範囲：	0.7－10万ルクス

入・出力端子（レベル／インピーダンス）

S映像入出力端子：	4ピンミニDIN 輝度信号：1Vp-p／75Ω 色信号：0.286Vp-p／75Ω
映像入出力端子：	RCAピンジャック／BNCジャック 1Vp-p／75Ω　不平衡
音声出力端子：	RCAピンジャック（L、R）、2系統 －10dBv（47kΩ負荷時、フルスケール－12dB）／3kΩ以下、不平衡
音声入力端子：	
フロントマイク端子：	φ3.5mmステレオミニジャック（アンバランス） 感度：－55dBv（Auto Mode）/600Ω 最大感度：－67dBv(Manual Mode vol. Max) ATT：20dB
AUDIO 1、2端子：	RCA端子（アンバランス） 感度：－10dBv/47ｋΩ
リア端子	XLR端子（バランス）（①シールド、②ホット、③コールド） 感度：－54dBv (Auto Mode)/ 600Ω 最大感度1：－66dBv (Auto Mode/ REAR MIC Gain Up 12dB) 最大感度2：－66dBv (Manual Mode/ vol. Max) 最大感度3：－78dBv (Manual Mode /vol. Max + REAR MIC Gain Up 12dB) ATT：20dB
DV端子：	マルチコネクター、IEEE1394準拠
ヘッドホン端子：	φ3.5mmステレオミニジャック －23.5dBv（16Ω負荷時）／50Ω
LANC リモート端子：	φ2.5mmステレオミニミニジャック

電源／その他

電源電圧：	DC7.2V（公称）
消費電力：	約7.1W（録画中・AF合焦時、20X L IS レンズ装着時）
動作温度：	0℃－+40℃
外形寸法：	約225（幅）×220（高さ）×496（奥行）mm
撮影時総質量：	約3545g　（20X L IS レンズ、レンズフード、 バッテリーパックBP-930、コイン型リチウム電池、 ビデオカセット30分用含む）
本体質量：	約2410g

次のページへ

主な仕様（型式：XL2）…つづき

レンズ

本機に装着したときに、画角などが変わります。

	XL2装着時の画角		XL2装着時の至近距離画界	
	広角端	望遠端	広角端	望遠端
20Xズームレンズ（L IS）	37° 12'×27° 42'（4：3時） 48° 24'×27° 42'（16：9時）	1° 54'×1° 24'（4：3時） 2° 36'×1° 24'（16：9時）	44.1×32.0mm（4：3時） 60.0×32.0mm（16：9時） [至近距離20mm]	49.1×36.0mm（4：3時） 65.6×36.0mm（16：9時） [至近距離1m]
16Xズームレンズ（マニュアル）	37° 12'×27° 42'（4：3時） 48° 24'×27° 42'（16：9時）	2° 24'×1° 48'（4：3時） 3° 12'×1° 48'（16：9時）	55.6×40.2mm（4：3時） 75.7×40.2mm（16：9時） [至近距離50mm]	39.1×28.7mm（4：3時） 52.0×28.7mm（16：9時） [至近距離1m]
3Xワイドレンズ	56° 18'×42° 48'（4：3時） 71° 6'×42° 48'（16：9時）	20° 12'×14° 54'（4：3時） 26° 48'×14° 54'（16：9時）	54.6×40.0mm（4：3時） 72.8×40.0mm（16：9時） [至近距離20mm]	188.5×138.3mm（4：3時） 251.6×138.3mm（16：9時） [至近距離0.5m]
16Xズームレンズ（IS II）	36° 36'×27° 12'（4：3時） 47° 42'×27° 12'（16：9時）	2° 24'×1° 42'（4：3時） 3° 12'×1° 42'（16：9時）	41.9×30.4mm（4：3時） 57.1×30.4mm（16：9時） [至近距離20mm]	55.2×40.4mm（4：3時） 73.8×40.4mm（16：9時） [至近距離1m]

コンパクトパワーアダプター　CA-920

おもな仕様

電源	AC 100-240V、50/60Hz
出力電力／消費電力	アダプターモード時　　公称DC7.2V、2.0A
	35VA(AC 100V)～47VA(AC 240V)
	チャージモード時　　公称DC8.4V、1.5A
	29VA(AC 100V)～40VA(AC 240V)
使用温度	0℃～+40℃
外形寸法（幅×高さ×奥行き）	約75×51×99mm
本体質量	約215g

バッテリーパック　BP-930

おもな仕様

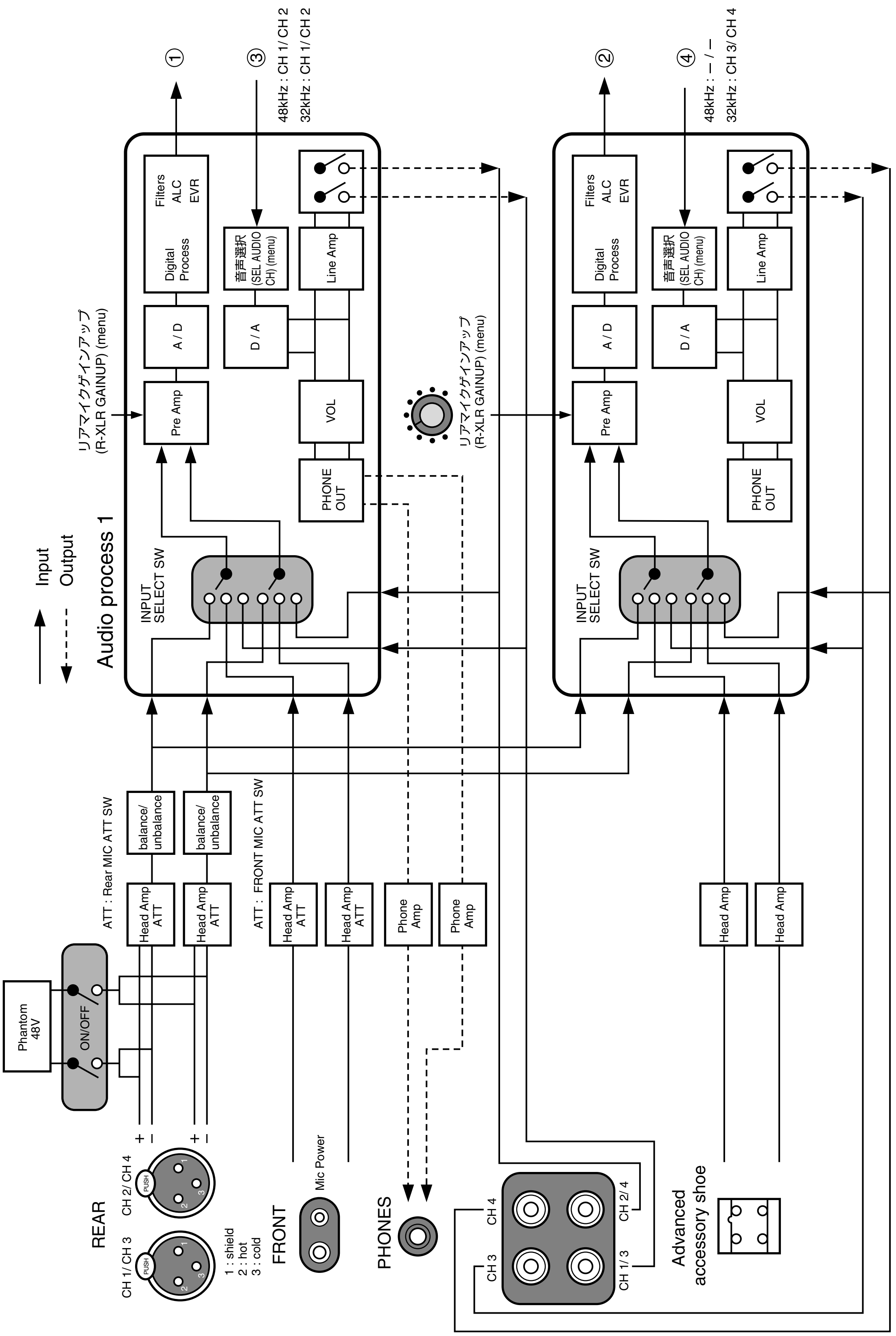
使用電池	リチウムイオン蓄電池
使用温度	0℃～+40℃
公称電圧	DC7.2V(最大電圧DC8.4V)
容量	3000mAh
外形寸法（幅×高さ×奥行き）	38.2×39×70.5mm
質量	約190g

※仕様および外観は予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

索引

索引…つづき

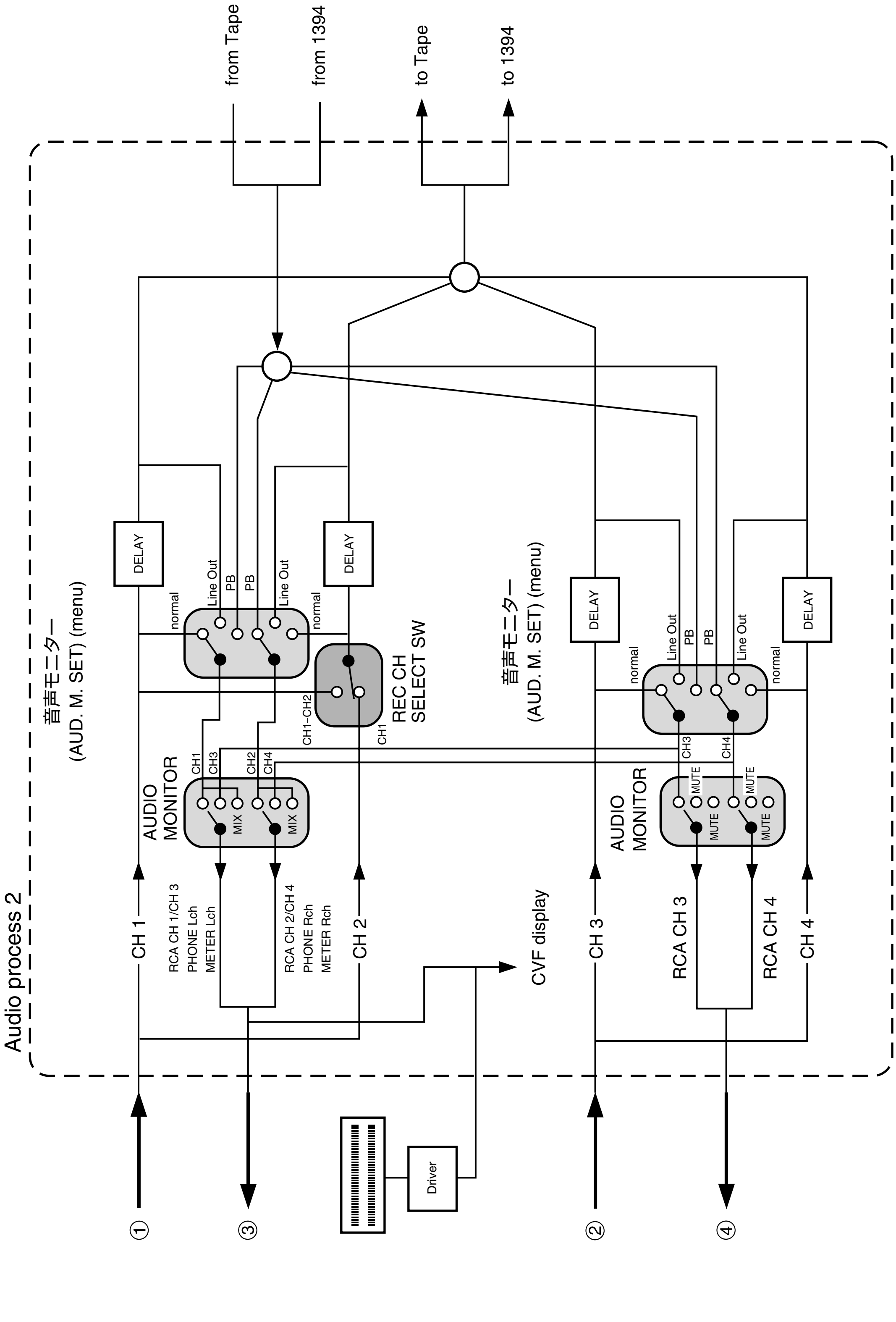
オーディオブロック図



その他

次のページへ

オーディオブロック図…つづき



前のページへ

Canon

キヤノン株式会社
キヤノン販売株式会社

〒108-8011　東京都港区港南2-16-6

（2004年8月1日現在）

製品の取り扱い方法に関するご相談窓口

製品名	お問い合わせ
XL2	キヤノン販売　お客様相談センター

＜2004年9月11日まで＞

（全国共通番号）　0570-01-9000　該当番号 66

受付時間：平日 9:00～20:00　土・日・祝日 10:00～17:00
（1月1日～1月3日を除く）

お電話がつながりましたら音声ガイダンスに従ってデジタルビデオカメラの該当番号＜66＞をお話しください。音声認識後、商品担当者におつなぎします。

全国64ヶ所にある最寄りのアクセスポイントまでの通話料金でご利用になれます。なお、PHS・海外からの電話をご使用の方は、03-3455-9353をご利用ください。

※ 音声応答システム・受付時間・該当番号は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。
※ 電話回線の状態等によっては、正しく音声認識できない場合があります。
その場合でもオペレーターにおつなぎいたしますので、そのまま電話を切らずにお待ちください。

＜2004年9月12日以降＞

（全国共通番号）050-555-90003

受付時間：平日 9:00～20:00　土・日・祝日 10:00～17:00
（1月1日～1月3日を除く）

※ 上記番号をご利用いただけない方は043-211-9394をご利用ください。
※ 上記番号はIP電話プロバイダーのサービスによってつながらない場合があります。

キヤノンデジタルビデオカメラホームページのご案内

キヤノンデジタルビデオカメラのホームページを開設しています。最新の情報が掲載されておりますので、インターネットをご利用の方は、ぜひお立ち寄りください。

デジタルビデオカメラ製品情報　http://canon.jp/dv
キヤノン サポートページ　http://canon.jp/support

保証書別添付　保証書は必ず「購入店・購入日」等の記入を確かめて、購入店よりお受け取りください。

Li-ion
リチウムイオン電池のリサイクル
にご協力ください。

この使用説明書は100%再生紙
を使用しています。

PUB. DIJ-184
0203Ni0.02

DY8-9010-133-000
PRINTED IN JAPAN